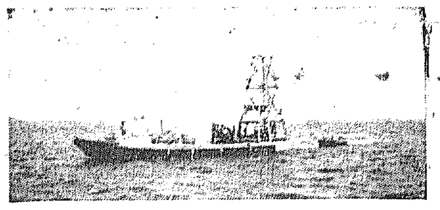
京城日報
夕刊
八月廿七日 水
發行所 京城府大和町一丁目 京城日報社

時計完全修理
御一報次第參上
京城本町 村木時計店修理部
電話本局

多獅島港の調査
先づ以て好結果か？
斯界の權威五博士一行
好印象を齎して歸る



【新義州電話】明利製鋼所新義州設置の最後の決定を與ふ丹羽博士一行五博士の多獅島調査結果に基き研究會は、既報の通り廿五日京城において官民技術者以外一人も入れず慎重に意見の開陳研究討議を行ひ更に廿六日は朝から資料を蒐集した結果、基本調査の方針を決定し滿鐵調査班に依囑した詳細の調査資料を徴して歸京の上更に改めて研究會の席上討議することに決定した模様であるが、今回の多獅島港灣地踏査については五博士共熱心に調査した結果頗る好印象をもたらした模様である、なほ一行は廿六日午後六時廿分安東通過釜山行列車で南行したが、滿鐵に於て調査し歸京の途に就く筈である又これが決定については相當の時日を要するものと見られてゐる（寫眞は調査班の水深測量）

五權威けさ入城
調査の結果は吾々から何ともいへない
五氏打揃ふて總督府に
總督、總監を訪問

多獅島の調査を了へて廿七日午前七時卅分入城した丹羽、原田、直木の三工學博士の一行五氏は午前九時總督府に齋藤總督、兒玉政務總監、今村內務局長を訪問挨拶を遂げて十一時過ぎ辭去、仁川に赴いたが、三博士は多獅島の調査について次ぎの如く語る

丹羽博士

吾々の多獅島築港調査は時節柄一般の注視を集めてゐるやうだが調査の結果については今何ともいはれない、しかし御尋ねをうけるまでもなく、また何度も繰返した通り、製鋼所設置の候補地があればこそ調査に出かけて來たものであるが、その候補が果して有望か否かは吾々には斷定出來ない。調査の結果はこれから整理した上で滿鐵自身で決めることであらう。吾々はたゞ技術者の立場から調査を行つたまでのことである

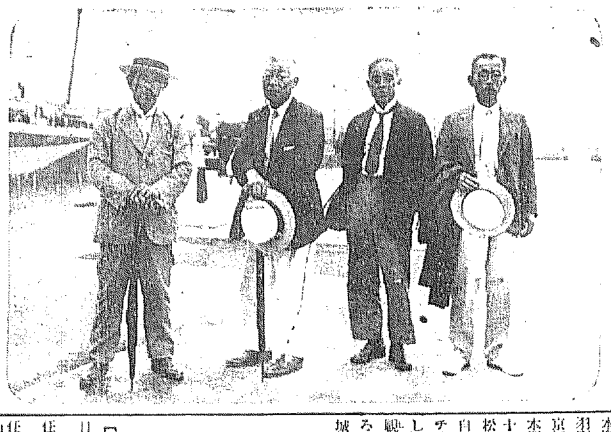
原田博士

實地調査の結果については歸京の上よく整理した上で滿鐵に報告するが、その上で多獅島築港計畫の假定案が作製されることゝ思はれる、吾々の一行は斯界の大家であるからそれぞれ立場によつて意見も異なる譯であるが整理がすめば各自仙石總裁に報告することになつてゐるが、その前後案の決定はなかなか容易ではあるまい。しかし仙石總裁としては吾々の調査報告に基いて製鋼所の假定案を作製した上で滿鐵の調査條件と一致した場合初めて決定さるものと思ふ。自分達は滿鐵の依囑により調査をするに過ぎない、從つて本問題に干渉がましいことは全然出來ないわけであらう

直木博士

調査の結論については何ともいへぬ。無論仙石總裁は自分達の調査報告に基いて最後案の決定をするのであらうが、それまでは個人の立場としても全然意見の開陳は遠慮したい

なほ一行は廿七日午後四時から仁川より歸城、午後七時から總督官邸に於ける齋藤總督の招待晩餐會に臨み、同夜解散して原田博士は廿八日朝、丹羽博士は同夜退城、直木博士は鎮南浦、安藝博士は一兩日滯在のはずであると



港灣權威者の仁川港視察

本府訪問後 仁川を視察
築港擴張の聲ある時
意義深き事と注目

本府に總督、總監等を訪問した丹羽、直木、安藝、井上の四氏は本田京城土木出張所長、横井港灣技師、本間河川技師の案內で廿七日午前十一時卅分仁川驛着列車で來仁、松島府尹らの出迎へを受け直ちに自動車でドックに到り、總督府ランチ八尾丸に搭乘して月尾島を一周し漢江下流方面にもわたり築港の觀察を行ひ、午後一時半上陸、こゝで晝餐、府內觀察の後夕刻歸城したが、丹羽博士は語る

原田博士は以前に多獅島をみられた事はあるが、吾々は實地をみた事がなく、東京で圖面でみるのと、實地とは趣きが違ふので、仙石總裁の依囑により、廿四日一日多獅島の實地をみて來たわけである。吾々の今回の視察は單に學術上の視察で、今回の視察で得た材料を東京に持ち歸り、なほあとから總督府や滿鐵から材料の足らぬものを送つて貰ひ、東京でお互が意見の交換を行つた上、仙石總裁に報告する筈で、今茲で個人個人の意見を述べる譯には行かない

仁川築港視察 なほ仁川築港の視察については別に意味ある譯でなく、久し振りだからついでに見て行くに過ぎない

丹羽博士の談は右の如くであるが仁川築港は現在百四十萬圓の年繼續事業として擴張工事中であり尚第二次築港擴張の計畫を聞く折柄、四博士の漢江下流にわたる實地調査は一般の注目に値するものとみられてゐる

地方官の異動
部長級本日發表さる

【東京電話】地方官異動は二十七日左の如く正式發表された

福岡縣內務部長 平山 哲一
任神宮皇學館長（二等）
千葉縣內務部長 吉田勝太郎
任北海道廳部長（二等）
拓務事務官
關東廳事務官 西山 茂
任北海道廳部長（二等）
補土木部長
神宮皇學館長兼教授 森田 實
依願免本官兼官
北海道廳部長（內務） 林 壽夫
依願免本官
島根縣學務部長 [illegible]

任秋田縣書記官 補警察部長 福岡縣警視 中里 喜一
任長崎縣書記官 補警察部長 青森縣學務部長 上田 一郎
任大分縣書記官 補警察部長 鳥取縣警察部長 田中 修
任群馬縣書記官 補警察部長 奈良縣學務部長 安井 章一
任鳥取縣書記官 補警察部長 佐賀縣警察部長 關 壯二
任佐賀縣書記官 補警察部長 警察講習所教授 遠 修
任滋賀縣書記官 補警察部長 內務事務官（ハルビン駐在） 久保田 畯
任千葉縣書記官 補警察部長 石川縣警察部長 麻生 亮潔
任三重縣書記官 補警察部長 三重縣警察部長 田中 敬六
任石川縣書記官 補警察部長 東京府內務部長 大塚 鎧次郎
任福岡縣書記官 補學務部長 兵庫縣學務部長 戶塚 九一郎
任京都府書記官 補學務部長 新潟縣學務部長 田島 榮二
任兵庫縣書記官 補學務部長 滋賀縣警察部長 松枝 角二
任新潟縣書記官 補學務部長 京都府事務官 中野 善敦
任奈良縣書記官 補學務部長 元復興局書記官 熊野 英
任宮城縣書記官 補學務部長 東京府事務官 外山 福男
任岩手縣書記官 補學務部長 青森縣事務官 眞崎 長年
任青森縣書記官 補學務部長 北海道事務官 石建 國次郎
任新潟縣書記官 補學務部長 新潟縣事務官 後藤 耕造
任石川縣書記官 補學務部長 大阪府事務官 江澤 清夫
任神奈川縣書記官 補學務部長 神奈川縣事務官 中野 與吉郎
任高知縣書記官 補學務部長 愛媛縣事務官 清水谷 敬
任福島縣書記官 補學務部長 福島縣視學官 慶岡 長照
任山口縣書記官 補學務部長 元復興局事務官 今吉 敏雄
任和歌山縣書記官 補學務部長 鹿兒島縣事務官 櫻井 [illegible]
任福井縣書記官 補學務部長 長野縣事務官 八田 三郎
任愛媛縣書記官 補學務部長 大分縣事務官 管崎 米吉
任島根縣書記官 補學務部長 高知縣事務官 川島 [illegible]
任大分縣書記官 補學務部長 元復興局書記官 國島 久忠
任東京府書記官 補學務部長 廣島縣學務部長 [illegible]
任鹿兒島縣書記官 補學務部長 [illegible]

愛知縣學務部長の休職左の如し
宮城縣同 鎌江 宮次
岩手縣同 池田 忠作
石川縣同 栗田 五百枝
富山縣同 中井 久三
山口縣同 澁谷 薫
和歌山縣同 下村 充義
德島縣同 福元 容吉
香川縣同 北畠 良一
愛媛縣同 松永 立五
大分縣同 當賀 松之助
大分縣同 大野 元
文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず（各通）
鹿兒島縣內務部長 植木 鐐雄
依職を命ず

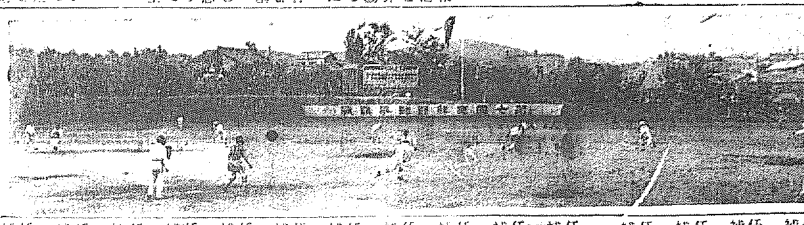
條約御批准は早くて九月末
◇—豫期に反して……
警告決議も免れまい

【東京電話】ロンドン條約の樞府審査委員會は廿六日漸く總括的質問に入り、廿八日も續行する事となつたが、今日までの空氣では審議の中心は九月上旬となる見込であり、大綱に關する質問が終つてから更に逐條審議にも相當の時日を要するが、委員會の大勢は國際信義を存重して徒らに決議を附すべきものと主張してゐるので、結局通過すべきも、御批准期は政府の豫期に反し非常に遲れ九月下旬若くは十月上旬と觀測されるに至つた

教育新聞社長
片岡氏が昇任

朝鮮教育新聞社長高橋濱之助氏死去につきその後任は同社副社長片岡喜三郎氏が襲ひ一切の經營に當ることになつた

準優勝戰



寫眞說明 二回表、遞信滿壘の好機に田中一壘前にクリーンヒットし池田横山生還した

本社主催第七回 **全鮮野球爭霸戰** 第四日

遞信鮮やかに大田を倒し
次は慶熙對國境軍の好取組
覇を狙ふ四强豪のこゝを先途の死力戰

血と熱の戰をつゞけてこゝに四日、榮光に輝く諸の大旆をめぐつていよいよ大會は準決戰を迎へた—瞬の戰に臨む四强は中央推薦慶熙倶樂部、忠清代表大田鐵道、國境代表オール新義州軍に中央代表遞信倶樂部の俊鋭である。この日晴天暑かりしも大衆ながら連日の白熱戰に興味をあふられた滿都のファンはぞくぞくと一壘ごとに殺到し、またゝく間にスタンドを埋めつくして、寸錐の余地もない盛況である。戰は先づ獨り實業團勢の孤城を守る吉凶に擬せられた遞信と優勝候補中の實を粉碎して日の出の勢ひを示す新興大田鐵道との一騎打ちにその火蓋を切つて落された

9—0 遞信大勝
大田遂に敗る

準優勝戰第一試合—遞信對大田鐵道の試合はグラウンド修理に時間を要し、午後一時卅五分から遞信先攻で開始（球審長谷川、壘審小幡、岡元氏）

遞信（先）	1	2	1	0	1	1	0	3	0	9
大田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

飽氣ない一點

◇一回（遞信）佐武二—三の後四球を選び、二盜の時捕手の送球を李後逸、續いて中堅手三盜に高投してあつけなく生還 淺野左翼前安打に出たが三盜を謀り三壘眼安打に出た平島は岡崎の投手ゴロで一、二壘に見事併殺▲（大田）山本三壘ゴロ、田宮二壘飛球、山本政ゞ二一三まで頑張つて三振に終る（遞一大田零）

轡を揃へ生還

◇二回（遞信）池田の三壘前安打となり、横田四球に續き、清水のバントで走者三二壘に進み、出島四球で一死後滿壘の好機を掴むや**田中一壘前に安打して池田横山を生還**せしめ、岡崎の三壘ゴロで出島三壘に封殺されたが**さらに二點を加へて遞信のスタートは頗る順調である**▲（大田）藤田、磯部續いて四球に出でれば大宮バントして走壘を送り、渡邊右翼飛球に死んで後、李も四球を選んで二死滿壘の好機となつたが、武久右翼に飛球をあげてチャンスを逸す（遞三大零）

大田機を逸す

◇三回（遞信）一死後岡崎右中間にライナーの二壘打を放ち捕手アウルを得られ二死となつて後

横山左翼前にテキサスして岡崎を還す

横山捕逸に二進、清水、出島四球に出して滿壘となつたが、田中の左翼飛球に點とならず—大田、田宮投手は自ら立ちないのか、投球甚だ心許ない▲（大田）須田木（指）四球に出で田宮三振後、山本（政）の左翼前安打に一死に到り、三壘を許し、二壘による絶好のチャンスを迎へたが、岡崎投手藤田に投げて藤田、磯部を三振に屠る◇四回（遞信）佐武三振、淺野遊擊ゴロ、平島投手ゴロで遞信始めて得點なし▲（大田）一死後遊撃に出たが二壘に封殺、李は投手強襲ゴロで二壘に刺さる（南軍零）◇五回（遞信）岡崎投手足下を抜く安打に出たが、池田の遊擊ゴロに封殺、池田二盜、横山三振後、清水四球の時捕手強球に長驅二壘から生還、清水はその間に二壘を狙はんとして刺さる▲（大田）遞信、金田投手となり岡崎右翼、平島遊く—三者凡退（遞一大零）

◇六回（遞信）一死後田中三遊間を抜き直ちに二盜して佐武の安打に遇り其差六點 佐武は淺野の中堅飛球で飛び出して二度の併殺▲（大田）＝遞信淺野捕手となり池田退く＝またも凡退三者くり返し未だ得點に至らない（遞一、大零）（以下朝刊）

兩軍メンバー左の如し

大田 捕宮政田渡宮其雨久 / 本本承 / 山田山磯大渡李武 / 6 1 7 2 5 9 3 4 8
遞信 佐淺平岡池横清出田 / 武野島崎田山水島中 / 5 0 9 1 2 3 6 4 7

明日（廿八日）は愈決勝戰
全鮮野球爭霸戰の最終日
試合組合せは朝刊で發表

報知機ハルビンへ

【滿洲里二十七日發電】ガソリンの補給をうけた報知機吉原飛行士は十時半出發ハルビンに向つたが、ハルビン着は十五時（午後三時）の豫定である

神宮參拜

（廿六日）▲總數四〇六人▲內譯內地人三四四▲朝鮮人六二▲開館京城修養團九九▲昨年度總數二〇八

會

神奈川縣人會 會員林信藏氏講習所教授渡邊濱之助氏今回江華島學校長榮轉につき同氏の送別會を來る廿八日午後七時から京城驛前菊水で開催、陶水府尹、近藤醫師、團藤辯護士、松岡、茅野兩學組議員等多數出席盛會を極めた

人

◇直木倫太郎氏（多獅島調査員）井上範氏（同上）丹羽鋤彦氏（同上）▲安藝杏一氏（同上）安河內麻吉氏（同上隨員）廿七日朝入城朝鮮ホテル▲石原北夫氏（海軍大佐、笠保存會員）廿七日朝入城同上◇原田貞介氏（工學博士）廿七日朝入城輸送協會▲新谷俊藏氏（神戶東拓支店長）▲高橋健氏（大阪東拓支店長）▲吉岡鐵吉氏（殖銀筋製造會社常務）同上◇佐治博民（名古屋實業家）▲永野淸澄氏（釜山瓦斯重役）廿七日朝入城大滿概へ◇山澤和三郎氏（專賣局製造課長）慶南道へ出張中のところ廿八日朝京城驛着歸任のはず◇大沼加造氏（新任平安南道立平壤慈惠院事務官）本府衛生課長より榮轉の同氏は來る八月廿九日午前九時五分京城驛着赴任

航空往來

（廿七日汝矣島）▲松下與德氏（東京へ）▲加藤常美氏（同上）▲高西勝福氏（大連へ）▲松代鶴二氏（平壤へ）▲エス・アール・ペーシー氏（同上）

あすの天氣（78）

低氣壓は北鮮を通過して本朝は元山附近にあるため、中部以北は小雨があつた、其他も一般に曇つてゐる、高氣壓は沿海州方面と北支那にあるから明日は次第に天氣はよくなる

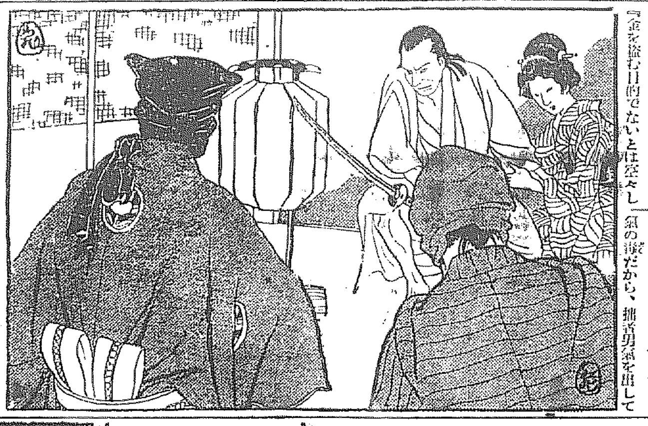
京城 曇後晴

廿七日正午	二五・七	
廿六	最低	二三・三

仁川干滿時（廿七日）
滿潮 午前七時五十五分 午後八時十五分
干潮 午前一時四十五分 午後二時

刺青傀儡話（45）

潮山長三 作
挿畫 河原塚龜太郎



息子さがし（七）

時繪は曾に名題の泥棒日本左衛門の素顔を、今はじめてまざまざと見た。色白で、にこにことして、その顔の何處からも、大泥棒などといふ片鱗も見出されない。勝に並んだ手下どもの方が兇猛な面相をしてゐる。日本左衛門ばかりは、引き立つて立派な男だ。それに引換へて、すさまじく怯えた時繪の有様は余りよくない。

それはさうだらう。時繪は、腰から斬れ傷を撫でつけ頭、腰掛着の胸も袖もはだかつてゐるし、殊に家出中の息子の所在を毎日尋ねをいらつてゐる心勞で、此の頃少し瘦せてもゐるからだ。

その顏で時繪は、喰つてかゝるやうに、

『金を盜む目的でないとは空々しい』

『いや、全くだ。そんな物は眼中にないといふのに』

『それでは何を──！』

『はて、靜かに──その欲しいものが首にないから。日本左衛門も兜を脱いだ。いや、此の通り、覆面を脱いだ。──と、惡い洒落になつたが、とにかく捕者が目星をつけて當家へ盜みに入つた目的の物は、時繪さん、實は圖だ』

『圖？』

『圖、とばかりでは判るまいが』

と、顏を寄せ出して小聲で、

『お前さんが秘密に設計した例の琵琶湖大運河の圖がほしいのだ』

『あツ？』

ぎよつとした時繪、坐りながら拔刀を青眼にかまへた。大運河の設計圖がほしいとは、日本左衛門どうしてそれを知つたのか、事が漏れては時繪の一命にかゝはるから、時繪必死になつて來た。

『親分、あぶない』

『おつと、親分』

手下の者たちはひしめいて一齊に立ち上つて、時繪をぐるぐると取り卷いた。

どうなる事かとお歌は、ますます膽を冷やして時繪の背中へしがみついた。

日本左衛門は時繪の血相を見てしきりにうなづいた。

『植木時繪さん、慌ててはいけない。さ、圖を出してくれ』

『何』

『ない』

『そんな物はない。持ち合はしてはゐない』

『そんなことを言ふな』

『ないといつたらない』

『隱すな。有ると聞いてやつて來たのだ』

『有つたら持つてけ。日本中捜してもそんな物はないぞ』

『本當にないのか』

『知れた事だ』

『ふうむ──いや、實はその圖手に入れたいといつて、たいへん苦心してゐる者があるのだ。俺りに氣の毒だから、捕者男氣を出して當家へ取りに來たのだが──今更ないといつては顏向けが出來ない』

日本左衛門も、これは困つたといふ顏つきで、しきりに首を傾けたが、

『何でも偽者のいふ所では、圖は人の肌に密着して藏してゐるといふ話だが──三太々々』

と手下を呼んで、

『どうだ。時繪夫婦や娘たちが肌に着けてはゐないか、肌守の袋の中などはどうだ、よく見たか』

三太といふ手下が答へる。

『みんな見やした。風呂へ入つてゐる時や寢てゐる時なんか、すつかりよく見ましたがね、誰もそれらしい物は持つてゐねえんです。若しかしたら、家出してゐる息子が肌身離さず持つてゐるのかも知れねえ』

『さうか。すると、息子を搜すのが早道だな』

『さうですよ』

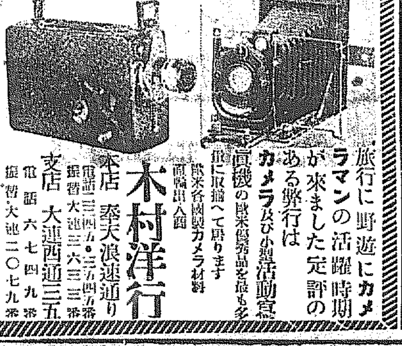
三太といふのは富家へ新参の下男仁助である。さては日本左衛門の手下が化け込んでゐたと見える。

時繪はそれを聞くと、魂が裂ける程にぎよツとした。

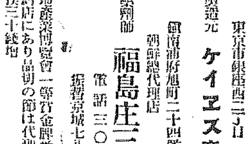
始政廿週年記念 朝鮮大博覽會 名譽金牌
高級銘酒

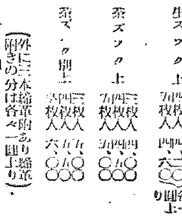
最も難關に其の品質の優良を證る
名實共に新興の覇權
朝鮮酒造株式會社

營業課目
米穀雜貨貿易 金錢貸付 精米籾摺 外米碎米直輸入 私設倉庫 一般保險代理業
朝鮮鎮南浦
新井新藏商店
電話長 一四 七六

カメラと材料

旅行に野遊にカメラマンの活躍時期が來ました定評のある弊行はカメラ及び小型活動寫眞機の歐米優秀品を最も多數に取揃へて居ります
歐米各國製カメラ材料直輸出入商
木村洋行
本店 奉天浪速通り 電話三四九・三六四五番
支店 大連西通三五 電話六七四九番 振替大連二〇七九番

府立 仁川病院 電話一〇三六番
內科 小兒科 外科 産婦人科
院長 醫學博士 岩井勝三郎
副院長 醫學士 西野入眞澄

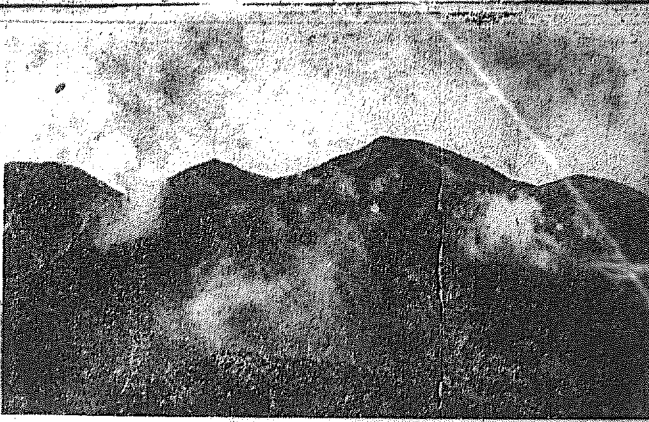
◎惡疫豫防と煙草の節約
醫學博士 糸川 欽也 / 田中吉左衛門 兩氏推奬
【新案特許】口鼻兩用
健康パイプ

定價一組一圓
東京市銀座西三ノ山
製造元 ケイエス商會
朝鮮總代理店 福島庄三郎
京城南大門通 電話三〇一番 振替京城七八七番
各地薬店有名薬店にあり品切の節は代理店へ
郵送料無料代金引換三十錢増

文化夜具入

値下斷行
品質優良絕對他品の追從を許さず
鞄製造販賣 高木鞄店
京城本町一丁目 電話本局 三二四番
（地方の御注文は代金引替にて迄り升す）

チャールストン張り 捗取らぬ駄馬の足取り

野趣滿々の掘立小屋の湯壺

―(2)― 朝鮮アルプス登行記 鐵道局 福田登



=七日=

『朝食は如何致しませうか』と給仕ボーイの呼ぶ聲に目覺めたのが七時半、トウに元山を過ぎ車窓にはキラキラと朝日が燒きついて居る。松濤園の京日キャンプ村は建設が終ると直ぐに歸つて了つたが、毎日好天候に惠まれて元氣にやつて居るだらうなど考へて居る内にトロトロとする。『飯喰ひに行かう』原田君の腹のへつた聲に漸くおき出す。汽車の中は朝から暑い。朱乙の『かれた』温泉前に着いたのは午後九時半頃であつた。汗と埃りに汚れた體を温泉に洗ひ落しよい氣持になつて部屋に戻るとツルチックシラップの御通者で山に精しいと言ふ主人公がやつて來て、山の話、ツルチックの話熊に會ふた話等次ぎ次ぎと面白い話を聞かされたので思はず夜を更かす。

=八日= 曇、小雨(朱乙より市上洞、行程九里二十町)

市上洞行道は朱乙温泉道に對し朱乙驛を角としてV字型をなして居る。從つて温泉に宿つた我々は一度驛迄引返す要があるので五時起床、朝食後直ちに驛へ車を驅す。驛へ來て見ると昨日約束して置いた駄馬が來て居らぬ。漸く探し出して見ると金がないので未だ朝食前だと言ふ。ソンナコンナで豫定出發時間が二時間も遲れ、八時四十分漸く山に向つての第一歩を踏み出す。途中朱乙川の橋梁が七月の水害で流失してゐるので第一回の徒渉をやる。市老川端の大欄下に着いたのが十一時、市老峠を望みながら此處で中食。

◇

路はこゝから市老川に沿ふて極めて平凡に延々として續く。この頃より時々晴れて太陽は遠慮なく照りつける。その上二頭の駄馬の一頭は最早老衰してゐるらしく荷に負け、チャールストンばりの足取りでヨタヨタと歩くので路は少しも捗らず、さすがの山男達も閉口した。十二時半、城町(市岩洞)の手前まで來た時に驟雨がやつて來た。馬などにかまつてをられず大いにピッチを上げて城町駐在所へ飛び込んだ。時に午後一時。萬一をおもんぱかり此處に詳細な日程を置き、雜談をしながら馬を待つ間に雨は晴れた。然し馬は仲々やつて來ぬので出て見ると、チャールストン老は『ヘタバツ』たらしく遙か彼方に荷を卸して休んで居る。やむを得ず優勢の内一人を馬係として他の二人は先行することとして擔當者に當る。今日は實に日が長い。

◇

一時四十五分城町を發しながら二人の後を逐ふ。『ヤンバン、此の馬を引いて行つて下さい。後れた馬を面倒見て連れて來るから』といふ意味らしいことを言ふて馬子はチャールストン老馬に引返す。馬子二人掛りで引いて來るらしい。詮方なく生れてはじめて馬子となり、馬の氣嫌を取りつゝ先を急ぐ。城町よりの路は急に險くなり市老川右岸を出門と越つて行く。市老川が急角度で南折する所に岩壁の屹立するのがある。これを豚岩といふ。三時三十分これを通過し間も急いで漸く市上洞の對岸に着く。後を見れば後れ馬の影も見えぬ。市上洞部落へ行くには丸木橋を渡らにやならぬが馬には渡れまい。といふて馬に渡歩させることは出來ぬ。やむなく河原の草のある所に馬を繋ぎ待ち合せることにする。と見ると河原の眞中に一軒の掘立小屋がある。行つて見ればこれが温泉だ。

◇

河原の中から温泉が極めて豐富に湧出してゐるが、未だに投資家が出ず、部落民が作つた掘立小屋の湯壺に之を導いて部落民が共用して居るのみだ。從つて訪れる人もなく雄大な冠帽峰をバックに激しく湯氣を立てゝゐる所は實に野趣滿々たるものである。待つ間を利用して早速温泉に飛び込んだが熱くて入れぬ。仕方なく流して汗だけ洗ひ落し、馬をそのまゝにして市上洞に戻る時に正六時。六時二十分夕立あり、雷鳴轟き雲行物凄かつたが二十分にして止む。此の雨ですつかり荷物を濡らして馬が着いた。此の夜は森林主事の富田氏に厄介になる。役人夫を集め總てのインストラクションを與へ、明日の好天を祈りつゝ九時就寢。(日本最高氣溫七十八度)(寫眞は冠帽峰=中央最高峰)

朝鮮最初の新劇團體

ベストメムバーで 明春第一回の公演

朝鮮に見る可き劇團なく、些か寂寥を感じてゐる折柄、新たに有力なる劇團が生れた。朝鮮劇界の先驅者尹白南、洪海星氏等の諸先輩は、この程東京より歸來せる洪海星氏と共に京城小劇場運動俳優を糾合し、質的に新劇運動に邁進すべく目下その準備中であるが、何しろ右二氏の顔觸れは、朝鮮劇壇におけるベストメムバーでもあり各方面より多大なる期待をかけられてゐる。洪海星氏は語る

『朝鮮劇壇の開拓者たる尹白南、李基世氏等の諸先輩と、朝鮮文壇の重鎭金相和氏等の獨特的精神に依つてこゝに有力な新劇運動團體を作り得たことは、朝鮮劇壇の爲め欣快に堪えない。私達は新劇建設のため眼前に迫る幾多の困難を排して進み、あくまで奮闘する積りです、何分よろしく……團體は基本的に俳優を養成して、明年早々第一回公演を開く豫定である』と

城大豫科生制服の青年の變死體と

斷髮モガの縊死未遂

秋立つ月尾島で死を急ぐ若人 男から男へと渡り歩いた

【仁川電話】秋たちそめて、避暑客の群も漸次去り、雜沓から靜寂に一變せんとする月尾島に、不可思議なる朝鮮人らしい青年の變死と、殆んど同時刻に妙齡の朝鮮人モガの自殺未遂事件があつた

廿六日 午後七時月尾島山腹の茂る中に城大豫科の制服を着た廿三、四歳の朝鮮人らしい男が變死してゐるのを發見、仁川署から係官出張し檢死を行つたが、死後十時間を經過し、右後頭部と左手に傷があるばかりで死因判明せず現金

卅五錢 とハンカチ一枚を持つてゐたに過ぎぬ、住所氏名も判明せぬので、檢事局では解剖に附することになつた、それと同時刻に、同じく月尾島スタンダード石油會社の燈火油倉庫附近で妙齡の斷髮洋裝美人が、縊死自殺を遂げんとしてゐるのを通行人が發見救助し、目下仁川署に保護檢束中であるが、

同人は 本籍京畿道府上水原里下仁川側朝鮮旅館の鄭龍福(一八)といひ先に府内カフェーに女給として雇はれた事、劇場にある金をさらつて自轉車でスピード逃走を企てた斷髪モガで先月廿八日檢事局送りとなり、去る廿日起訴猶豫となつて釋放されたものであるが、留置中でも再三縊死自殺を企てた事もあり、男から男にわたり歩いてゐた女なので前記の變死男と何等かの關係あるものとみられてゐる

仁川署 變死者を解剖

【仁川電話】朝鮮人青年の變死事件につき鑑識により城大豫科助教授時任忠夫氏は廿七日午後一時急遽來仁、長谷川大邱地方に赴き變死者の再鑑識を行つたが武田法主任立會ひ河野人醫局執刀のもとに屍體を解剖した

水産實習生十五名を 亂打死に至らしむ

蟹工船中で爆發す

待遇改善を要求したことから

【函館電話】富山縣に本社を置く富山工船會社蟹工船エトロフ丸は富山縣下の漁夫三百名と富山水産學校實習生十五名を乘せ、カムサッカ東岸に出漁中、漁夫を一日二十時間も使用し食料等も牛馬の様に粗末なので待遇改善を要求したところ、監督、雜夫は實習生や漁夫をめつた打ちにして十五名を死に至らしめ、五十名中に死傷を出したほか、五十名の病人ある事が發見されたもので、從つて函館水上署では由々しき一大事として直に取調に着手した

學良氏動かず

北方最後の切札に色よい返事をせぬ

結局默認の程度か

【北平廿六日發電】北方派は擴大會議時代自己の信任と稱する閻錫山の代表を張學良氏のもとに派遣する一方、學良氏に關し北方派の打つて天下に二つとない時代の關頭ともいふべき宣傳方を努力…

學良氏の希望は和平統一

【北平廿六日發電】北戴河に赴いた陳公博、鄒魯、郭泰祺氏の三代表は廿六日午後八時歸平し直ちに汪兆銘氏の邸宅に赴んだが張學良氏との會見結果につき語る 學良氏は國家人民の幸福のため和平統一を絶對希望し、奉天派の從來の態度を決するが、學良氏個人としては北方政府參加に賛意を表した

學良氏歸奉おくれる 京奉線不通で

【北平廿七日發電】張學良氏は去る廿九日歸奉の豫定であつたが、京奉線は全通せず金州附近外一箇所の修繕に四、五日を要するのでその間北戴河に滯在することゝなつた、從て東北四省首腦部會議は來月五、六日頃となるであらう

南方代表は斯う語る

【大連廿六日發電】廿六日入港の春天丸で南方代表鄒魯、李石曾の二氏着連、李石曾氏は午後三時汽車で直ちに北戴河に向ふ豫定であるが、南氏は語る 中央軍の戰線有利に展開し、濟南奪取は張學良氏の調停行動に至るまでの條件ともなつてゐるから、この際停戰後の決意を促す必要あり、結局南方へ參加することは明白と信ずる

倫敦條約の樞府審議

本論戰は五回以後

第四回委員會は尚準備質問 第五回は廿九日か

【東京電話】ロンドン條約案に對する樞密院の質問戰は第三回精査委員會でその輪廓は切つて落されたが、次回廿八日の第四回委員會にても尚前例通り決定當時までの事實斜明をなす筈で、これ等の準備行爲を了して後いよいよ統帥權問題の論戰に入るのであるから恐らく本論戰の展開は五回委員會より見らるべく、當日は軍部顧問官相代理を招致することとならう。しかしていづれにしても今後四、五日で樞府の政府追跡戰が高潮期に入るものと見られてゐる

第三回委員會 矢だか楊子だか それはいへぬ

金子委員談

【東京電話】委員會の內容は口外しないといふ事を申合せた、條約案の審議に就ては秘中の秘としてなつてゐる何れにしても政友會と民政黨の爭ひのやうに攻撃するわけにもゆかない皆同僚だからなるべく質問も鋒先が鈍るわけだ二十六日の質問は自分ばかりでなく三、四人はあつたが、內容はいふわけにはゆかぬから委員長が總理大臣に聞いてもらひたい。自分が政府側に第一矢を放つとか何とか種々傳へられてゐるが、矢でなく楊子位のものだ。自分が質問したのが矢であつたか楊子であつたか、次回分が質問をなすかどうかはこれも內容になるから何ともいひにくい、云々

今度は學科試驗だ

財部海相談

【東京電話】二十六日の委員會では政府側の三人からそれぞれ答辯したが、質問題の內容については一切いへぬ。前回の精査委員會は總括質問で今回は學科試驗といふ處だが、その成績如何は自分では判らぬ私自身は五里霧中だからね。試驗官が點數をつけて與れなくては判らぬ、兵力量も問題になつたが、その內容はいへぬ

彈丸を落し 轟然爆發

三名死傷 馬山重砲隊で

【馬山特電】馬山重砲兵大隊に於て廿六日實彈射撃演習中、午前十一時五十分七、五サンチ榴彈砲彈丸を裝塡せんとして一等卒が誤つて足をすべらし彈丸を取り落した刹那、轟然大音響とゝもに爆發し宮本一等卒は瀕死の重傷を負ひ西谷重傷外一名も負傷し、直ちに衛戍病院にかつぎ込み手當を加へたが、宮本一等卒は午後零時五十分遂に絶命

三百五十名の勞働者を募集

鐵道工事の為

目下江原道通川郡京畿北部鐵道線工事中の稻見組より左記雇傭條件を以て勞働者三百五十名の傭入方を京城府職業紹介所へ依賴して來たので、同所で目下希望者募集中である

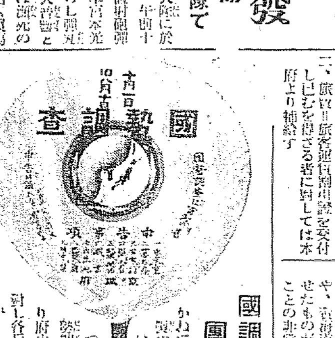
一、雇傭條件

(イ)勞働種別=普通土工のトロ押し鐵道工

(ロ)賃銀=工程拂六十錢乃至七十錢ヶ日毎に支拂ふ

(ハ)雇傭期限=昭和六年六月二十日迄

二、旅費=旅客運賃割引證を交付し已むを得ざる者に對しては本府より補給す



國調宣傳の團扇を配布

かねて國調宣傳用として調製中であつた團扇八萬本は二十六日全部出來揃つたので京城府國勢調査課では二十七日より府內八萬戸の調査世帶に對し各戶漏れなくこれが配付を開始した

朝鮮開發の恩人

富田儀作氏逝く

廿七日午前九時廿五分

京城府南大門通二丁目富田商會主富田儀作氏は本年四月頃から腹膜炎を病み自宅療養の上六月廿四日大學病院に入院治療中のところ病勢とみに進み今廿七日午前九時二十五分逝去した享年七十三歳、氏は兵庫縣川邊郡中谷村に生れ、渡鮮以來鎭南浦に居を構へ、果樹を經營する一方西鮮方面の開拓に意を注ぎ、平南、京城を中心に金融的に經濟方面、社會事業方面に盡瘁し、朝鮮產業開發に多大の貢獻をなし數へ上げ難いほどの功績を殘した。現在は京城商業會議所の議員で、他方朝鮮物産協會長、地方物產社長、美術品製作所長、朝鮮商業銀行監査役その他十數個の會社に關係してゐる。特に力を入れたのは半島における美術工藝で、これには殆んど全力を傾注し、なほ富田商會の各地に拂つた犠牲は實に大いなるものといはれてゐる。因みに氏の遺骸は遺言により大學病院にて解剖に附し午後十一時自宅に送り、同所において葬儀を執行する筈(寫眞は富田氏)

惜しい事だ

貢獻したのは實業界ばかりではない

今村內務局長談

富田氏の逝去につき今村內務局長は語る 惜しいことだ、あの人は隨分遊書でとても七十三の老齢とは思へないほど元氣な人だつた。個人的には親しい私的交際はなかつたが、自分の殖産局長時代や、黃海道に居た頃度々顔を合せたものだ。故人は實に巧みな人で殖産の非常に商工業は水產、鑛業等あらゆる實業方面に關係してどれだけの犧牲を拂つたことか判らない。お陰で半島の實業界は随分啓發されたところがあつた。實に實業界に貢獻したばかりでなく、教育界にも可成り盡したもので、黃海道に私費で普通學校を設立したほどだ。これ等の功績によりて紺綬褒章正六位に敍せられた。實に民間には珍らしい人で今少し惜しい人を死なしたものだ。もう少し生かして置きたかつた

產業文化財界の恩人

和田一郎氏談

和田商銀頭取は隣然として語る 翁はあらゆる意味において朝鮮の産業文化の開發について多大の貢獻をした恩人である。殊に半島財界にあつては財界人をたすけ、のびる者をどこまでも伸ばすといふ人格の人であつた

各方面の恩人

有賀殖産銀行頭取談

有賀殖銀頭取は語る 翁とは廿五年以來の交りであるが公私ともによく親しかつた。翁が半島に貢獻したのはひとり財界方面のみならず、美術工藝、開墾等、各種各方面に亘つた。また半島に必要なる人を得ることに於て朝鮮の財界人中翁の右にいづるものはない、今翁の訃報に接し無限のさびしさを感ぜずにはゐられない、この多端な折なくしたことは朝鮮の一大損失であらう

富田翁の略歷

安政五年八月十五日兵庫縣川邊郡中谷村上野字町廻に生れ、明治三十二年十月渡鮮、黃海道殷栗郡殷栗鑛採取に從事し、四十一年一月朝鮮總督府の顧問に推され、西鮮各種會社の重役となり、大正元年十二月勳章を授けらる。大正四年十一月御大典に朝鮮在住者總代として參列、紫宸殿に召さる。同年同月勳六等に陞敍瑞寶章を授けらる。此の外現に富田合資會社長、朝鮮物産協會長、中央物産會社々長、その他各種會社の重役をも兼ね、朝鮮物産の內地移出について異常の努力を續け大正十二年二月、皇太子殿下御渡島に方り全國産業功勞者に對し表彰せられ、朝鮮產業御紋章入銀盃及び金二百圓を下賜せられ、昭和三年十一月正六位に敍せられ、昭和三年十一月御即位禮參列を朝鮮民間代表として仰付けらる

自動車に觸れ 足部に負傷

廿六日午後六時半頃、府內太平通二丁目、李京榮(二)が自動車を運轉して竹添町五七番地先を疾走中通り掛つた竹添町一丁目七七番地飲食店雇人鄭山伯(二一)を轢き倒し足部に治療一週間を要する擦過傷を負はせた

縁談中止!

一寸したことから大變な事になる娘二十頃、婦人倶樂部九月號には面白い繪入りで色々の方面からの注意を述べた婦人方必讀の手記がある、誰方もぜひ御見逃しなく!

水害 義捐金

(京城府扱八月廿六日受付)

合計 四百 四十六 圓 拾九錢

累計 六千 百四 拾圓 五拾七錢

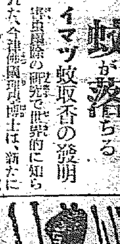
合計 三百 十六 圓五 十四錢

累計 二萬 五千 六百 九十二圓七錢

面白いほど 蚊が落ちる

イマヅ蚊取香の發明

害虫驅除の研究で世界的に知られた今津衛生研究所理學博士は、新たにイマヅ蚊取香を發明し、多大な賞讚を得た。本品は緑色の粉末で、燻べるにはイマヅ獨特の燻蒸器がある、之は昨年試賣した燻蒸器の凡ての缺點を完全に除いて、本年新たに同博士が考案したイマヅ燻蒸器で、即座に渦卷線香にして燻べると人畜に全然無害な芳香を發し、面白い程蚊が落ち、渦卷線香三本分の效力があつて、非常に安くつくから蚊取りは本品の使用に限る。定價は、百瓦入小罐卅八錢、一斤入大罐一圓四十錢、新案の燻蒸器十錢で、到る處の商店にて販賣、若し品切れの時は、大阪市西區京町堀通二、今津化學研究所(振替大阪六八〇八九番)へ注文申込。



雨衣

雨衣肘掛シート防水布一切如何なる多種の御注文にも應ず

朝鮮防水布製造所

石を使はぬオンドル

一日十錢內外の燃料で湯も沸き室內に水蒸氣を出し暖め煙道掃除も簡單で家一代築替を要せぬ

專賣特許(六件)

川上式オンドル

川上式ペチーカ 築設

スミレヤ本店

京城櫻井町一丁目一四〇

電話本局三七九九番

ロシヤ飾

安東縣市場通 大山堂

尺八

看護婦產婆生徒募集

京城帝國大學醫學部附屬病院

てんかん ヒキツケ

富吉繁作

土木科補缺生徒募集

願書締切 九月五日

晝夜間二年修業

京城工學院

三共の新化粧料

オキシフルクリーム

無脂肪性美白用

日やけ止め、白粉下、薬化粧用、剃刀の後に

定價 50錢

製造元 東京室町 三共株式會社

Viva-tonal Columbia Grafonola

コロムビア蓄音器

此のマークのない蓄音器はコロムビア製品ではありません。コロムビア製品は完全な蓄音器と申せません。

コロムビア 第一一四一號 第一一五一號 正價金八拾圓也

蓄音器界を震撼せしめたる最新式自働停止器を備へ改良せられたる强力耐久的のゼンマイを有す。回轉盤は美術ビロード張りです。

古い言葉ですが「百聞は一見に如かず」です。お近くの特約店で御試聽になれば成る程とうなづけます。

¥80

神奈川縣川崎市

日本コロムビア蓄音器株式會社

本邦唯一の精良品 サック 丁子堂

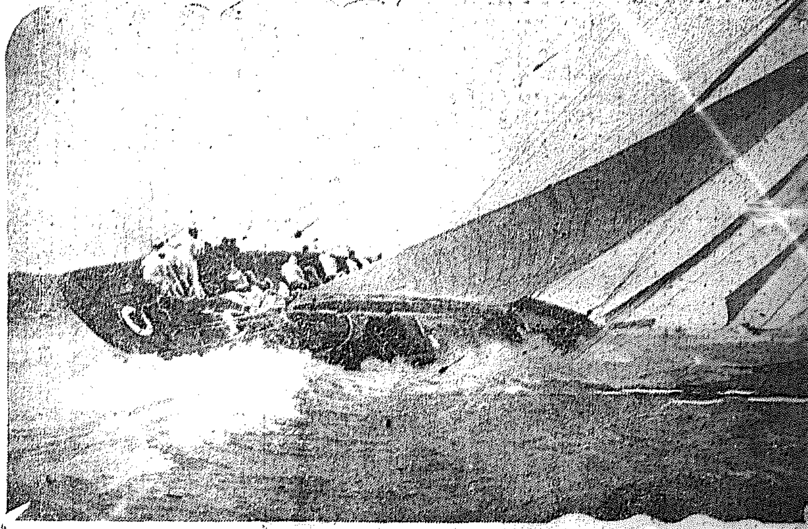
開業御披露

爽やかな秋風の吹く氣節になりました。皆々樣には益々御多祥に渡らせられお慶び申上げます。扨て弊店儀豫て皆樣のお勸めにより新築中の處この程落成し明二十八日より開業致す事となりました。內外の裝飾は勿論、料理も特に內地よりコツクを招聘して吟味調理し近代的趣好を凝らし、皆樣のお氣に副ひたいと存じます。就きましては廿八日より三日間御披露のため二割引にてお願ひ致します。何卒御試食御批判の栞を御賜り度御願ひ致します。

京城府明治町二丁目(日本旅館前)

カフェー アルプス

電話本局一一二四番



◁壯快極まるヨット競走▷ 英國艦隊乗組手界行事の[illegible]を飾るコオズ・ヨット競走は例年によりワイト島コオズ沖に於て行はせられたが・本年は御健康を恢復遊ばされた[illegible]ジョーヂ五世陛下も御參加になつたので・[illegible]好レースが演出した（寫眞は[illegible]）

食物の進化（下）

日本人の將來は？

醫學博士　服部彌一郎氏談

▼……以上の事實から、少くとも次の事がいひ得られると思ふ、即ち普通の食物の配合を、經驗上からつくつたものを、なほ一層正しく評價して實用に供し、その合理的の價値を實驗するといふことが、次の新時代において一層さかんに研究されるであらう、これを要するに、世界の主食はパンと米の二つが對立してゐるが、パン食者は次第にその勢力を擴張してゐる、米食を主とする東洋人も、また漸次歐米の影響をうけて混食の風が行はれ出してきてゐる

▼……現在日本人は、少くとも純粹の米食民といふことが出來ぬ程度になつて來てゐる、この混食の風は、次第に世界的風潮ともなるであらう、かくの如く、人口問題、食糧問題、燃料問題等が非常にやかましくなつてきた今日、過去および現在の食物變化のあとを深く考察して、それに立脚した將來の新食糧品の發見および獲得、新食糧政策の樹立といふことがまじめに研究されなければならぬのである、また現在われわれが日常攝取してゐる食餌様式が、榮養上すべての點において完全してゐるかどうか、また將來かかる様式をとつてよいかどうか、といふことをすべての點から研究する必要がある

▼……最後に、われわれの日常の食物が、いかに重大なものであるかを病人の食餌について一寸述べてみやう。榮養學の發達するにしたがつて種々な病氣が榮養の缺陷によつて起ることがわかつてきてゐるがさて實際において、臨床醫家が病人を治療する場合に、それが充分利用されてゐるかどうかといふに、心細いが、まだ充分行はれてゐない。撰擇上においても、食事の點は同様に不充分である。從來經驗的に正しいと考へられてゐた事實が、最近誤つてゐるといふことが明かにされたものが少くない

▼……たとへば胃腸病患者に從來用ひてゐたやうに、大量のアルカリを時と場合を考へずに與へるのはよろしくないかとが明かになり腎臓病患者にむやみに大量のたん白、脂肪を與へるの不可なことも明かにされ、最近ヴォルブルック、ヘルマンス・ドルフェル等は結核患者に減食餌療法を與へてその經過を良好ならしめてゐる。私もこれを試みたのであるが、非常に好成績をおさめた。かうして數へあげればきりがない有様である。『從來行はれてゐた食餌療法は當然近き將來に面目を一新すべきである』といつた有名な内科醫ベルグマンの言葉は至當であらう

▼……このやうに、一般の學說が改善されると共に、病人の食餌療法も一エポックをつくらなければならぬことは當然であつて、この研究が進むにつれて、從來難しくて治らぬ病氣も、却つて食餌のために惡くしてゐたといふ事實がますます明らかにされることと思ふ。即ち榮養食の研究がひいては治療上にも一大革命をもたらすことになるであつて、かゝる時代の到來するのも左程遠くはあるまいと思ふ（完）

新裝ミナト座に寄す（中）

たゞ僕がこの座において一番失望したことは音響方面に當事者が意を注がなかつたことである。舞臺からの聲は余程大劇ならざる限り觀客全部には徹底しかねる。招待日當日の湯淺氏の挨拶の如き僕には殆んど聞えなかつた、舞臺第一線部の逆部ではつきりとせりふのうけとれたのは諸君たゞ一人のそれであつた

これは千慮の一失である、音響的な効果はこの座からは絶對に期待せぬ後に當事者は直ちにこの缺陷を補ふべく設備を施さねばならぬ

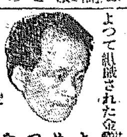
✕

更に僕の氣持をみだしたのは光線のふしだらな照射である、おそらく當日の照明關係は同座の係員だらう、諸君の演劇の背の光線の使ひ方は如何だ、闇から來る觀衆的な効果は何等考慮されてゐないスズラン座員のダンスの場合のあの無頓着な照明には絶對に感心出來ぬ、これなどは殆んど田舎小屋によくある物でたゞ、赤青の光りも出しさへすれば事足りるといふ觀念からの照明である、今日舞臺装置および照明装置の一舞臺に對する役割は實に偉大なものがある、殊にレビューを番組の中にいれるといふ同座のプランをきくにおよんでこの照明には更に深甚なる考慮と研究が必要である、と思ふ。

◇

當事者淺倉氏はこれを樹立する迄には一般世人の冷笑を買つたといふ十年間七轉八倒の苦しみを舐めて漸く歩みいだしたのがこの淺倉營業地でありミナト座である、僕はこの努力に對しては限りなき敬意の念を抱く、併し彼が多年の一歩一歩的な努力をもつてしてもすでにこの二大缺陷が拂はれない・この經歴より推せば氏には劇場に對する、或は興行に對する知識は豐富でないことが雄辯に物語られる、今日の映畫事業或は劇場經營はいはゆる昔流の興行家氣質は殆んど受け容れられない。興行家はいはゆる興行家でなくしてビジネスマンより選ばれた興行家を必要とす、今や芝居王國、映畫王國を築ける松竹の第一陣、第一線には尖鋭的な人々をもつてこれにあたつて居る、一例をあげれば松竹蒲田を統率してゐる城戸四郎氏の如きである、時代の香りを吸ひ更に時代から一歩進んだ頭をもつて大松竹を漸次歩ませてゐる……今日生

藝界一夕話【31】



音樂家　渡邊久吉

朝鮮における西洋音樂は岩崎喜氏、それに現朝鮮ホテルの管絃團員たる中野、清水氏等によつて組織された金曜會の出現によつて漸次擴められたといつても差支へない・この三氏は半島西洋音樂の草分者といつても差支へない。もう廿年も前にならう

◇

有吉さんが政務總監當時、その頃までは音樂會にたとへ拜錢でも入場料金をとらうものなら絶對にはいらぬ、メソヂスト教會内の音樂愛好家をもつて一團としたメソヂスト聖歌隊はこの時代にギヤランテイー一千圓で女流バイオリニストとしては世界第一のガソリン・ボーに嫁を招いた、歡迎者は私で多數の音樂愛好家は私を狂人と罵つた、私はその頃組織するために費用として千圓をもつてゐた、もし損でもしたらこれを投げだし經費はやめる覺悟であつた

◇

當日、さすがに私は會場にはいけなかつた　その頃Y・M・C・Aの野球部の幹事をしてゐたので青年會で様子を伺がつてゐた處がすばらしく人々が相ついて公會堂の方に向ふ、またゝく間に滿員だ、その時有吉さんもこられた、その時ほど嬉んだことはない（寫眞は同氏）

街の勇士（下加茂作品）

カゲセリフ

◇大阪の若手といふからまだ三十四五歳だらうと思はれて居た市川箭太郎、どうして／＼ツル／＼にはげた頭はどうみても四十は下らぬ、いけないのが『あれでも若手か』とただをこねるので座員あわて『なーに氣はとても若いんです』とは苦しい

◇大正館の微笑む人生はレビューの場面、エロ黨スッカリまゐつてゲラ／＼！微笑む觀衆である

◇ミナト座のこけら落しに招かれた各常設館主、小屋の大きいのに流石にビックリ、オド／＼して居たが會興に移ると皆のひどきがどうも變だ。館主連の蒼白な面が漸く常態に復して『これなら大丈夫だ』

海外短信

◇ユニバーサル映畫會社の名俳優ロンチヤニーは豫て病氣中の處本日喉頭癌のため遂に死去した因に同優主演映畫の中『ノートルダムの傴僂男』『オペラの怪人』『殴られる彼奴』等は最も世界的な名篇で同優の逝去は非常に惜しまれてゐる

◇ブロードウェイの舞臺監督として有名なダイゲット・バーンはこの程パラマウント社に監督として入社した、氏は曾ては俳優として活躍してゐた人でその後ブローマン一座の監督となつたものである

◇英國劇壇で名聲の高いパトリック・キヤムベル夫人は今度フォックス社に招かれて『ザ・プレイ・コールド・ライフ』に出演することになつた

◇獨、佛の劇壇及び映畫界からワーナー・ブラザース及びファースト・ナシヨナル社の獨、佛版に出演するために左の人々が渡米したウイルヘルム・デイーテルレ・アントン、メンデイル、ジーネ・ヘルブリング、スージントトナー、リデイ・アーナ、カーラ・バーセル、M・ノーマン　同第一回出演映畫は『ゾーズ・フー・ダンス』である

◇『ピッージイ』とノア・ベアリー第二世は偉々ファースト・ナショナルの『カレッヂ・ラバース』で映畫界にお目見得することになつた

ニュース・リール

不景氣、不景氣と、つぶやいてゐるものゝ大正館は廿六日、微笑む人生、冬木心中の初日、黄金町、新町の兩券番、各カッフェの美しい所でかため夜は田中榮、長二郎ファンで大入滿員山川大正館主任の言によれば『さきに正月の『伊』の初日より入場人員は多い』と

✕

滿股朝日座で一週間ぶつ通しで辯論大會を行ひ、空前の盛況ををさめた、素人騎合、まだ會員同志、知らぬ顔があるので廿六日午後六時からその顔合せを飼波文樓上で行つた、これに各社の記者連も加はり、集まる者三百餘名とても愉快なる會合であつた

✕

フォックス社の慶和洋行では九月の第一週に敵にらみの世界を朝鮮劇場であげる由

✕

西關廿年、わが樂壇の大先輩山田耕筰氏、その多年の功にむくゐるため本邦一流樂人よりあつて來る十月東京日比谷公會堂でその慰安の大演奏會を開くとのこと

喜樂館（廿七日から）▲『國際時報』實寫一卷▲『見果てぬ夢』十二卷南部邦彦、菅井一郎、吉川大島屯、竹村鐵二、見明凡太郎、杉山三九、浦邊粂子、峰吟子共演▲『落花飛英錄』十二卷澤田清主演

炊飯の損失

吹き出さぬ様　燃え過ぎぬ様

御飯を炊く場合多くの家庭では燃料の點で又は米の榮養分の點で不經濟な事をしてはゐないでせうか、御飯は初め強火にして沸騰させて釜の蓋の所からねば汁が吹出す様になつた時注意して吹こぼさぬ様に急に火を弱くします。吹出さぬ程度の微火で十分間位煮て火を消しそのまゝ保温して十分乃至十五分間蒸します沸騰した後強火を續けてゐるとは一番不經濟ですそれ以上炊いても濕度は決して上りません、燃料が損なだけです、その上糊汁は溢れ出て底が焦つき硬い御飯になります、糊汁の中にはビタミンBおよび蛋白その他大切な成分が澤山入つて居てこれを失ひますと、榮養價が少くなるばかりでなく味も大變惡くなります釜は適當の大さのものを使はればなりません、小さ過ぎますと吹き釜といつて上部と下部と御飯の出來具合が違ひ芯のある不味い御飯になります。下部で御飯が出來るやうにしなければ出來損ひますお米を御飯にすると生の時より二倍位殖ゑますから一升お米を炊くには釜元まで二升五合充分に入るだけの釜が必要であります

子供のお八つ

トーストパンを上げなさい

子供のお八にはどんなものを與へたがよいか、などといふ事は普通一般ではほとんど無關心、何んでもかまはず子供のすきなまゝに與へるといふ風であります。これは家庭として相當考へねばならぬ事です。實際お八の如何が、子供の發育や健康に大變關係します。お八に適當なものを與へるといふ事は發育に大變よい影響を與へます。

◇

普通子供のお八つといへばビスケット、鹽せんべい、まんぢゆう餅菓子等が多いのですが、これらの成分は澱粉、蔗糖等の含水炭素で、甚だしいのはビスケットの安い物には粘土を含んでゐるものさへあるのです、ところで間食の主食物は御飯やパンで、その主成分は含水炭素ですから、主食と間食の成分が重複し偏食することになります。この偏食が身體の發育によくありません、主食の御飯には含水炭素、脂肪、蛋白等を含んでゐるのですから、間食ではこの主食で足りない成分ヴイタミンや無機鹽類等を含むものを選ぶやうにせねばなりません

◇

それには果物（リンゴ、ミカンなど）や牛乳、サツマイモ等がよろしく、またバタは最も多量にヴイタミンAを含んでゐるので、トーストパンにミルクをつけて食べるなどは最もよいと思ひます、またサツマイモ等がよろしく、またバタは最も多量にヴイタミンAを含んでゐるので、トーストパンにミルクをつけて食べるなどは最もよいと思ひます、またサツマイモを焼いてバタをつけたなどもよろしいものです。余裕ある家庭でしたら、ホットケーキを作つてやるのも大變よろしいです。だといつて滿腹して夕食の量が少くなるやうではよくありません。一日の食量の三十分の一、即ち一食の十分の一位の分量が適當と思ひます。ビスケットや鹽せんべいも絶對にいけないといふのではありませんが偏食するのがよくないから、主食に足りない成分を補ふやうにしたがよいといふのです、この方針ではお八つは果物や牛乳だけで甘いお菓子は全然たべないとさへいひます

釣の季節

釣道具撰び方

竿は初冬に切つたものが一番

暑さが落ち目になると共に太公望連の活躍の時となります、そこで釣具を求める時の注意を二三記しませう

釣竿　近頃繼竿が流行となつて居りますがこれは特に求める時に材質や作りなどに注意を拂はなければいけません、即ち竹の質としては氣候順調の年の初冬切つたものを最上とし、作りは内部の刳り方がよく、竹の厚味が平均して居り、繼目は完全な組形をなし、差込みが深く密着して緩り方も入念なものでなければなりません、竿の調子は曲げて見て、彎曲の平均してゐるものその他は目的でえらびます

絲——彈力があつて手觸りが滑かで、練及び太さに各々むらのないもの、撚糸や浮糸は撰りの良いものを

鉤——尖が鋭利で腰に彈力があり擬ははなるべく細く、且つ折れないもの、鉤形や地金の丸型等にして用途に適した形の物を

浮子——なるべく輕く、形狀均整完全のもの重さは浮子との釣合ひよく、流通に適したもの

でぐす——彈力があつて丸味及び太さが均一で透明の部分の長いもの

人造でぐす——彈力あつてむらがなく、良質の絹糸で揃へたものが良い

麻雀界

▲南大門麻雀倶樂部例會　廿七日午後七時から太平通二開クラブで例會例會費一圓二十錢（三回戰）

▲平崗光三郎氏送別麻雀會　京取引所の平崗光三郎氏を送るため麻雀界の功勞者なる平崗光三郎氏を送るため麻雀大會を卅日午後六時から京城クラブで開催會費二圓（夕食附）

池田の本壘打　高田の好投

勝利を決定的に……

大會その日その日（三）

準決勝戰第二日には平壌對全新州戰に次いで、なほオール大邱對殖銀戰、大田鐵道對平壌實業戰も行はれた、大邱と殖銀は第一回の大會から常に波瀾のあるゲームを行つてゐるので、觀衆とも相當妙技快技をみせてくれると思つてゐた・果して一回裏に大邱の老巧大梅の遊擊左よりの猛直球を——勿論それは當然安打になる痛擊だつたが、それを好手岩城が體を斜角度に左に曲げてシングルで好捕したことは、實にきれいな技で——安打にはなつたのだがそれを摑んだ感じといふものは、とてもうれしい技術だといへると思つたのだつた

◇

それ以外には、このゲームは、殖銀は外野々として進んだ。殖銀としては、スタープレヤーがないまでに、みんな粒ぞろひで、むしろスターチームといつた感じだ・大邱はどうか老いた感じがみうけられて常凡な推移をみせて進んだのであつた。だがラストインニングで、大邱の左翼手松の好投が殘る位のものだつた。殖銀九回を攻めて二死後だ、走者首尾は安打に出て二壘にあり、岩城の三壘右を抜く安打で長蛇本壘をついた瞬間だつた。三壘をカバーした潅はそのボールを好捕して投げた所が捕手の直前でショートバントして鮮かに首尾を刺したのである。あの瞬間のたゞ中で、これ位の好技は珍重してよく賞讃していゝと思つたのであつた。

◇

次の大田、平實戰では、大田の山本にファインプレーがあつた。二回平實攻めて最初の打者は四番班目で、ワンボールののちレフト寄りの大飛球を強飛ばしたが、野手山本はきれいなスタートをつけて背走、シングルで好捕した。攻勢に乘じてゐた大田だつたから、大田びいきの局部は無理もない程のファインプレーだつたのである

◇

越えて第三日廿六日は、オール新義州對平壌鐵道、遞信局對興南倶樂部が百パーセントの興趣をみせてゲームした、平鐵と新義州は文字通り息づまる熱戰をつゞけ、一對ゼロで新義州リードしたまゝ戰果を斷ずることの出來ない接戰のまゝ八回裏になつた。二死後ではあつたが平壌走者一、二壘にあるとき、小西の安打で、二壘の走者田中が一擧にして本壘を猛襲したのであつた。この猛襲については野球技術の上からは批評が幾多起ることと思ふが、今それは止めにしてこの時新義州の中堅手高田が強肩を利しての投球が絶好のコントロールを得て捕手のミットに收まり田中は全く寸前に刺殺されたのである。もしこの時一點を平鐵がとり得たなら、ゲームは或は延長して六回戰にまでも延びたらう。思へば高田のこの好投は味方を決定的に勝利に導いたといつていゝのである。ファインプレーといはずして何ぞやである

◇

この日は不思議にもファインプレーは前記高田のと一しよで二つしかないが、その二つが何れも勝敗を決定してゐるのである、即ち殘る一つなる遞信對興南戰の遞信池田のファインプレーは一對一で兩軍とも苦戰をつゞけて七回裏になつた時まづボックスに立つた池田がツウボールの後、左翼の柵を越す大本壘打を放つたことで、殆ど凶の嵐のやうな大拍手はさることながら、この一點が遞信を勝たしたわけで、この日の遞信にあつて池田ファーストなることはわれ人ともに認めた所である（カットは敗者の退場　高良畫）

▲城南クラブ例會　本町二丁目の城南クラブでは卅日午後七時から同所で例會麻雀會開催三回戰五十錢▲龍山麻雀クラブ例會　廿八日午後七時から龍山麻雀クラブ例會開催會費五十錢、三回戰

27日　公設市場　小賣値段

▲特等白米一キログラム、二四〇▲一等白米同、二三〇▲味付鰹節六印一個、九五〇▲同丸かん同、三五〇▲海苔一帖、三〇〇▲同次同、二五〇▲ムキエビ大三〇〇瓦、四八〇▲同中同、四六〇▲同小同、四四〇（單位錢）

JODK　プログラム

二十八日（木曜日）

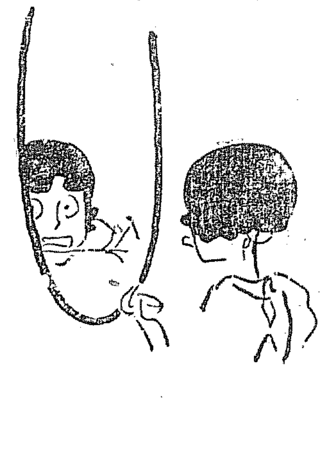
午前十時〇分　氣象概況、各地天氣
同十時四十五分　料理獻立（月夜汁）日用品値段
正午　時報、ニュース
午後〇時二十分　ラヂオ學校　世界大戰の話（二）　京城中學校　獺澤君衛
同二時十五分　醫學講座（[illegible]）港の世界から青春へ　醫用醫院長　朴容來
同三時四十五分　ニュース、官廳公示事項
同四時〇分　全國野球爭覇戰決勝戰實況
同七時〇分　ニュース、官廳公示事項、職業紹介事項、プログラム發表
同七時三十分　講演　新學期の教訓　京城師範學校長　渡邊信治
同八時〇分　二曲合奏、夕顔　尺八　吉田伸月　同　藤本伸峰
水無月　箏一部　高山綾子　二部　藤本伸峰　尺八　吉田伸月
同八時三十分　常磐津　[illegible]
同九時〇分　新日本音樂（東京）一、鐵輪曲、牡丹境曲　獨唱　吉田滿喜子　二、管絃和曲海の幸　作奏　成和音樂合奏團　イ、黎明の船出　ロ、激浪と闘ひて　ハ、夕風の歸帆　ニ、大漁祝の賑ひ
同九時卅分　氣象概況、各地天氣
同九時四十九分　[illegible]　西道雜歌　金玉蓮

母

小說に、劇に、映畫に萬人を感動させるヒロインは、さすが賢母の名に背かず、夜寢る前にも品質優秀なライオン齒磨を使つて、ムシ齒を豫防する事を、その子供に懇々と教へる程それ程、育兒に就ても用意周到なものでございます。

ライオン齒磨本舖

とー5



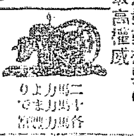
黄ろい歯が白い歯になる　齒磨スモカ

口もと尋常で　鼻が高等　眼が大學！　それでお齒さへ白ければ　全甲　滿点ですけれど………？

168

病中最も怖るべき病はセキの病　効力本位　パパリン錠　東京小石川　大林藥舖　發賣　雜貨化粧品藥店　定價十五錢

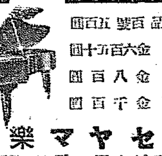
タバト　能率卓越せる　トバタ揚水ポンプ　（カタログ進呈）　二時間より八時間　石油發動機界の最高權威　戸畑鑄物株式會社代理店　京城府黄金町　國産商會



贊化病院　內科　小兒科　入院隨意　[illegible]　醫學博士　古城憲治

東洋一の　大邱リンゴ　大邱驛前　九州堂

山葉ピアノ　新製品百號　五百圓　一號　金六百五十圓　二號　金八百圓　三號　金千百圓



一階　ピアノ　二階　レコード　三階　オルガン　御樂器類

セヤマ樂器店　京城本町一丁目　電話本局四〇〇八番

高級滋養強壯料　日・英・佛・專賣特許

醫學諸大家實驗推奬　帝國發明協會優等賞受領（河合龜太郎創製）

用ひ易き濃厚肝油（ヴイタミンAのみならず）膠囊入　七十五粒入一瓶二圓

○ヴイタミン肝油球

ヴイタミンAに就ては最早知らぬ人は無い程ですが、肝油には尚其にDの存在が認められ、他にも滋養料としての使命が大いに存します。が天然の肝油には又種々の缺點も存り、之を總て除去し得たのが本品で、實に左記の諸特色を有して居ります。

◎ヴイタミン肝油球の特色

一、本邦に於ける最良最強の肝油を原料とす。
二、最近本邦及び英佛兩國政府の特許を得たる特殊の科學的操作に依り、其の原料肝油を高度濃縮し、ヴイタミンA、D等不鹸化性主要成分の含有量を數倍に增大せしめたり。
三、其用量普通品に比し遙に少量にて十分の滋養力を現はす。
四、用ふるに際し肝油の臭味を感ぜず、胃腸障碍を起さず。
五、新式の特殊自消化し易き小球狀の柔軟カプセルに容れたるを以て、其嚥下し易く、取扱、貯藏、攜帶に至便なり。
六、之等の理由に依り、普通肝油製品と異り幾多服藥の煩のみか夏季暑熱の節と雖も何等の顧慮無く連續して用ひらる。
七、要するに一般大人に理想的なる滋養強壯料にして、特に服劑にて他の肝油製品に耐へられぬ人々は之に限る。

一般大人に理想的なる滋養料にして、榮養不良に基く夜盲等の眼病、及び佝僂病の如き骨病、齒牙病、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他結核性諸症の病弱者に對して、確實なる滋養補給を目的とする最も適當なる滋養料なり。

芳香、小兒にも最も服し易き本品を原料とせる◎肝油ドロップスあるは周知で更にカプセルを用ひざる本品、即ち液狀の◎濃厚肝油がございます。

文献・說明書・見本品進呈

◎ミツワ石鹸本舖　丸見屋商店

7.29

藥種賣藥卸專業　合資會社大黒南海堂

現物市場に警告を嚴達

取引所令發布の豫告

本府商工課長談　現時市場關係者においては往々にして流言浮說に惑はされ擬似清算市場化せる現物市場は取引所新法令發布の曉何等か有利なる立場に置かるべしとなし殊更現物市場たる本領を離脫して賭博を勵らんとする如き向がないでもない、然し乍ら現物市場は取引所令の無く新法令及これに基づく施行方針においては現物市場は反て嚴重なる取締を受くるに至るべき筋合にあるのである從つてこのまゝ放任するは啻に現物市場取締上面白からざるのみならず新法令發布の曉現物市場關係者をして不測の損害を被らしむること無きを保せざるにより豫め警告を發するを妥當かつ親切なりと信じ特にこの際各現物市場に對し左の三項を警告することにした、しかして今後の施行のあかつきこの警告に反したるにより受くることあるべき損失等に對し救濟の方途を講ずるが如きは當局として全然考慮する限りにあらざるを以てよく留意されむことを望む次第である

一、關係法令に於ては取引所外における取引所類似行爲を禁し違反者は嚴罰を以てこれを取締るの規定を設けらるべきこと

二、市場規則に依り許可せられたる現物市場は新法令において當然取引所として認めらるゝが如き取扱を受くるの限りに在らざること

三、現物市場は現在と雖もその認可の範圍を超え取引所類似に陷るべからざるは勿論なるも新法令實施の曉においては當然第一項に述べたる法規の適用により嚴重なる取締を受くるに至るべく而も之が取締方針としては既往の行爲に對し或は制裁を加へらるゝことなきにしもあらざるを理由として期許することなきこと

引取所令の豫告である

土師商工課長談

本件は目下調査中の取引所制度確立に關する方針の一端を公表するものであつて、本來ならば他のすべてを實施する場合、それ等と同時に處理してよい譯であるが、これのみ切離して今直ちに知らしめることが有效且適當なりと認められるので、この措置に及んだのである。それといふのは現物市場關係者においては取引所制度確立の際現物市場が如何なる處理を受くるのについて明確な目標を有しない故か濫りに揣摩臆測を逞ふし或は現物市場が清算市場化するにおいては新法令では何等か有利な地歩を得らるべしとなし、只さへ許可範圍を逸脫し易い現物市場が殊更清算市場化する風がないでもないかくの如きは誠に遺憾に堪へないのでこの際當局の方針を知らしめ後日嚴重な取締をなすに當つて、關係者が不測の損害に陷ることのない樣にしたいのである、又本件は現物市場許可範圍を超へたる嫌ある者の一般に對して取締を勵行しつゝあるもので、蓋し先般市場規則改正に依つて禁止した仁取の米期米相場もその性質が既に認可範圍を逸脫して居り乍ら禁止について若干の猶豫を設けてゐるが如く、新法令に基く取締にあたつても、今回警告をなすことが親切な遣り方であると思ふからである。しかし乍ら一言して置かねばならないのは、取締の開始をなすに當つては初年であるとか突然であるとかの口實で取締の手心を濫用しても斷じて容赦しないことを明言しておきたい、之を要するに取引所制度確立の內容については[illegible]

警告を無視は出來ぬ

京取支配人築山康氏談

今回、殖產局から各現物市場に對し別項の如き警告を發することになつたが、現在清算取引をやつてゐる京取としてはこの警告に對して如何にするかは一般の注目する所だが、京取側關係者には『今回警告及び制度實施方法は一に當局の方針のみに依て決定せられるべくこれについては當局は調査に研究に充分に着眼する積りであるが我々外部の策動に基いて出來た規則に則られて制度の內容や方針を變更することは寸毫もないことを聲明し承知して貰ひ度いと思ふ』の警告はその動機なり目標なりは米穀市場にあるものと思ふが、同時に將來取引所令が發布された曉現存の現物市場が必ずしも存續を認められるとは限らないのだ、といふことを豫告し、甚そうした錯誤を起す向もあるのでそれを豫防するために發せられたのではないか』との觀測も行はれてゐる。しかしてこれに對し築山京取支配人は左の如く語つた。

今回の警告はその動機や目標がタトへ何處にあるとしても現物市場として認可されてゐる京取が含まれてゐることは否むことが出來ない。併し今、永年繼續して來た所の清算取引の行爲を中止することは頗る大問題であるし、といふて警告を無視して現狀を續けて行くことも出來ぬことである。故に若し京取にも警告が向いた場合には、その時に特殊事情を具陳して清算取引の繼續をするか或はその他の對策を講ずるより外に仕方がないと思ふ

金組中央金庫の見合貸の方針變更

廿六日の委員會で

殖銀中央金庫の金組聯合會に對する貸付は預金見合貸と普通貸出の二種となつてゐるが見合貸出の利率は六分七厘、普通貸は七分七厘の利率であるからその間に一分の開きがある譯である、しかして、この

見合貸　について殖銀は各道聯合會よりの定期預金總額を限度としてゐるだけで各道別に決められてゐる譯でなく、申込順に貸付けてゐたが、預金見合貸の余裕がない場合、預金の限度までに見合貸が達してゐない

聯合會　から貸出を要求して來たときは、たとへ後れて來ても各聯合會の預金總額の限度に達するまでは見合貸として六分七厘で貸付け、その代り預金額に對して見合貸が最も多い道の見合貸から同額を普通貸に振り替へることゝなつた

事業會社の整理は未濟

和田商銀頭取談

和田商銀頭取は郷里新潟へ旅行中のところ廿六日夜歸城したが內地の財界その他について左の如く語つた

殆んど見きわめがつかない、事業會社中にはまだ未整理の向が多少あるのではないかと思つた金利は今のところ一寸昂りそうにない失業問題にからんで社會に思想上の危機が深刻になりつゝあることは蔽ふべくもない自分の郷里は新潟附近で從來製糸の工女や大工左官などの職人が可なり多數他府縣に出稼してゐた從つてこれ等の連中が持つてかへる金額は相當多額に上つてゐた然るに最近工女は製糸工場の休業でかへつて來る職人も雇手がなくて困つてゐる譯で郷里の金の決濟期が來たが困難に行詰れなかつた模樣である、とにかく內地財界のつまり方は朝鮮と比較にならぬほど深刻である

秋繭は又々一波瀾か

道はどう出るか

秋繭相場は目前に控て相場がどの程度に落ちつくかゞ注目されかけて來た。生糸相場から見て未曾有の安値を現ずることは間違ないことではあるが內地に比して特殊事情にある鮮內は產繭奬勵計畫の關係上、官廳側では頗る苦心してゐる模樣である、昨今生糸相場は相變らず七百二十圓見當であるから繭価を方面と見れば、十六掛見當となるが、これでは官廳側がおさまりさうにない、各道當局ではなるべく高く買ふために乾繭場使用料、販賣費等を全廢して貰ひ二十掛乃至十七八掛のところを狙つてゐるらしい。これに對して製糸家側の態度は[illegible]度いとの意向であるが、製糸業者の[illegible]の關係上果して希望通りに行くかどうかは頗る疑問とされてゐる

しかし、この問題は本年春繭で平安南道が引下げた先例もあるから結局、幾分手心を加へて率を引下げることになつて落ちつくのではないかと見られてゐる、各道が一齊にこうした態度に出るとすれば製糸家側でも石炭その他諸物價の低落から生ずる工場內生產費や運搬費の値下りがあるので繭価は從來に比べると引下げの余地が出來て來る譯である、目下のところ製糸家側の意向は十五掛以上は無理としてゐるやうであるが、結局、官廳側の二十掛乃至十七八掛と相對して秋繭の相場決定には又々一波瀾は免れぬらしい形勢である

上半期より惡い下半期の商品界

來春に入り好轉か

金解禁の影響や海外恐慌の餘波をうけて極度に萎縮、不振を極めた上半期の商品界のあとを受けた下半期の商品界が如何なる過程を辿りつゝあるかは一般から頗る興味ある態度を以つて注目されてゐるが、最近

綿糸が　綿布や海外輸出の好轉によつて聊か底を突き直り氣味を見せてゐる外、生糸の好轉等商品界の一角には、や〻樂觀氣分が萌して來た、これに對して上半期に續いて進行して猶步高を續けて來た米、石炭、洋灰等は最近に至り俄然惡化し、これ等から生ずる悲觀人氣と共に下半期の商品界については上半期より更に惡化するものとして頗る

自重的　な氣分を釀成しつゝあることも爭へない、然し目下最も有力視されてゐる觀測は依然商品界は惡化傾向をたどるものとしての悲觀であり、即ち綿糸、生糸、ゴム、砂糖、製粉等は上半期で未曾有の値下りを見た結果大體底をついたものと見られるが、回復力の鈍いことは否定出來ぬことであり、かつ米、石炭の

下半期　に入つてからの暴落はこれら諸商品に重苦しい壓迫を與へて行くことは明かである譯より見れば前半期よりは更に低落時代に入るものとされてゐるから、しかして一方銀行、產業會社の上半期決算のあとを見るとこ につくに減配を以つてされ、しか

鑛業令改正と民間の希望

容認の程度如何

本府殖產局では鑛業令の改正につき各方面の意見を徵してゐたが、今回そのため特に民間關係者を網羅した鑛業調査會の機關を設けることゝなり、すでに鑛務課に主任者を置いて原案の作成に手をつけるに至つた模樣であるが、松村殖產局長の語るところによると、當局では必要はないとの意向らしい。而して從來鑛業者は機會ある毎に鑛業に關する法規の改善について陳情を提出したり或は當局と訪問したりして、實のあるところを明かにすることを忘れなかつたので今更改めて鑛業者を集めてその意[illegible]

海外經濟電報

倫敦銀塊　一六片四分一
米棉　九十七錢五分
印棉　七十錢高
スチール株　一七一・二分七
アナゴンダ株　四五卅二分一
日米爲替　四九卅一六分七
英米爲替　四月八六仙一六分一
紐育銀塊　三四仙八分七

東京コール（廿七日）
當日拂　一錢　乃至一錢一厘
無條件　一錢　乃至一錢一厘
普通　一錢五毛乃至一錢一厘

穗落

技師長以下五十名の應援團を率いて木村主催の全鮮中等野球戰に來城した興南クラブ（朝窒チーム）は鮮銀との對戰に初陣にしては見事によい成績を殘して引取した▲そこで[illegible]がいふことには、[illegible]ばかりじやあ矢張り勝ち目はないところがある、來年は燐酸肥料を使用して[illegible]だと▲三井の大中君、朝鮮の農業政策を論じて、何處か[illegible]もよいが、實際的な[illegible]試驗が必要だ▲[illegible]と▲その大中君、水口を濁らして、『うちの西川君は、知つてるだらう、頭の光つた…ね…』と西川總督府部長の先頭をはからずも御紹介におよんだものだ▲夏枯れで仕事がなくて[illegible]社員一同、顔ふまいことか、時ならぬ爆笑を爆發させてユーモラスなナンセンス百パーセント▲それにしても西川君の禿頭よろしきを[illegible]

株式

阪地不味に氣力乏し

前場　二十六日後場の[illegible]先、今朝は東京不味乍ら阪地の駄りを入れて東新八十八圓十錢と引緒つて寄付いたが双方警戒して積極的に出動せずアト阪地の無氣力に七圓六十錢と大引し、この邊まだ小相場觀が濃厚であつた即ち昨後場の止値に比し東新四十錢安であつた

後場　前場無氣力の機先を受け後場も阪地の不味に仕手は愈々氣乘らず只東新八十七圓七十錢と幾りなく寄付きこの邊全く小浮動に推移してゐた

時局問題中心の硬軟兩觀測

昨今の相場は漸く利喰に小緩みたるまゝまだ動機至らず保合の接合を繼續してゐるが差詰當面において硬軟の狙はんとせるものに貿易の出超と軍縮問題に引掛れる樞府對政府の抗爭がある、卽ち前者は強氣の見る處、後者は弱の材料視せんとするもので本年の對外貿易は金解禁斷行てふ難物突發によつて正貨の流出せる結果特に財界全般の運命を下する最重要の指標として深甚なる注意を向けられてゐる、從つて民間側の豫想は差引一億圓以上の入超と悲觀の解釋を下してゐるが

政府　は下期の出超を期待し樂觀の態度を採つてゐる、もし政府の見解が當を得たとすれば人氣はこの貿易の推移を觀迎せんとする傾向を示してゐる、而して後者の軍縮問題は政府が頑強なる態度に出たため遂に樞府と折衝を起した形勢は明らかに險惡に乘上げた形で例の糾査委員會の空氣は常に政府に不利となつてゐる從つて委員會の前途は益々多難なるは勿論條約案の根本に亘つて樞府は猛烈に攻擊の矢を報ゆべく殊に財政上の關係においては補充計劃に重大なる

經費　を要し經濟的には瓊る緊縮ならで張擴となるの擬合でもあれば論議はまずこの點に集中されるためよしんば條約案が通過しても政府は相當大なる打擊を蒙るであらうとみられ更に軍縮問題よりも政府にとつてより以上の重荷たるべきものは收入減による來年度の豫算編成難であるが、政府は果してこの兩難問題を如何に處理するや、一部悲觀論者の見る如く或は政府最後の瀬戸際に於て一切の解決を見出すや知れぬと見るむきもある、即ち

時局　問題を中心に強弱の分岐も斯くて今後の推移を待たんとするものゝ如くであるがおそらく現在の底強さから見て後者に解釋

人氣更に滅入る

大勢は依然として保合相場であるが前週末に大新が大阪屋に關連せる種々の惡說が流布されて滅切り不良化しこれが全般の買氣を萎縮すると同時に買方の嫌氣を助長して[illegible]の安値買狙ひの時機ではなからうか、尤も積極的には買はれないまでも今日まで利喰後の清勢は相當培養されてゐる以上適頃から係の一面を輿味と相俟つて進取の態度を採るべきではあるまいかと觀測する向もあつた

株式現物專門　京城明治町一丁目　大原現物店　電話本局一九三番

商內又も細る

今朝阪地が軟りに寄付きたるためこの邊利喰ひ的に買向ふものもあつたが相場は依然氣力乏しくアト[illegible]松山等の買直しものが現はれてゐた、即ち今朝の出來高は小口乍ら[illegible]落を強して[illegible]的にデリ安の不勢を呈した、併し買方も目先に諸種の問題が控はつて居ることとて突込みは警戒され相場の地合側か不良の割りに崩れず保合圏內の浮動を續けるといつた具合で双方動揺待ちの姿を呈してゐる

本玉

廿七日前場までにおける百枚以上建玉左の如し

京取　賣方洪殷四七〇德泰一九〇新田一三〇山口一〇〇

▲買方洪殷三三〇松山二九〇新田一三〇山口一〇〇

大新　賣方德泰四五〇新田一〇〇

▲買方松山三五〇正崎一九〇新田一一〇立山一一〇

東新　賣方白栄三六〇新田三三〇立山三〇〇松山一四〇德泰一一〇洪殷一〇〇▲買方田中道一、三五〇正崎四一〇大林一五〇新田一〇〇

新　賣方德泰一六〇白井六〇德泰五〇立山四〇

買方松山一〇〇白井六〇德泰一[illegible]

は德新一〇東新二九〇合計二〇〇枚でうち三〇枚以上の手口左の如し

大新代引減少

今回の代引尻は大した變化なく只大新に對し松山二十渡し新田が十立山五十口栄二十計百枚の受渡があつたのみで結局百十枚に減少した

東株短期取組況

東株前場の二十六日後場現在における短期東新の取組高は十八萬一千九百六十枚で賣方四十九買方六十六店の大下長を示してゐた

農林省の古米賣却高

卅三萬八千石

【東京電話】農林省發表本月廿六日に賣行した內地古米賣却の成績左の如し

賣却決定數量九十萬石▲賣却濟卅三萬八千四百九十九石▲殘數量十六萬一千六百石八

全國稻作良好

八月十五日現在の全國稻作狀況は愛知、岐阜、長野、新潟、富山、石川、福井、兵庫、廣島、山口、鳥取、島根、愛媛、德島、福岡、長崎、東京、青森、秋田、山形、岩手、宮城、福島各府縣は稍々良、大阪、京都、奈良、和歌山、靜岡、三重、岡山、香川、熊本、佐賀、大分、宮崎、神奈川、埼玉、千葉、茨城、山梨、群馬、栃木、北海道地方は良、高知、鹿兒島は普通、沖繩は稍々不良であるが全國的に見れば稍良好である

鮮銀帳尻（廿六日）
發行高　[illegible]
正貨準備　[illegible]
保證準備　[illegible]

日銀帳尻（廿六日）
發行高　[illegible]
正貨準備　[illegible]
限外發行　[illegible]
貸出高　[illegible]

今後の蠶糸業の發達には、工場主義とすること等は當然許可制が實際上に運用さるゝ場合の如き官憲の獨斷にのみ委することなく、民間當業者の意向も一應聽取して、參考とするやうな機會を與へて貰いたいとの希望があり、民間當業者との完全な意思疏通を圖るべき機關の設置を要望する空氣が濃厚である、これに對して總督府がどの程度まで容るゝかは興味ある問題とされてゐる

工場の新設擴張を名實ともに許可主義とすることは當然斷行されるものと民間では期待してゐるが、

購買力

減退は爭へないものがあり、會社自身の將來にしても更に消極的な方針に出ることは明かであるかくて下半期の商品界は前々期乃至前期より持ち越された過剩品の整理と共に更に惡化するとの豫想が濃厚である、右につき住井三井物產支店長は左の如く語つた

下半期の商品界については依然として悲觀論者である、財界の內容が上半期の決算によつて明かに整理陶汰されたことは事實であるが未だ整理さるべき部分は頗る多くこれ等の整理が終らない限りその好轉は到底望み得られない、この意味において本年一杯は商品界が更に惡化し、その上で陶汰されべきものが全部陶汰され、來春に入ると共に好轉の途を辿るものではなからうか

の整理はその內容を整理も各會社は極度にその內容を整理斷行した結果これ等から來る

株式（廿七日）

銘柄	京取短期			
	寄付	大引	高値	安値
京取前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京取定期　日歩　[illegible]

京仁大同京安東鐘紡銘柄	取	新	新	新	新	取	新	新
前引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期	寄付	大引	高値	安値
大新後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日特前後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株長期	前寄	前引	後寄	後引
大株	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
信託	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京取建玉表　賣方・買方　[illegible]
出來高　短期　長期　當日　累計　[illegible]

東京現株	
鐘紡	[illegible]
同新	[illegible]
東拓	[illegible]
同新	[illegible]
富士紡	[illegible]
日石	[illegible]
兩毛	[illegible]

期米（廿七日）

仁川

限月	前場當限	中限	先限	後場當限	中限	先限
（一）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（二）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（三）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（四）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（五）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（六）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
（七）	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

帳入値段　組高（石）　出來高　累計　[illegible]

◇東京　前場・後場　當寄　止め　[illegible]
◇大阪　前場・後場　當寄　止め　[illegible]　引アト　二十六錢
◇兵庫　先限　寄付　止め　[illegible]
◇下關　先限　寄付　止め　[illegible]
◇桑名　先限　寄付　止め　[illegible]

經濟

つよきよわき

株式　相場も東新は八十七、八圓臺をウロ〳〵して上げ賛成とも下げ賛成ともつかぬ不透明な商狀を繰り返してゐる

▲といふのも硬軟兩說とも材料に對して氣迷つてゐることは何といつても爭へない

▲即ち弱氣は中旬の出超期頃に多かつたのに氣を弱ふして今後の貿易狀態に一縷の望みをかけてゐるのに對して

▲弱氣はロンドン條約をめぐつて政府と樞府の衝突を懸念してゐることとおびただしい、

▲だがこの軟硬兩說の見解だつて絕對的のものではない筈だ、果して双方が思ふ樣な成行を見せるものかどうかは頗る疑問だ

▲だからこそそこに硬軟派とも深

期米　昨夜仁川取引所には大きな雷が上つて居たが別に大した風も吹かず寧ろ雨待ちに雨を入れて順氣此上なしであるから相場が下押すのに無理もない

▲所が高値から四圓以上も下げた揚句として相場もどうやら此邊一騎に崩れそうにない何分朝鮮は海とも山とも判らない作柄を目先の好順のみで賣用いてるのだから買の所買方も危險である

▲殊に八月に安値を出すと九月には必ず引返すといふ過去の例から見てもここは賣方も注意すべき所である

▲何れにしてもこれからは賣方も從來の如き調子に行くかどうかは疑問である

客筋買ひに引際締る

前場　今朝は阪地の小緩みを入れて警戒更に深く當二十一錢中二十四圓二十錢先二十六錢と前日の止値より十錢安に寄付きしも天候の險惡と阪地の引い緩みがあるから若干強硬ふ態度を[illegible]はつきりさせぬのだ相場だつて動けるものじやあない

當限前場情報

【大阪電話】本日場當村は潮先から二十四錢一本値で當限は依然保り待ち賣りに出て人氣は依然保り待ち賣りに出ら強々入り込む情報は凡て騰氣的なのでゐる、即ち當先五圓も開が開いた譯も先物も漸々慨作見越しの有樣であり強氣も二十圓前後門邊には見逸るといふ成行らしい、隨つて當面の相場觀は女人筋で恐危目の經過するまでは一樣に保合を賂めてゐる狀態である

玄人筋は見送る

小笠原の南方に低氣壓が現はれてこれが漸次朝鮮方面に進行しつゝあるとの報を入れたのと當限に對する賣方一派の保持り確實を伸へるが人氣の惡化と頭上の好順推移で愈々先安見越しに傾いて長りは期末相場に一と跳ねを見越す向もあるに對する懸念もある何分急角度に下げただけに利喰も旺盛だから月の好順は去る事ながら目前に迫る大危日の天候懸念もあり又一方政府拂下げ米敷札も高いか安いかなつてゐるから目先は兎も角大勢の進展の武器當限がありそれに現在の好順は去る事ながら目前に迫ない狀態である、たが月末は買方の仕手關係もこゝへ來ると硬軟の勢力は判明して買方は全く受太刀と言ふ始末で買目途に乏しい上に秋落の序幕と見て買物が消々と手を出ためにも少々の利喰は苦も[illegible]

天災以外に買目途無し

底拔け安に買方の失望投げ絕へず秋落の序幕と見ての買物が消々とと湧き出ためにも少々の利喰は苦もなく消化されて値は更らに下鳴ふ

後場　前場引際小締りし後先限は阪地の驅りに先限二十圓七十錢と前止より更に十錢高に寄付きしも戻りは賣物絕えざるのと阪地のアトデリ安に二圓六十九錢から四圓は五十八錢と落ち結局別掲の如く大引した

返し模樣に寄筋からの買物入り込み二圓五十錢から六圓は五十九錢と引締りアト小賣合の後六十錢と手堅く大引した

東京期米受渡

東京期米當限受渡し高は三萬一千六百石でその値段は三十一圓五十錢である

當限の渡米

一萬五千叺積出

【釜山電話】大邱穀物會社及迫間商店の手持米約一萬五千叺が數日間に下關、大阪、へ釜山から積出されたが定期の賣繫ぎとも言はれ或は軟派と商談成立とも言はれてゐるが當限の渡米化することは事實らしい

三錢は防禦的に三千石を買ひ岡山筋も出直から克く買つてゐる

ら一千石を賣る、これに對しては

釜山

各地は落付き模樣となつたが地場手持筋は月末關係も手傳つて嫌氣投げ續出し市場賈ら

の警に氣配は又々崩落し途に五十錢安となつた、併し買手は依然として警戒傍觀に只だ警のみに終り形勢益々惡化し慶北改良二十五個丁度神力二十四圓六十錢神力二十四圓二十錢見當を唱へ僅かに四百六十二叺の手合ひのみ

群山

各地は漸く利喰戻りに人氣既止め思ひとなり氣配手堅く而し買手依然警戒に買はず廻米皆無に新しき買物なく丸セ三等二十六圓二十錢四等二十五圓七十錢見當を唱へた

木浦

本朝は產地よりの出廻り八百叺もあつたが當用向きの買付けもの許りで買物とてはなく市中は依然商談薄く相場も前日に比し小安く角セ石枚三等二十六圓二十錢四等二十五圓五十錢見當であつた

大邱

各地の利喰戻しに人氣漸く一と息となり双方の成行き見控へ只だその日暮筋の小口買ひあるのみで氣配は前値同樣と辛くも支へ慶良二十五圓八十錢神力二十四圓二十錢見當を唱へた

大阪市中在米

二十七日現在は百四十九萬一千九百十五俵と前日在米高に比較して一萬一千二百七十俵の減少である

仁川期米本玉表

當限賣方　丸四、四〇〇
同　買方　丸ツ一、四〇〇丸大五〇〇丸マ一、二〇〇金メ二〇〇
中限賣方　丸イ一、一〇〇丸ツ八〇〇丸三〇〇金メ一〇〇
同　買方　丸富二〇〇丸大一、二〇〇丸マ八〇〇
先限賣方　丸一二、五〇〇金メ五〇〇
同　買方　九ッ二、六〇〇丸富二七〇〇丸ツ一、四〇〇丸大五、六〇〇丸玉一、二〇〇丸マ一、六〇〇

仁川穀物出入（廿七日）

	到着	輸移出	出品
同（俵）	一、五六六		
同（叺）	八七八		
同（叺）	一八		
玄米（叺）	五〇〇		
白米（叺）	ナシ		
大豆（叺）	一三五		
白米（叺）	二五六五		
同二斗入（袋）	三六六七		
玄米（叺）	二三七五		
大豆（叺）	七六八		

群山廻米報

	玄米	白米
鐵便	[illegible]	
汽船便	[illegible]	無
帆船便	[illegible]	無
合計	[illegible]	

木浦延べ（廿七日）

	前寄	前止	後寄	後止
八米	二三〇	―	―	―
九中	―	―	―	―
九米	―	―	―	―
十中	二三〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]

正米

京城

丸キ三等二十六圓四十錢內等二十五圓二十錢中二十九圓三十錢下二十四圓一等糯白二十三圓鮮白米上二十七圓六十錢糯上八錢中七錢八厘下七錢六厘

大豆

龍山十四圓八十錢長湍十四圓二十錢錦仟十四圓漣川十四圓二十錢鐵原十四圓

市內延べ

	前寄	前止	後寄	後止
◇釜山　八米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇大邱　八米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
◇群山　八米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九米	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

市況（廿七日）

大阪期米聯合　當限・中限・先限　[illegible]

◇大阪綿花　前場・後場　當限・先限　[illegible]

大阪市中外棉　ストリクト・ミドリング　[illegible]　ブローチ　[illegible]　ベレーゴル　[illegible]

◇大阪綿糸　前場・後場　寄付・同引・寄付・同引　[illegible]
◇橫濱生絲　前場・後場　當限・先限　[illegible]
◇現物最優等　[illegible]
◇鐵平銀　前日・本日　[illegible]
◇ナ印棉　[illegible]
大阪砂糖現物　[illegible]

丸キ中鮮米　[illegible]
白米仁川一等　[illegible]
市中米相場他　[illegible]
京城手形交換高（廿七日）　枚數　[illegible]　金額　[illegible]

滿洲經濟電報

	前寄	前引
安東株當限	―	八一〇
先限	―	八一〇
鐵平銀現物	八〇二	一〇、七六〇
滿洲株當限	―	―
先限	―	―
奉天票	―	―
現物	―	―
當限	―	―
先限	―	―
出來高	―	―

安東株出來高　[illegible]
安東豆粕り　[illegible]
安東大豆現物　一、九四〇　一七五三

大連特產相場

	前場	後場
大豆（建値錢）當限	七五二	七六一
現物	七五九	七五九
豆粕（建値圓）當限	七二八	七二九
先限	二四九五	二四八九
現物	二四八〇	二四九五
豆油（建位弗）當限	―	―
先限	―	―
現物	―	―
當限	五九〇〇	五八九九
先限	五八九〇	五八八五
現物	五九二〇	五九一五

金剛饅頭　本町　龜屋

染京　(ときは)京染店　電本726

風流奴茶屋 (194)

稻岡奴之助　荒川芳三郎畫

朧夜の曲者

眉目秀麗にして容姿の花の如く見たところでは風にも雨にも耐へがたい風ぜいの優若衆であるが、何んたる大膽不敵さぞ、廿何人とい鬼のやうな荒者共に取まかれて、悠々寬々、さながら花見の莚にて、悠々寬々、さながら花見の莚でかしてゐる風誠の顔を睨め突き合しかしてゐる風誠の顔を睨め突き合し山城屋荘に兇惡不逞の名をとゞろ振舞ひに、荒熊之助をはじめ浦田に笑ひさゞめくが如き田澤左門の振舞ひに、荒熊之助をはじめ浦田に笑ひさゞめくが如き田澤左門の瞻をつぶしてしばらくぼう然自失の態であつたが、やつとのことで荒熊之助は氣を取直したらしく

『いや中々に面白い、流行は職場生殘りの大剛と名乘る片岡丑兵衞はどの者が使者である、朋して宗全入道の家來とあるが一しは龜持し、その大膽不敵なお主の度胸さに免じ、如何にもお主の望みどほり、山與荒熊之助丑兵衞と相撲ふてやらう、が、俺が勝つたら丑兵衞は其場を去らせず俺の手下にするぞ、合點か』

と、能ふだけ己が貫目を見せて熊之助以前は武士ちや、二枚の舌は持たぬ

『さらば明日また逢ふぞ』

『今日の日も暮れるには間もあるまい、一里の山路、氣をつけてお行きやれ』

『陣ない、しかし、田澤左門の二本の脛は飾りでない、はゝはゝはは』

傍若無人に高笑ひをしながら、悠々として草鞋を立出でた田澤左門、呆れて見返る顏と手下の嚴共を見返りもせず、辛夢たる春の山路を元きた方へと歸り行くのであつた。

その夜も更けて子の刻（十二時）過ぎとも覺しい頃、何處から出てきたのか、覆面黑裝束の曲者が一人、丑兵衞が住居の裏口から、無の垣根を押破つてそうと忍び込んだ。

十七日の月はあつても雨氣を帶た空は曇で、僅千金の春の夜ながら、水のやうな冷たい夜風が曲者の覆面を撫でゝいつた。

曲者は四方に心を配りながら、忍び足に音立てゞと、水を泳ぐやうなかたちをして雨戸の側へと近寄つた。

家の中では、丑兵衞をはじめ一同早や寢鎮まつてゐるらしく、雨戸に耳をあてゝ熟手と聽き澄ましても、寂として何の物音もしなかつた。

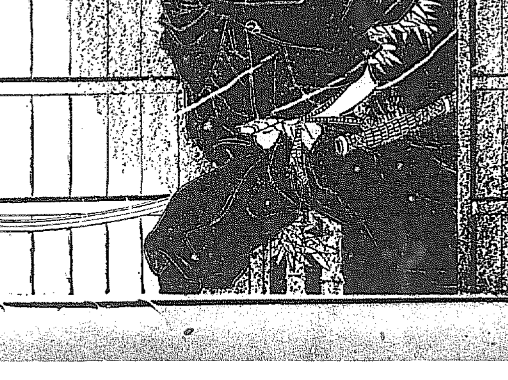
ほー、ほー、ほー、背後の藪で梟が鳴いた。

スルリと腰の一刀を拔いて、曲者は雨戸の隙にそつと差込んで、一こぢ二こぢ、なんなく一枚の戸をこじ開け、煙か何かのやうにスーと家の中へ吸ひ込まれていつた。

ほー、ほー、ほー、ほー、梟が又鳴いた。

奧の間には主人の丑兵衞と客の左門が枕をならべて眠つてゐた、板戸一枚を隔てた納戸の間には、お百とならんで左門の乳母が和子を抱いて寢てゐた。

一枚明け開けた雨戸のところから差込む朧夜の明りに透かして、曲者は一刀の目釘をしめしながら、丑兵衞と左門の枕頭へとヂリ〳〵と狙び寄つた。



『衆におよばぬ、丑兵衞が其手の手下數名殺してのけたと、是非が計略の矢面に立ちかねて逃げ出したと双方五分と五分の勝負であるな。

最早其處には何の遠慮もない筈、なれども、此の後の見知り合ひに丑兵衞と是非が相撲をとつて、是非が勝てば丑兵衞が手下になる、是非が負けたなら丑兵衞の家來分になつて潔ぎよく降參せい』

殊更に小僞を譏ずやりに云つた。左門は片頰に笑の小渦うつくしく、

言葉は優し氣だが、ピシ〳〵急所を突いて鋭く念を押した。

『むゝ合點ぢや、して其日取りは何時ぢや、場所は?』

『是非の望みにまかさう』

『よし、さらば明らせい、明日の今頃、二人で此處まで出てこい、勝負は何方にきまらうとも、近づきの酒飲まふで……』

左門はすつくと立上つて靜かに澄りを見廻した

『話がきまつたら猶り歸る、荒熊きつと約束したぞ』

『おう、山與夜逃はしても山與』

京城日報
朝刊
本紙朝夕刊二十二頁

不景氣と生命保險

□歐州大戰當時の好景氣時代に生命保險の新契約は年額五億圓内外であつた。

□然るに、昨今の不景氣に年額十四億餘圓の新契約が出來る。何故だ？

□不況時代には、人心が緊張して眞面目に自己と家庭を省るからである。

□日本人は五分間十二人の割合で死んで行く、勿論老幼のみでない、壯年者亦災厄を免がれてゐない。

□生命保險は、人生の厳肅な準備だ。家庭を護る楯だ。心ある人は、之を忘れてならない。

□當社は前期一年間に二億二千萬圓の申込を得て一億五千萬圓を契約した。當期は十ケ月間て、已に二億八百萬圓の申込を受け一億三千萬圓を契約し、業績一般に頗る順潮である。

東京市京橋區南傳馬町第一相互館

第一生命保險相互會社

電話京橋 自二一八一番 至二一八七番 二五五六番

保險案内贈呈

堂々との創作欄の顔振を見よ！

木の子説法（小説）…泉鏡花
老苦（小説）…徳田秋聲
夏草（小説）…里見弴
頑固な男（戲曲）…武者小路實篤
夜長（戲曲）…久保田萬太郎
道連れ（小説）…正宗白鳥
土用波（小説）…久米正雄

文壇是々非々
文壇散策…川端康成　お辭儀と批評…池谷信三郎　天使の羽根…中河與一　錯誤の文學時代…堀木克三　私の意見…石濱金作　嘲熱罵……　作家よ團結せよ…南部修太郎
文藝時評…小林秀雄

死に面した體驗座談會
新撰組生存者…八木爲三郎　元赤坂芸者…千葉平…　愛國丸遭難者…中里…　橘大隊長…内田…　土木軍曹…井林…　八丸遭難者…藤原…　宮坂丸遭難者…井川…　阪神…佐々木…

文藝春秋 九月特別創作號

最近諸相鳥瞰圖
政界を語る…馬場恒吾
財界を語る…高橋龜吉
文壇を語る…近松秋江
社會を語る…關口泰

便所大觀…三木二
食味の秋…本山荻舟
科學欄 地震爭議…野分の話

不景氣打開策座談會
不景氣は日を逐ふて益々深刻の度を増しつゝある。その窮極はどうなつて行くか。この儘に進めば日本の前途は誠に憂慮すべきものだ。眞に憂心に堪えない。國民は寸刻も躊躇すべきでない。國民は等しく其の打開の方法を聽くべきだ
鈴木文治　太田正孝　山崎靖純　菊池寛
山本条太郎

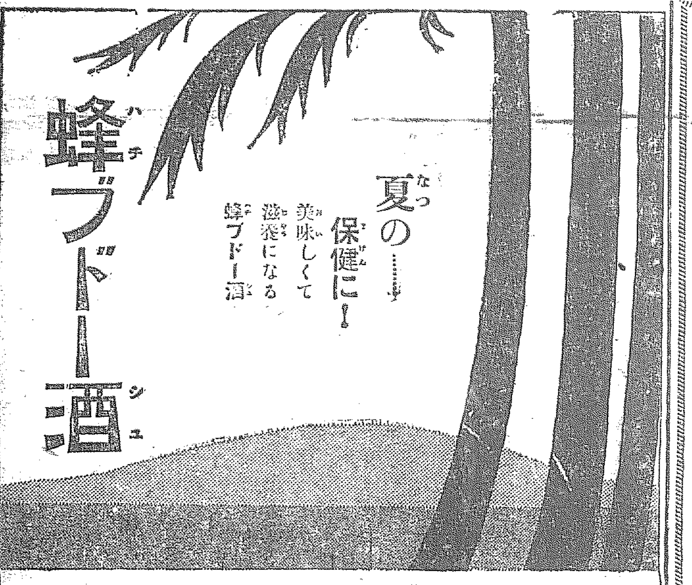
二月革命見物記…正親町季董
父たることとの疑問…岸孝義
秋とエロチシズムと神經…杉田直樹
國防眞に欽陷ありや…伊藤正德

實話
マホメット公文
變質者の兄の手記
二人の模範囚

隨筆六號
柳暗花明…石井柏亭
高柳又四郎（小説）…

地方欄 濱松、函館、鹿兒島、京城 九月の旅
全國急行列車時刻表

特價 四十五錢
文藝春秋社 東京市麴町區内幸町大阪ビル 振替東京一七〇六〇三

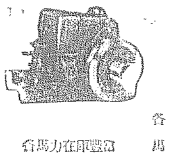


5—46

▷値下斷行◁

農林省御推奬
農工業用石油發動機

"Z"



横型 二・三・六・十・十五・二〇 各馬力
新型 一半・三・五・七半 各馬力

總代理店
株式會社 セール商會
京城府竹添町一ノ七五
本店 津 出張所 釜山

各主要地に特約店あり

今東光著

奥州流血錄

書下し堂々八百枚の手の切れる樣なプロレタリヤ大衆小説

奥州南部藩の秕政は、遂に其極に達した。天災と重賦に苦しむ農民は將に反抗の氣力さへ失はんとし往還に其屍を曝す。又慘！而も當路者の暴政は徒に安逸を貪りて農民の血聲に耳を藉すの暇なく南部全藩に暗雲低迷し爆發の氣運は刻々に胚胎した。將せずして到る！！純眞赤裸の一農奴鶴平は衆望を負つて遂に立つた。蹶然と奥羽の空に輝いた。忍從と死線の生活、ダラ幹の裏切り、竹槍は燦然と歡慾、今東光氏必死の堂々八百枚に亘る書下し農民大衆小説、亦重大なる農村疲弊して問題漸く大ならんとする今日本書の出版は其意義め、農村青年は勿論、當路者も都會人も、而して血を以て染まれる先人の轍を靜かに凝視せよ！！

裝幀 三岸好太郎
四六判函入 本文五五〇頁
定價金一圓八十錢 送料〇、一二

佐々木味津三著

風雲天滿草紙

佐々木氏超特作。キング百萬の讀者を唸らしたるも宜なる哉
發賣旬日にして廿版！！
四六判五〇四頁 定價一、六〇 送料〇、一二錢

東大助教授 文學博士 青木誠四郎著（最新刊）

子供の生活の見方

定價金二圓 送料〇、一二錢

内容
子供の生活を知ることの意味—子供の生活についての問題
子供の生活の見方一般—子供の自然生活—子供の習癖と學業成績—子供の習慣—子供の道徳生活—子供の藝術心
子供の生活の導き方—附錄

文學博士 小西重直著
母のための教育講話
定價一、五〇 送料〇、一二

文學博士 松本亦太郎著
兩親のための一般心理學
定價二、〇〇 送〇、一二

先進社
東京本郷駒込上富士前町 振替東京六五三八〇 電話小石川二〇九四

精巧無比
專門製作
賞牌 メダル 徽章 組合旗
大久保眞敏商店
京城府黃金町二丁目 電話本局二一四〇

醫學博士 二宮亮吉
産科 婦人科
二宮病院
京城壽町四一 電本二一〇

安田銀行
京城支店

資本金 五百萬圓
一、當會社は確實を本旨とし御便利に業務御取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
電話又は御一報次第社員參上可仕候

日本共立火災保險株式會社
本社 東京市京橋區銀座西六丁目 取締役會長 原錦吾
京城出張所 京城府本町三丁目二九番地 出張所長 三鍋才次郎 電話本局一五六六番

鮮内代理店所在地
京城、仁川、水原、鳥致院、清州、公州、大田、江景、群山、裡里、光州、木浦、麗水、大邱、金泉、浦項、晋州、馬山、釜山、統營、元山、咸興、新浦、平壤、鎭南浦、新義州、海州、沙里院、會寧、雄基

總督認可
京城第一自動車學校
生徒募集 入學隨意
京城自動車講習所 開設
創立十週年の貢獻に依り昇格記念
校舍新築 内容充實 理想的設備 新シボレー・新フォード・ハップ・オーバランド其他敎車
斯界に於ける實習場に於ける敎授振りを見よ！ 二錢切手封入申込規則進呈
京城府黃金町六丁目（訓練院前）

此の不景氣に何故賣切れるか

廣告界

商店界 九月号 五十錢

無類の新商賣創案
名案珍案の大公開
□現在までに例のない種類のもので、こんなものがあつたらよいと、考へられる商品□賣は果たして何んでせう？全國各方面の□□名士、實務家、學者の寄せられた名案珍案□□
貴下の御好きな商店は？
それは一体何處の何んといふ店でせう？又どういふ點が？商店界が全國知名の士、男女名優、文士諸氏に問ひ合せて得た興味と實益の好資料。

小商人の窮迫と原因 その根本原因を說く—田中齊
資本主義組織究極の結果！筆者近來の大文字

中小小賣商店の敵
百貨店怖るゝに足らず 矢部數雄
商業王國にも斯くの如き欠陷あり！！

百貨店向ふ三軒兩隣
百貨店を追ひかける店、百貨店にない物を賣る店、百貨店の特徴の間隙を狙ふ店、一般小賣商の行くべき道は……

座談會
商賣繁昌の秘訣……野元伊太郎
開店以來三十年にして初めて得た繁昌法は何であつたか

エロの尖端 水商賣商略集
裸商賣顧客誘引策……大須賀輝治
旅館客引商略……田村大輔
料理屋待合新商略……野村博

商店實用講座
實用的電報通信法……中山久美
販賣術の根本原理……鈴木隆輔
顧客應待の心得……川村得三
商店稅法講座……辻眞
商業團体の組織法……内海源男
廣告の理論と品位……堀梅天
現代的經營と仕入術……清水正己
店員教育と訓練の實際……大塚政農

◎百貨店出張販賣漫談
△野菜王フランクエス・イダカ傳
余が赤裸々なる失敗の告白
◎映畫宣傳打開話
△直接郵便廣告を語る
◎北部日本印象記（講演會）
△店員獨立資金調査開始

九月號出來 定價八十五錢
チラシ、廣告、陳列窓背景圖案、實用案内狀各種看板、ショーカード、包裝紙、マッチ・ペーパー等スグ間に合ふ意匠圖案お手本集と、内外廣告界の紹介、新研究等例より滿載、目下廣告美術研究生募集中

東京神田錦町一 振替東京六五七
商店界社
誠文堂

●加藤咄堂著●最新刊

女性を中心として

價一圓五十錢 送料十錢

我國特有の女性美を擁し、あながち歐米思想に盲從する必要はない。著者深く女子の長短を摑み、モダンガール、モダンマダムを對照として婦人問題の中核に向つて辛辣に大膽に批判し或は隱れたる眞價を以て指導せらる。一世の婦女子は勿論、教育家、宗教家、一般家庭の必備參考書なり。

加藤咄堂著
現代青年と佛教
價一圓三十錢 送料十錢

發行元
山喜房
東京本郷・帝大前 振替東京二〇九 電話小石川四九〇〇番

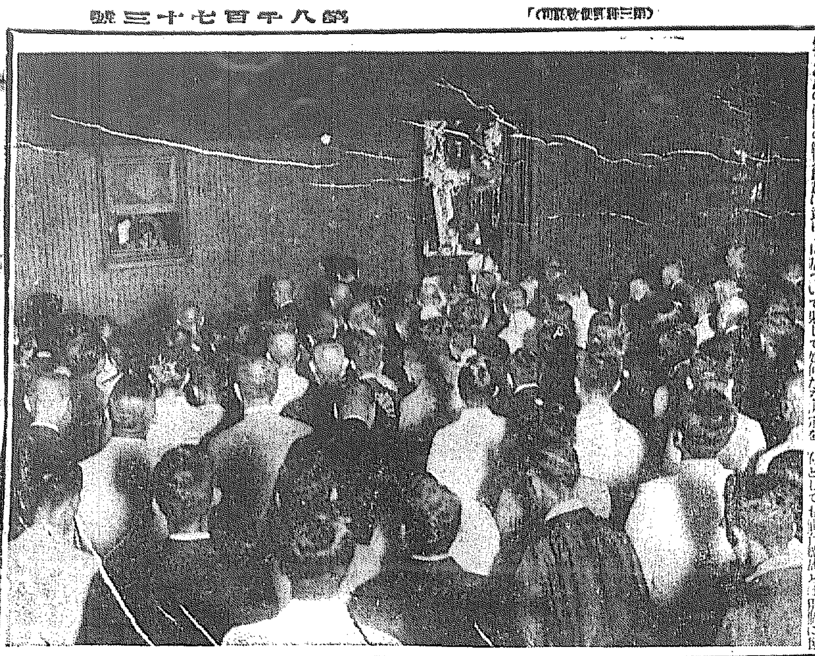
けふの樞府質問戰
愈よ本質論に入る
財部海相を矢表に立て
久保田讓男先陣を承る

【東京電話】ロンドン條約案の樞府第四回委員會はいよ〳〵本二十八日午後一時から樞密院事務所に開會、濱口首相、幣原外相、財部海相に對する質疑を續行することゝなつたが前回委員會において諮詢當時の事實糾明を終つてゐるので、本日は當然問題の回訓案決定當時の事實を追窮する順序で、質疑第二段に入るは樞府でも有數の論客久保田讓男と見られ、統帥權問題にも論及さるゝこととならうが條約回訓案決定に際し軍令部長の帷幄上奏を阻止したる疑惑もあり、政府軍部間に對立を生じ遂に軍部首腦部の更迭を見るに至りたる事實に對しては樞府側の最も強硬なる意見の存するところであるから、質疑一度び統帥權問題に觸れれば論鋒急なるものもあるべく、更に條約第十一條及第十二條の關係にも論及し得る時間があれば金子堅太郎子も前回に引續き首相に對し統帥權に對する見解の闡明を求むべく、海相と軍令部長の證言につきても追窮を試みるものと見られてゐる

政府は依然樂觀
◇…特に對策協議の要なし…と
ゆとりを見せて落付く

【東京電話】政府はロンドン條約の審議に對する樞府對策につき今後も既定方針で進む意向であるが二十六日の開會より見れば二十八日の第四回委員會に臨むに當つても特に對策を協議する必要なしとゆとりを見せて居るが、二十八日の形勢如何では散會後又は二十九日濱口首相以下江木鐵相、鈴木翰長の重要協議をなす筈であるが二十七日夜までの形勢では其必要あるまいと依然政府は樂觀している

五博士の調査一段落
滿鐵とは關係なく
內務省も多獅島調査
新義州設置益々好轉



仙石滿鐵總裁の希望によつて多獅島を視察調査した丹羽、原田、直木、安藝、井上の五博士は調査を終了して歸京の途に上つてゐるが五博士は歸京後それ〴〵の調査材料を纏めた上で仙石總裁に報告することになつてゐる、昭和製鋼所の問題は過般中央において政府と仙石總裁の意見の結果總裁は遂に自說を保留して調査やり直しといふことになり、新義州設置決定前提として多獅島の調査を初めるように、總裁から前記五博士に調査を依賴したものであるから、五博士の多獅島調査は總裁の最後案決定の上に有力なる材料となるは勿論である、仙石總裁がこの報告に基づいて果して如何なる決定を與へるかは俄かに豫斷を許さぬが製鋼所の設置場所として新義州を可とするとは議論すみで政府側でも最早異論はなく、仙石總裁もかならず新義州に決定すべきものと豫想してゐるが、問題は多獅島の築港としての可否如何によつて決定せられるといはれるだけに、政府としても仙石總裁とは別個に豫め多獅島の調査を試みる必要を認めて近く內務省の中川土木技監及中山工學博士を派遣して同島の築港計畫に伴ふ豫算見積りを主眼とする調査を命ずることになつた模樣である。また更に土木界の元老たる廣井勇博士古市公威男もその資格は詳でないが近く多獅島の視察に乘り出すといはれてゐるし、三氏は多分五博士歸京後一應その調査の結果を聽いた上で同道來鮮の段取りになるだらうと噂されてゐるから、問題の多獅島もいよいよ重要視せられるとになつたと同時に、昭和製鋼所敷地候補地としての新義州はますます多獅島一つにその運命を託したかたちとなつた

阿部陸相代理 兩三日靜養
紅彩炎を起し

【東京電話】阿部陸相代理は二十六日右の眼に炎症を起し、氣分が勝れぬので閣議列席後官邸に引籠り二十七日軍醫學校にて診察を受けた結果、紅彩炎にて頭腦と視力の使用を嚴禁されたので、兩三日は陸軍省登廳を見合せて靜養すると

內務部長異動
廿七日決定發表

【東京電話】地方內務部長の異動二十七日左の如く決定された

任埼玉縣內務部長
秋田縣內務部長 伊賀良一
神奈川縣警察部長 橫山正
任千葉縣內務部長
新潟縣警察部長 中村安次郎
任秋田縣內務部長
京都府學務部長 田中英
任福井縣內務部長
福井縣內務部長 中谷秀
任石川縣內務部長
樺太廳內務部長 小西喜次郎
任富山縣內務部長
佐賀縣內務部長 田口易之
任高知縣內務部長
宮城縣警察部長 萬宮次郎
任佐賀縣內務部長
岐阜縣警察部長 岡田爵久治
任宮崎縣內務部長
埼玉縣內務部長 長井萬太夫
石川縣內務部長 小島庄吉
高知縣內務部長 東忠誠
宮崎縣內務部長 內山田三郎
鹿兒島縣內務部長 楠木靜雄
文官分限令第十一條第一項第四號により休職を命ず(各通)

震災記念堂へ
御下賜の銀瓶
謹製終了して
公園課長拜受

【東京電話】二月二十四日復興帝都御巡幸に際し 天皇陛下には畏くも本所被服廠跡の震災記念堂へ御立寄り遊ばされ、六萬の精靈を慰められ特に銀花瓶一對を御下賜あらせられ、此程謹製を終つたので二十七日午前十時井下公園課長は宮內省に出頭し、一木宮相を經て拜受した

思ひ切つた
今次の異動
一脈の淸風を
官界に吹込む

【東京電話】地方長官の異動に、期待されたほどの新味がなかつたので部長級異動にどれだけの英斷を見せるか興味を持たれたが、內務部長級の定休職、學務部長の休職十一名、これに伴ふ異動五十名とは相當思ひ切つた異動である。內務、學務部長級に昇進の途もなく動きのとれぬ連中を總ざらへにふるひ落してこれに代へて兎も角新進の事務官警視十五名を拔擢したのは目醒しい、まづ內閣異動の際を除いて未曾有の大異動といふべく、俄かに颱風一過、地方官界に一脈の淸風を吹きこんだ感がある。大浜福岡警察の大阪行は手腕より當を得た拔擢で柴田大阪知事の懇望によるもの、大場東京內務の福岡行き政黨的に相當複雜した事情があるらしい。警察部長に犧牲者のなかつたのは內閣成立當時殆んど全部更迭し、其後の成績がよかつたので今度は多分に論功行賞の意味が含まれてゐる犧牲者中では長井埼玉內務など必ずしも老朽といふべきでないのに不運と睨まれたために惜しくも不遇の籤を引き當てた

加藤鮮銀總裁
濱口首相を訪問
浦鹽鮮銀問題で
善後措置を協議

【東京電話】加藤鮮銀總裁は二十七日午前十一時半首相官邸に濱口首相を訪問し、過般浦鹽鮮銀支店に對して行つたソヴエート官憲の搜査事件の經過に關し右搜査の根底は我北洋漁業を妨害する目的を以て法律違反に名を藉り、嚴重なる搜査をなすに至つたもので、これによつて北洋漁業に對する金融を妨害せんとするもので極めて亂暴なる手段であつた旨を報告し、これが善後策に關し政府としても外務當局を督勵し、本事件の解決並に今後かゝる事態を惹き起さざる樣ソヴエート當局との交渉を急ぐ樣との希望を述べその他本事件に關し種々意見を述べて零時半辭去した

鮮銀はどうなるか
一向判つて居ぬ
北洋漁業問題も難物
然し何とかしなければ…
田中大使門司で語る

【下關電話】賜暇歸國の田中駐露大使は廿七日朝ハルビン丸で門司入港直に神戶に向つたが、記者に語る

浦鹽の鮮銀問題は自分の出發當時まだ何も判つてゐなかつた、同行が引揚げるかどうかも知らぬ、殊近北洋漁業問題など一漁業問題が喧傳されてゐるがこれはなか〳〵困難な問題だ、しかし條約外の問題としては何とか解決策を講じねばならぬと思つてゐる。露支問題は大したことではない、經濟政策としての五年計畫は目下大體順調であるが住宅地は決してよくない

一ケ年平均
五千臺の自動車
商工省で五ケ年計畫
〔定例政務官會議〕

【東京電話】二十七日の定例政務官會議は午後一時首相官邸に開催、横山商工政務次官より今後五ケ年に約五百萬圓の補助を與ふべく目下大藏省と交渉中で、この計畫に依れば五年後にはバス、トラック一ケ年五千臺を製造出來る旨を述べ、次で横山次官、山田農林參與官より過般計畫せる低利資金融通について早わかり用のパンフレットを各方面に配布するよう目下準備中であると報告し、重要政務につき意見を交換し午後三時散會した

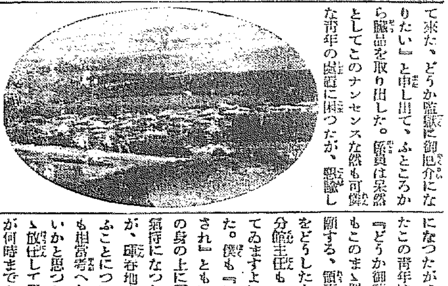
半島産業界の恩人!
故富田氏の遺骸鎭南浦に向ふ

京城財界の元老にして幾多公共事業に盡瘁し高潔なる人格と、至高なる識見を謳はれた京城府內南大門通三富田商會主富田儀作翁、卒然と逝去し、知るも知らぬも翁の逝去はいたく惜まれ、衷心から哀悼せぬものはないが、翁が半生を託せる鎭南浦に、遺骸はかなしみの色深く、廿七日午後十一時京城驛發列車で、しづかに向つた——翁が忘れ得ぬ朝鮮、半生の事業地なりし鎭南浦、人事をつくして故山にかへる翁の遺骸を、悲みの夜京城驛頭におくるものは、兒玉政務總監をはじめ內鮮官民二百名を超へ、遺骸をまもりゆく令息猶一氏夫妻、娘婿の舩樹學校長など近親知己の數しい姿は特に人目を惹いた。本葬は來る三十日午後五時翁に記念多き鎭南浦の地において執り行はれる筈(寫眞は京城驛を出發する故富田氏の遺骸と見送りの人々)

間島に聽く
間島は語る(十三)
—間島瞥見雜記—
松本生

琿春方面の貿易額は輸出入年額二百五十萬圓、この出入の物資は殆んど朝支人の足で掴かれてゐるといつていゝ

さて間島の天國琿春地方(通稱では延吉、和龍、汪清三縣を間島といひ、琿春縣を琿春地方と呼ぶことになつてゐるが)はかくのごとく平和である、然らば住民皆裕福かといふに必ずしもそうでもない概して土着民は裕福のやうだ、これは間違へたやうなわけで耕作に專念し得るからであらうが、平和なるが故に間島方面(龍井村地方)からこの地を慕つて來る朝鮮人がなかなか多い、また朝鮮人はこれといふまではなかなか住居が定まらない、西から東、東から西と彷徨ひ步いて然る後に一定の場所に落つくといふわけで琿春地方には御多分に洩れずこの種の流浪者が多い、それから露領から放逐されて流れ込んだ朝鮮人である、こういふ種類の朝鮮人が衣食の資に缺けてゐるといふまでもない。だから一般は裕福でも、なかに裕福ならざる朝鮮人があるといふわけでこれには天國も相當弱つてゐるらしい。つい先達も一人の若い朝鮮人が總領事館を訪れて來た、彼は一通の歎願書を持つてゐる、總領事館ではそれを一讀して苦笑した、といふのはそれには『間島地方から流れて來たが食ふ道がないから、どうか暫く監獄に入れて貰ひたい』といふ意味が認めてあつたのだ。領事分館では『監獄は惡いことをするものを入れるところで惡いことをせぬものを無暗に入れるわけにはゆかぬ』と諭して引取らした。ところが、二三日經つてその青年がまた驅け込んで來て『先日惡いことをせぬものを監獄に入れるわけにはゆかぬといふことだつたから、實は今一寸泥棒をして來た、どうか監獄に御厄介になりたい』と申し出て、ふところから贓品を取り出した。係員は呆然としてこのナンセンスな然も可憐な青年の處置に困つたが、說諭して放還しやうとした、しかし青年は入監を哀訴歎願して聽かないので、領事分館でも致方なくとりあえず留置場に入れて一考することになつたが、こゝで飯にありついたこの青年は警官をつかまえては『どうか御慈悲で三年でも四年でもこのまゝ置いて頂きたい』と懇願する、領事館では其青年の始末をどうしたものか思案投首、留月分館主任も『どうしたものか弱つてゐますよ』と大分弱つた顏をした。僕も『三年置いておやりなされ』ともいひかねて、その青年の身の上に同情しながら暗然たる氣持になつたが、この種の朝鮮人が、琿春地方にさまよひ步くといふことについては、當局者として相當考へねばならぬ問題ではないかと思つた、何故ならばこのまゝ放任して置いては天國琿春地方が何時までも天國ではなくなるおそれがある、無論食へぬものは今も相當あらう、しかし間島琿春地方ばかりではない、朝鮮でも內地でも、恐らく世界中にも尠くない、しかし間島琿春地方ではこの種の失業者はなるべくすくなくする必要がある、またこの地方で失業などといふことが第一不合理だ、これは救濟の必要がある、しかもこの救濟たるやそう六ケ敷いとでも金のかゝるとでもない。第一かういふ朝鮮人の放浪性を矯正して早く一定の場所に落ちつかすこと、第二何でもよいから畑を耕さすこと、未墾地はいくらでも彼等を待つてゐる、第三琿春地方特有の純樸なる氣風にそますことだ。つまり金の救濟よりも指導であると僕は思ふ



僕はかく琿春に一瞥を與れて圖們に引返したが、途中朝鮮人、支那人が畑の中に鍬を休めて談笑してゐるのをそこゝゝで見受けて、頗る愉快しく力強く爽かな氣持になつた、『仲よく暮しなさい』と僕は獨語しつゝ河を渡つた。(寫眞は圖們附近の朝鮮人村落)

川崎汽船が
麗水下關間連絡
南朝鮮鐵道と協定
關釜連絡に影響か

【神戶電話】川崎汽船會社では今回南朝鮮鐵道との連絡運輸協定成り、十一月廿五日より朝鮮麗水下關間定期航路を開始し昌慶丸(二千六百噸)慶運丸(二千六百噸)二隻が就航し、旅客貨物運賃を引下げる由で、鐵道省の關釜連絡に相當影響があらうと見らる

ハルピン飛行場着陸

【ハルピン二十七日發】蒲團山附近に不時着陸した報知機はベンジンの補給を終へ十八時四十分(日本時間午後六時四十分)離陸ハルピンに向ひ同十八時五十五分(六時五十五分)ハルピン上空に雄姿を現はし美事な旋回飛行の後十九時二十五分(日本時間午後七時二十五分)ハルピン飛行場に無事着陸した

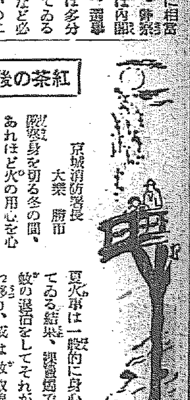
奉天京城を經由し
報知機大阪へ直行
廿九日正午迄に東京着の豫定

【ハルピン廿七日發電】ハルピン不時着陸の報知機は廿八日朝六時出發、奉天、京城を經由して大阪まで直行し、同地一泊の上廿九日正午迄には東京着の豫定である

外銀筋の現送で
正貨の流出增す
金解禁後既に二億四千萬圓

【東京電話】二十六日の和蘭商業銀行の正貨現送に依つて下半期の正貨流出高は千九百九十萬圓に達し金解禁後の流出額累計二億四千五百二十萬圓の巨額に上つた、八月に入つて斯の如く頻々として外銀の現送が續けらるゝのは一に內地の保險生命保險會社等の對外投資が正金を避けて外銀にあつまり、正金のレートが四十九弗八分の三と低きに失するため外銀が現送を選ぶによるものである、これに就て某有力家は內地財界の前途を悲觀しこのまゝに推移すれば金輸出の再禁止は免れぬものとの說をなし、今後も當然正貨現送の繼續するは免れまいと言つてゐる、しかして金解禁後今日迄の對外投資の額は一般には五千萬圓と稱されてゐるが、實際は、かくの如き少額でなく一億圓の巨額に上ると觀測してゐる

紅茶の後



京城消防署長 大葉勝市

嚴冬は身を切る冬の間、あれほど火の用心を心がけ火に怖れてゐた人も、夏となれば火事は縁遠いものと頭から安心してゐる、なるほど夏は冬に比べて火事の件數こそ少いが私たちは『夏火事』といつて今頃の火事を最も恐れてゐる。ことに今年は旱天で荒れるせいか例年に比し夏火事は倍數に近い數を示しますが私たちの神經をいらだゝせてゐる。

夏火事は一般的に身心が弛緩してゐる結果、裸蠟燭で南京虫や蚊の退治をしてそれが蚊帳に燃え移り、或は蚊取線香を放置して大事に至るとか、煙突の掃除を怠つて火を吹くとかの原因が大部分をしめてゐるが、夏は建物が乾燥しきつてゐるため燃え移る度合も多く、また油斷すると大火事になりやすい。この頃のやうに水道の使用量が多く夜間斷水のやむを得ざるに至つた際に高臺に出火ありとすれば、最早消防手といへども手がつけられぬことゝなり全くこの暑さにどうしたものかと頭痛鉢卷の週である。

故志村氏敍勳

【東京電話】故志村源太郎氏多年の功勞を思召され、廿七日左の如く敍勳の御沙汰あらせられた

從四位勳二等 志村源太郎
敍勳一等授瑞寶章

大連勝つ
3A-1 對松山商業戰

【釜山電話】大連商業對松山商業野戰は松山先攻にて四時開始三アルフア對一にて大連商業勝つ

……會……

兒玉總監新聞通信記者招待 兒玉政務總監は來る九月二日午後七時より國勢調査に關する打合せかた〴〵各新聞通信關係者を朝鮮ホテルへ招待、一夕の晩餐會を催す

……人……

◇西條寛雄氏(日本メソヂスト福岡教會牧師)廿日朝入城

航空往來(八月廿七日)上り ▲齋藤外男氏(大連より)▲最所顯文氏(同上)▲宮田禎一氏(平壤より)▲宮田猛三氏(同上)▲小貫勢滿藏氏(同上)▲影山一治氏(同上)

太平漫語

多獅島調査の五博士、調査を完了して仙石總裁への報告材料を鞄に詰め込んで京城に立寄つた、問題の鞄は京城に滯在してゐる▲鞄の中味については五博士口を揃へて打明けない、これは無理もない、聞く方が野暮である▲鞄の中味を聞きたがるものは自分の鞄の中に同じものが入れてあり、しかもそれがみなこちらの注文通りのものばかりであることを祈つてゐるやうだが、そううまくはゆかぬ▲五博士が同じ考へを持つて同じ頭で多獅島へ出かけたか、出かけて同じ頭で多獅島を調べたか。調べた結果が同じ結論を得たかどうか▲五人が五人何れも斯界の大家といへば、五人が五人各その見識もあらう、調査の結果かならずしも同じものを鞄に入れて歸つたとは思はれぬ▲五博士が調査の結果について一切沈默を守つてゐるのはこれを懸念するからで、學者の立場としてはかなり苦しからう▲大體五博士は學者として多獅島を調べに來たものには違ひないが、その調査は仙石總裁に賴まれたものであるから、調べた結果を總裁以外の誰かれに話せるわけのものではない、この點はこちらから五博士の立場に十分同情してあまり鞄に眼をつけぬとだ▲五博士にしても五人の大家に調べられた以上、一つの多獅島は五つの多獅島になつて調べられたと見るのが本當だ▲五つになつた多獅島が一つの多獅島に歸ればそれは偶然の一致である、二つ三つ四つ或は五つの多獅島に分かれてしまつても致方ない▲しかし五博士とも調査を賴まれた多獅島は兎も角調査の價値があると思つて依賴を承諾したので、値打がないものなら初めから賴まれて出かけるわけはないと度々いつてゐる、これだけは五博士の意見がいつも一致してゐるのだ▲この學者的な率直な言葉は、聞く方でもそのまゝ率直に聞いた方が却つて味がある、後は仙石總裁にまかせておくまでゝ—

◇經濟◇

商議主催
生產品展示會
出品規定決る

京城商業會議所主催京城生產品展示會は來る九月二十日より商工獎勵館において開催することになつてゐるが、會議所では既に事務分擔も決定し、着々その準備を進めてゐる、しかして出品は京城生產品のみに限られてゐるが、趣旨として出來るだけ廣範に亘る種類の商品の出品を希望してゐる、出品規定の概要左の如し

一、出品物 は京城府內及び接續面にて生產されたるものに限る
一、出品申込期日 九月十日まで
一、出品物搬入期日 九月十一日より同十五日まで
一、出品料金 無料
一、出品物 は嵩高ならざるものに限る
一、出品申込用紙 即賣希望の向は會議所宛申込むこと
一、出品物の選定 及び即賣品の選擇は適宜制限する事あるべし
一、出品物の搬入費及び損害は出品人の負擔とする

金肥使用で
粟作頗る好績

滿洲粟は毎年約三百萬石鮮內に輸入されてゐる、朝鮮農會ではこの滿洲粟の輸入防止を目的として、今年はじめて粟の增作を試みたが各道とも非常な意氣込みで道廳をはじめ道農會は目下熱心に粟作の指導をしてゐる、朝鮮農會船越理事は江原道、黃海道、平安南北道の四道にわたり粟作の視察を終へ二十六日歸城したが、氏は左の如く語つた

朝鮮農會が各道と協力の下に粟作を試みた結果、從來迄粟作には全然金肥を使用しなかつたものが、本年は段當り二十圓から三十圓見當の金肥を使用することになつた從つて收穫も、未曾有の豐作と期待されてゐるが段當り最高六石、最低四石の收穫は間違いない見込でこれを平均作七斗收穫に比すれば實に八十割の增收である

◇株式◇

大株短期引跡

大新	四十二圓丁(十錢高)
鐘新	五十四圓八(廿錢高)
日產	十五圓六(不變)
東新	八十七圓八(廿錢高)

東株短期後場引

	引	前値	安値
東新	七七	七九	七三

◇朝米◇

各地期米後場止

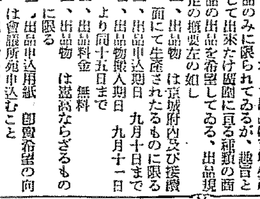
下關二四一七▲桑名十一番二四五一十二番二四五二▲名古屋二四六九▲金澤二三三〇▲熊本二二六四▲大阪最終氣配廿六錢(一錢高)

◇商況◇

ゴム保合 ゴムは二十七日ロンドン四ペンス四分三、ニューヨーク九セント八分五、シンガポール十九セント二分一の入報あり、海外はやゝ落着き、內鮮は神戶渡十八錢七厘五毛、京城渡十九錢二厘五毛と保合、當地はいよいよ需要期が迫つて來たのと値頃買で買氣は相當旺つた

綿布纖盛 二十七日の大阪三品綿糸は米綿九十錢高、印棉七十錢高の好材料を入れて、前場寄付は頗る氣配良好であつたが、前場引に至り、忽ち引緩んで當限百三十二圓二十錢と二圓八十錢方暴落した、併し當地綿布は昨今引續いて、市中及び地方の買氣があるのと、先高見越で安値買惜みのため、相場は穩越して、粗布三五ー百六十四圓と前回に比較して三圓を戾して居り、その他粗布類も一、二圓を戾してゐた

駿台高等豫備校
學費低減 午前・夜間 高等受驗科
新學期九月十二日 東京神田駿河臺



みどりカメラ
暗室不要
極めて取扱ひ簡單 學生諸君の光學研究資料として理想的な寫眞機
賣價 特價壹圓(附屬材料一式共)
郵金送料三十錢代金引換拾錢增 說明書入用の方は郵券二錢封入御申越下さい
朝鮮代理店 釜山府辨天町一丁目 山崎寫眞機店
電話一二七五番 振替釜山一九九八番
(取次店募集)

商標 (秀)
ちゝの大妙藥
家傳名方 乳の膏藥
▲乳の腫れ其他腫物の特効藥
●御申込の際は(振替又は爲替にて御送金次第送致します)
特約店御相談に應じます(定價 廿錢・卅錢・五十錢)
製造元 岡島豊安堂
電話六六番・振替京城一一八五三番

家庭の副業として 有望な養兎
養兎は廣大なる場所を要せず飼料に金がかゝらぬのと繁殖の強盛なる爲め他の養鷄や養豚に比べ極めて有利であります。然らば此有望事業が何故一般に普及せられなかつたかと申せば繁殖した兎の販路口がなかつた爲めであります、然し本會の會員となり兎を飼育すれば生產兎は本會にて永久に買收致しますから販路口の心配はなく本業又は副業として利益を得られる事になります、一般家庭の副業としては種兎十匹位は婦女子の手で充分であります。から一ケ年に三百圓位の利益は誰人でも得る事が出來ます、詳細はハガキで御請求になれば說明書を贈呈致します、尙本會は會員の生產兎買收や種兎分讓上の便利を計り各部に支部を各面に出張所を設置致しますから御希望の方は此際至急御申込になれば規定書を送附致します。
支部長 出張所長 大募集
合資會社 南鮮副業養兎獎勵會
京釜線大田榮町 電話五〇七番・振替京城一七六二〇番

時計・貴金屬 金銀銅錫器 寫眞機 活動寫眞機 及材料一式
京城本町一丁目
株式會社 大澤商會京城支店
振替京城二三一番

資本金參千萬圓
年賦又定期償還方法に依る勸業資金貸出の外普通銀行業務を取扱申候
京城府南大門通二丁目
株式會社 朝鮮殖產銀行
電話本局長四六〇〇 [illegible]
頭取 有賀光豊
支店及派出所
[illegible]

社說

時代心理の缺陷　傷害沙汰の激增

京城地方法院檢事局では、强竊盜殺人、喧嘩等の傷害沙汰が最近に至り著しく發生率を增加したので之が處理に忙殺されて居るといふ事である。經濟難にせよ、就職難にせよ、高等犯罪的に法の威力が行き渡るに從ひ減つて行くのが當り前であるのに事實は却つて逆に增加の傾向を示して居るのは憂ふべき現象といはねばならぬ。而して傷害事件が日々新聞の社會面を賑はしかして讀者もこれを珍とせず『アー又か』と輕く看過して深く介意せざるほど通常事化して仕舞つた觀がある。それほど傷害沙汰が頻發しつゝあるのである。多數の人々が平和に送る一日の間に、社會の一角においては、或はピストルが煙を吐き、或は白刃が血を吸つて、物凄き呻きが大地を搖はして起つてゐるかと思へば何人も慄然たらざるを得ないであらう。最近二箇月以來特に傷害事件が多くなつたやうであるが、これには種々の原因があるであらう、或は暑氣に惱まされて上氣し、些細の事にカツとなつて兇行を演じた一時的殺作もあるであらう、生活苦のために、理性感情共に混亂した結果から殺生したものもあらう、淫慾の極、男子を死出の道連れにした例にも氣の毒なる失業者もまた少からずあるのであるが、何れにせよ、不如意の境遇に對する抵抗力、不快の感情に對する自制力が缺乏したる結果たるにおいて變りはない、われ等はそこに頗る憂ふべき一因があると思ふ。

◇

傷害事件の增加は、獨り朝鮮に限つた譯でなく、內地も亦言ふまでもなく同樣である、時代心理が殺伐となれば、慘忍なる行爲が增加すれば增加するほど時代心理が殺伐となる、斯くして國民の道德性が低下し、理性の判斷力が微弱となれば、國家組織の上に恐るべき結果を招來せずには濟まぬ、われ等がヒステリックな時代心理に多大の憂慮を抱くはこの點にある、理性が鈍り、自制力を失つた國民が、國家を衰頽に導かなかつた例はない。

◇

不景氣といふものは嫌なものである、生活苦は四百四病以上に苦しいものに違ひない、その『嫌なもの』を一掃し苦痛を除去するに努力せざるべからざるは勿論であるが、その苦痛を忍び切れずして人心が調節を失ひ、時代心理が殺伐となるが如きことは、大國民を以て自任する國民の深く恥とすべきでなければならぬ、個人としても同樣である、あまりに感じ易く、激し易く、沈湎に溺り易き時代風潮を見てわれ等は甚だ遺憾に思ふ、感じ過ぎる、激し過ぎる、考へ過ぎる處に、時代病がありとも言へる。

◇

是れはナンセンス流行時代に余く相應しからぬ現象であるが、或は感じ易く、激し易きが故にナンセンスを見て之を補ふの必要があるかも知れぬ、無感覺なるは感心せぬが感じ過ぎるのも感心せぬ、考への足らぬのはよくないが考へ過ぎるのもよくない、何れも思想の不健全から發する病的現象に外ならない、時代心理が不健全なればこそ社會生活の上に何等かの障害を投ぜざるを得ない、犯罪の增加、特に傷害事件の增加を以て、直に時代心理の不健全を斷定するは早計かも知れないが、少くとも、われ等は、斯く警戒すると共に人心作興が必要だと思ふ。

外客誘致　學ぶべき佛國の誘致策

わが國の觀光局が外客誘致に腐心してゐる。專門家がやつてゐることだから、手ぬかりはあるまいが、日本へ來る觀光客を見るに、金持連が永く滯在しないことゝ、今一つはプロ階級が來ないこと――この二つがわれ〳〵の遺憾を惹く

永く逗留する客

フランスへ來るアメリカの金持連は自分の自動車までも持ち込んで來る。この一事をもつて見ても彼等が如何に腰を据ゑてフランスに永く滯留するかゞわかるから。案內通りの見物客ばかりでなく、海水浴場、溫泉地、山間避暑地などにも觀光外人のコロニーを作り、二、三ヶ月も滯在するやうに仕向けてはどうか。

フランスの溫泉で有名なものにリュシロン（Bagnère de Luchon）やヴヰシイ（Vichy）がある。ヴヰシイの水を飲んでゐると腹有病は癒らぬそうである。世界的に有名な水である。

本年六月のことである。フランスではアメリカとカナダの有名な醫者を八十名招待して、各地の溫泉めぐりをさせた。御醫者さん連中は此の旅行を大にエンジョイした。そして國へ歸つてから、金持の病人にはフランスの溫泉へ御出でなさいと勸める。

フランスでは斯うした風にして永く逗留する客を引かうと努めてゐる。

百ドルで十五日間

觀光客だとてブルジョアに限つたことはない。プロ觀光客でも多勢來れば數でこなすから、これも相當の金額になる。

ヨーロッパ諸國はプロの觀光團を勸誘することをも怠らない。フランスではQuinze Jours en France といふ標語をもつてアメリカのプロに呼びかけてゐる『フランスでの十五日』何だか面白そうなひゞきがある。これをアメリカで宣傳する場合にはFifteen days for $100 とやるのである。『百ドルで十五日間』――これにもアメリカ人を惹きつける力がある。

右はフランスのL'union nationale des Agences de Voyages といふ旅行案內組合の仕事である

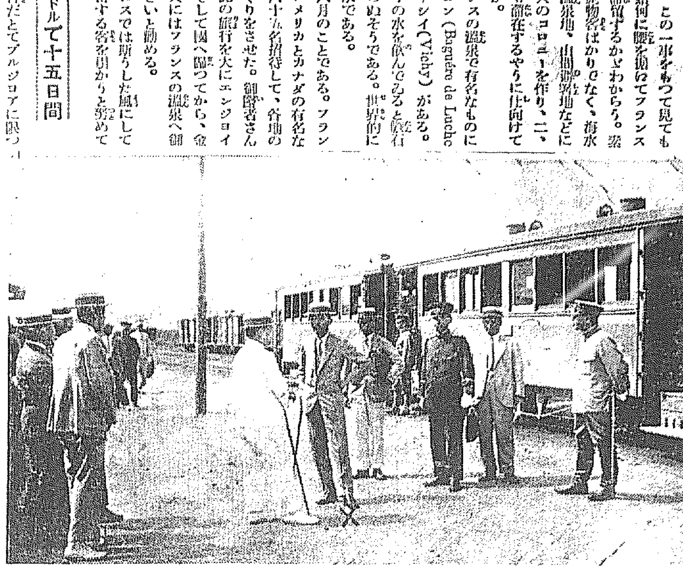
百ドルで十五日間――最初の六日間はパリ見物――オペラやレヴユウその他おのぼりさんの一巡するところを見せて廻つて、指定のレストランで食事をし、カフェーで腰を休め、食事代もチップも總て百ドルの會員券に含まれてゐるのである。

あとの九日は地方巡遊――汽車、自動車、船、バス、ホテル――何もかも百ドルで賄つてくれる。

手輕さと氣安さがヤンキーの御氣に入り、アメリカの中產階級がぞろ〳〵『フランスで十五日間』をエンジョイしにゆく。

國民相互の親愛

個人同志でも氣持のシツクリと合ふ者と、どうしても虫の好かぬものとがある。國民同志も同じことである。アメリカ人はフランスを好む――フランス人を好み、フランスの文化を愛する。日本人とても日本の文化に對しても、もつと理解と親みを持たせたい。外客誘致の目的が單に彼等の財布を狙ふだけであつてはわれ等の誇りを傷ける。（聯合通信）



折角借りても償還は至難　貸付方針の變更を町村長會から陳情

【東京電話】全國町村長會代表は二十六日來農村不況打開に關する決議文を齎して濱口首相以下町田、俵、安達各相を歷訪して七千萬圓の農漁山村失業救濟資金を負債整理の高利借替に流用方を要望したが、農林省の方針は農村治安維持のため失業救濟事業に資金の貸付を限定してゐるので、町村長會實行委員六十余名は二十六日午後赤坂三會堂に實行委員會を開き協議した結果、地方町村の現況では資金を借受けて開墾、耕地整理その他の事業をおこしても將來相當の收益を上げ貸金の償還を行ふことは不可能なることは明瞭で、政府が方針を變更せぬ以上一切借受けを爲さざることに意見一致し二十七日井上藏相と會見し貸付方針の立場を詳述、貸付方針の變更を要望すると共に町田農相に更に陳情することゝなつた

郵便切手類の賣捌高

本年度に入つてから內地においては三錢切手、封緘葉書等の賣行が著しく減少し之に反し一錢五厘切手は前年に比し相當の增加を示して居る

種別	賣捌枚數	增減割合
三錢切手	二一、二三五、一四〇枚	〇、四〇三增
封緘葉書	四〇一、六四〇	〇、一六六
一錢五厘切手	三〇、一四五、三三四	〇、五五四
一錢五厘葉書	九七、六九六、四三六	〇、一七〇

手輕に一錢五厘葉書等の賣行は激增の傾向に在るとのことであつてこれだけ財界不況の影響に因るものと見られて居るが朝鮮においては本年四月から三箇月間の賣捌高は左の通であつて封緘葉書の賣捌枚數において幾分の減少を見たのみで他は前年に比し相當の增加を示して居る

鄕土片々

◇嬰兒の悲劇　神戶市福原遊廓新大阪樓の二階で蹈夢を驚かす燐彈のひゞき――娼妓嬰菜（一八）と朝鮮人土工黃八允（二〇）とがダイナマイト心中を遂げ、肉片血に塗れて四散目もあてられぬ慘狀を呈した

◇爆彈ばやり　福島縣石城郡湯本町小野、三井炭坑を解雇されたを悲觀、カフヱーに雇はれてゐる女房さよとダイナマイトで無理心中を企てたが女房は助かり、男は爆死を遂ぐ。

◇惡易者退治　大阪府刑事課では深刻なる不景氣に乘じて世人を惑はす惡易者退治に着手。

◇ひる寢貨車　不況の反映こゝにも一つ――門鐵局管內における鐵道貨物出廻り不振のため、最近二千輛の貨車が遊休。

金剛山（77）　前田寬

探勝路詳細　其二　寒霞溪々谷（五）

見渡す日本海上、白帆が三浮かんで風浪高き日は沖による波白く線とつて見ゆ。見晴臺附からの眺めを双眼鏡によつて手近に見るやうな心地さへして、恐らくその絕景的點を得るであらうとは遣であるが、余の行においては眼下、眼前はては指々己を包む霧雲の、ゆきてはかへり、かへりては行くに任して、詳細の遠望を恣にすることの出來なかつたのは遺憾であつたが

又その反面には神秘な雲の上に身をおいて、我身を仙人化し得たる喜びを感じたのであつた。すでに奧萬物相を極めた。こゝから日本海の谷に向つて下れば、奇岩怪石と峽谷の美とを以て鳴る千佛洞溪谷へ出るのである。こゝは新、舊、奧の各萬物相のつゞきである、舊萬物相と呼ばれてゐる。

かへりにもと來た寒霞溪へひきかへさずに、同じ溫井里へ出るにしても一應この千佛洞溪谷をたどつて探勝しながら、長箭に出で、そこから自動車で溫井里へかへる事を余はすゝめしたいが、しかしそれは他人の勝手であつて、同じ溪谷の上り下りにも味のちがつた景を斜見し、ゆきに氣のつかなかつた景をかへりに發見する事もあるから、眼のある人はもと來た道を引きかへすもよからう。そして千佛洞溪谷は改めて登り直す事だ。更角東萬物相迄一日の最強行程を極めた譯であつてほう〳〵溫井里にひきかへして丁度一日の行程となるのである

中內四大溪谷の一たる寒霞溪谷の一特徵は、金剛山中の數十寺中の一つの寺院もその址も見受けぬ事である。恐らくは萬物相の靈感と關聯して理由があるかも知れぬと思ふ。殘念乍らこの點の說明がついてをらぬ。

宿を出て奧萬物迄の時間は四時間半を見ておけば十分であつて、歸りには、もと來た路の原始林や奇岩醍醐の味をかみしめながら途中萬物相に下りて、萬相巖に一泊すれば、あとはさしたる難路に非ず、しかも下り道であるから、約三時間も見ておけばよろしい。往復で七時間半位ならば大丈夫であらう。で朝八時に宿を出たとして午後の三時半か四時頃には歸り着く。しかし、一同が宿へ歸つて急ぎ乍らスタコラ〳〵寒霞溪の歸路を通る時、聞りきかせて置くことがある。

それは、萬物相とは如何にして名づけられたかといふ事と、金剛山の關係について一つの考察なのである。

金剛山中でも他に例のないところ卽ちこの區域に亘る山峰峽谷を一帶を總括的に稱して萬物相といふ様な事は絕對的であつてその景觀を讚へ、新、奧、舊と四つにもわけたといふ事は文字そのものが一寸稀奇であるばかりでなく、さすがの金剛山中でもこの萬物相に對照するやうな名のつけ方をせられたところが全くないのである。そして妙な事に一體萬物相といふのはどれかと問はれても、我等はどれが卽ち萬物相なのか解らぬのである。わからぬといふより指摘出來ないのだ。一例をとつて見るならば『新萬物相とは如何』と問はれた時、諸君は一言にして答へ得るや？寫眞を見てもこの峠なりこの岩なりとは斷然指されぬのだ。そして恐らく諸君は自分の立つてゐるところは天仙臺といふ峠であり、眼前眼下に見ゆる峰々岩々には、一々名前があるのであるから、一體どれが新萬物相なのか、とんとわからぬであらう。余は之て說明しやう。卽ち曰く萬物相といふのは、三仙巖、鬼面巖、七層岩、天仙臺、天女峰、玉女峰、羽衣岩、斷王峰、俤鳥峰及觀音連峰以西の邊壤等を總合する一體の風光に對してつけられた總括的の景觀名であると。で我々はどこがどれが萬物相かと指をさすことは出來ぬ。結局此處等一體の風景は凡て靈妙なものであつて、その臨場する總括的の風光をたとへ同じ場所や岩であつても三仙巖では味はふ時之を萬物相と言ひ、天仙臺の奇岩上で味はふ時之を、新萬物相といひ、奧至峰頭で味はふ時之を奧萬物相といふのだと解釋するのが正しいのである。

森岡局長の間島視察

【間島】間島の不安は河一重で忽ちに咸北へ影響する『君、見給へ彼の帶のやうな豆滿江ではあるが、餘のやうに凍てついた河面を白頭颪が遠慮なく吹き捲くつては國境警備も容易でないヨ』それに間島が線の如く離れたと假定したらどうかネ』と語尾に力を入れて語るのは咸北の警備司令下村警察部長だが、これ等の心配を一と纏めにせねばならぬ森岡警務局長としては今回の間島視察こそ眞劍なものであつたらう。だが然し、當の森岡局長は何事も語らず、默々として間島視察の旅を終つたらしかつた。名實共に第一線に立つ間島住民としてはこれがまた一入寂しかつたらしかつた。＝寫眞は天圖鐵道龍井村驛における森岡局長（×印）局長の前の白服が間島總領事、後の黑服が下村咸北警察部長、その右谷、左が田邊事務官、相場間島警察部長

倫敦條約と我が對策（三）

陸軍中將　井上一次

五、我が國の執るべき態度に關する研究

斯かる趨勢は世界における大勢が平和の促進と國民負擔の輕減に對し、一致しある自然の結果である。故に我國にありても、特に反對すべき特別の理由なき限り、會議本來の目的に鑑み、同一步調を採るを得るならば、今上陛下が御卽位式の際勅せられた『國交を親善にし、永く世界の平和を保ち、普く人類の福祉を益さむ』ことを翼ふとの大御心にも、副ひ奉る所以かと拜察する次第である。

然し國防は一日も緩ふすることは出來ない。故に本條約が批准せられても本條約に因る國防上の缺陷を補充するに躊躇すべきではない、法りながらその程度は、國家の財政に大なる影響をおよぼす問題であると考へなければならぬ。今回の條約により、補助艦の制限の爲め生ずる我が國の財政上の利益を見ると、建造費及維持費を合せ、年々約三千四百萬圓の節約である。今軍部當局者が、缺陷補充の方法として立案してゐる各種事項中、飛行機十七隊を以て潛水艦の減少を補はんとする案だけでも一年間の維持費に約三千四百萬圓を要する。これでは國民負擔減の本旨を達することが出來ぬ。現今我國の財政は窮迫を告げてゐる。この際成るべく國家財政に餘裕を與ふることが必要である。然し國際の現狀が財政の窮迫を問ふに遑なき程窮急であるか否やは、この際併せて研究すべき必要な問題である。故に缺陷補充の限度を定むるに先だち、列國殊に英米兩海軍國との國際關係を究めなければならぬ。

六、國際間に於ける重要問題の檢討

現今我國と列國との關係は、大體に平和的狀態にあつて、近く平和の間に見ゆざるを得ざる如き險惡な問題はない。今英米兩國との間において、利害の一致せざる比較的重大なる問題を檢討すると

一、英國に對しては、西太平洋における英領植民地が、我が移民を歡迎して居らぬこと

二、米國に對しては、千九百二十四年制定の米國移民法により、我が移民が排斥せられて居ること、及び支那に於て政治的にも經濟的にも衝突して居ることである

これ等の問題は、我が國民の生存および發展に大關係を有してゐるのみならず、面目上からいつても不愉快なことである。然かし戰を賭するに非ざれば絕對に解決し得ざるが如き、險惡なる問題であるとも考へることが出來ない。

七、英米兩國の我が國に對する疑懼

然るに、從來英米兩國との間には、著しき疑惧の念が存在してゐることは實に久しい期間である。日英同盟を結んでをつた時代でも濠州および新西蘭は我が國の侵略を懸念し、新嘉坡における海軍根據地の擴張を常に問題としてをつた。しかして千九百廿二年に、日英同盟が廢棄せられて以來、英國の海軍根據地は漸次擴張せられ、今日では我國がかへつて脅威を感じて居る位である。又米國は日露戰爭直後、大に布哇および太平洋沿岸の防備を急ぎ、巴奈馬運河の開鑿を遂ぐるや、殊に太平洋の擴城に力を注いだ。從來大西洋にあつた主力艦隊も、近年太平洋に移されるし、又日本を假想敵國として、布哇を根據地とする陸海軍の大作戰をも演練した。これ等は米國が我國に對し脅威を感じて來たからであるが、我國もこれらの行爲に對し疑惧の念に驅られてゐる。斯かる折柄、不戰條約を基礎として、海軍の制限を議せんとしても、互に信賴し得ないところがあつたのも無理からぬことである。

八、英米兩國の我が國に對し採りし態度

今回の會議において、英米兩國共、華府會議における主力艦と同一比率を以て、補助艦問題を解決し得るものと考へてをつたらしい。故に我が國が對米七割案を發表すると共に、米國の國防協會は反對の氣焰を揚げるし、太西洋にある英領植民地は新嘉坡海軍根據地の擴張を更に高調するし、共に疑惧の念を高めた。我が國が會議に臨むに先だち、最終案たる對米七割說を發表したことは、誤日といへば誤日といへるが、外交上からいへば賢明なる方法でなかつたことは申す迄もない。いよ〳〵會議に入つてから、果して米國は容易に我が要求を容れず、英國も日本の對米七割を以て、英國の所有量と同等となるものとして同意せなかつた。今回出來た條約は我が全權が幾多の苦心と努力とによつて獲たもので、最後のものであつたといふのは事實であらう。ゆゑに國防缺陷の補充問題は必要であるが、この際英米殊に米國との國際諸問題に具體的解決を與へ、兩國間の疑雲を一掃することもまた急務である

九、日米兩國間に於ける國際問題解決の可能性

今回の會議中、米國からは我國に『キヤッスル』大使を派遣して來たが、同大使が種々の機會において發表したところによると、米國は西半球において平和の維持をはかるべきと共に、我が國には東洋における一般平和の擁護者たらんことを求めてをつた。又移民問題も近年漸次緩和せられ、米國下院の移民委員長『ジョンソン』氏は、米國移民法の一部改正案を議會に提出し、我が移民にも一般比率を適用することに努力して居るし、米國の輿論も大體にこれに共鳴してゐる。これ等の意向は『ロンドン』會議中米國首席全權『スチムソン』氏が我が全權に洩したりと傳へられたものとも一致して居る。故に今後の折衝により、米國との利害關係多き移民および支那問題を、平和的手段により有利に解決し得べき望みありといはなければならぬ。寧ろ今が恰好な機會である。しかして米國との移民問題が解決し得たならば、英領殖民地との移民問題もまた解決し得るの機會に到達するであらうと考へられる。若しこれ等の諸問題を擧げて、順調に解決し得たならば日米兩國の關係は極めて明るくなり、思に軍備の縮小をも企圖することが出來得るに至るであらう

美味滋養の強壯飲料
◎ミツワ規那鐵葡萄酒
化學工業博覽會銀牌受領
國產振興東京博覽會優良國產賞牌領
定價一壜金貳圓（內地以外は送料運賃を加ふ）

ミツワ規那鐵葡萄酒は、小店經營朝鮮浦項ミツワ農場葡萄園產なる芳醇無比の天然產葡萄酒を基礎とし、これに強壯料規那及び鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、完全なる吸收性と同化性を併有し規那、鐵及び葡萄酒の滋養強壯力を遺憾無く發揮すると同時に、天然の佳香美味を具へ、何人の嗜好にも適應する。實に優秀無比の滋養的飲料なり。

強壯補血興奮作用卓絕
香味色佳良滋養力偉大
▼如斯人は榮養補給の目的を以て滋養料として◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ひらるべし▲
一、發育して居る人
一、榮養の不足なる人
一、顏色の冴の無い人
一、生來虛弱なる人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱い人
一、精力が減り元氣の無い人
一、腺病卽ち小兒病に罹つて居る人
一、肺結核や腹結核其他結核性の病にて體質の永く續いて居る人
一、手足が冷えて寢つかれぬやうな虛弱い人
一、瘦せ衰へて居る人
一、食餌の進まぬ人
一、產後や病後の衰弱を早く恢復したい人
一、勉強又は勞働して疲れた人
一、老衰して居る人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に襲はれて居る人
（現品縮寫圖）
賣捌　藥店・和洋酒食料品店・雜貨店　最寄に販賣店なくば直接御注文あれ（郵稅代用三圓以下差支なし）
◎ミツワ石鹼本舖（東京下谷區二長町營業所　振替貯金口座東京七一〇）丸見屋商店
代理店　大阪市東區高麗橋　松下商店　朝鮮釜山辨町一丁目二十七番地　福榮商會

大學堂は當國の眼鏡屋で御座います。府內各病院眼科醫はもとより各地方病院醫師指定眼鏡店で御座います唯一の信用ある專門店で御座います。商品は常に豐富に取揃へ價格の低廉と調製の迅速確實を主旨とし店員一同は每日數回手を洗淨しまして衞生に極く細心の注意を拂ひ居ります。御檢眼になりました、御方は處方箋は直接御持參下さいましたら御指圖に從ひ格好は勿論其他種々の點に十分注意を申し最後迄責任を以て眞の眼鏡を御調製致します（地方の御方は新刊カタログ御申込次第御送致します）要郵券二錢
京城帝國大學御用　指定御　京城醫專病院　赤十字病院　鐵道病院　江副眼科　金井眼科
京城府本町二丁目　大學堂眼鏡店　電話本局二三七〇番　振替京城二一二九番
本店　大阪市南區心齋橋南詰西

肺、肋膜には　心臟、肺炎には
「カワウソノキモ」獺肝
京城府太平通二　池田へ

米酢　菊菱
味も名も良い　菊菱は
釜山本町四丁目　林酢釀造場へ
御注文を御願します

シャリング工場
解船業
鋼板寸法切
新古鐵銅
ウエス麻袋類
肥料製油
原料各種
安價なる包裝を御利用下さい
急告　鑛石入麻袋　古セメント袋類加工改造
當所石治商店
支店元山府壽町一八

宮內省御用達
菊正宗
京城　前田商店
釜山　本嘉納釜山支店

無効返金薬
登録商標
りん病　こしけ　別府淋藥
別府溫泉で名高い岸里家の家傳秘藥
京城本町四丁目一〇〇　マルミヤ商會
電話本局八七四番　振替京城一二五六六番

冷壓純粹　唯一の高級食料油
醫學博士　小本　鼎氏推奬
◎冷壓純粹ミツワ白胡麻油（みつわ・ごまのあぶら）
天ぷら用　サラダ用　調味用

普通の胡麻油は
其搾出の際を多からしめんが爲に、胡麻を加熱して搾るから其色は赤黑く、第一其熱の爲に折角の成分が化學的に變されて、本來の風味を失つて居ります。加ふるに其色を美しからしめんが爲には、更に粘土を以て之に加工、脫色せしめますから、假令其色は淡くとも、本來の美味は既に失はれて居り、其上更に多くのものは少からざる混合物をするが故に、純粹品を得る事は甚だ難いので有ります。然るに

ミツワ白胡麻油に
限つては上等の白胡麻を些しも加熱せず強力な水壓機で搾つたもので、全く生の儘の純粹品ですから、色は透明、本來の風味上々、何とも云へぬ美味で消化吸收容易に滋養價は無比であります。而も他品に比較して廉價で有ります。卽ち天ぷらに用ひ又サラダ油に使ひます。之は獨り日本の白胡麻に惠まれた美味で、オレーフ油の比では有りません。近來西洋人が盛んに之を用ひるのは勿論サラダ用で有ります。

◎ミツワ白胡麻油は、日本の白胡麻にのみ惠まれたる本來の美味と風味を有する唯一の高級食料油です。サラダ油に用ひて遙かにオレーフ油の上に在ります。

食料品店、雜貨店、藥種店にあり　無き時は本舖へ御注文あれ
◎ミツワ石鹼本舖　丸見屋商店

謎の鴨緑江

昭和製鋼所を何んと解く？（七）

注目の的となつた……五博士の實地調査

綠川丸にて　平田生

朝飯後甲板に下ではしきりに乗船を促す汽笛が鳴る

時計を見るとまだ九時、僅か三時間半で離れるのに馬鹿に早いなと思つてふと氣がついたのは山崎さんが多獅島から滿鐵測量班乗船の給水のため安東まで相馬丸乘組を依頼されてゐるといつてゐた事だつた

『多獅島築港が出來たらこの邊に燈臺を建て』下り道の玉蜀黍畑を指して岩松さんは斯う締めてある美しいユートピアを語る

×　×

綠の海路を浮かせてゐる岩石から船に移つて懐かしい潮の香のただよふ甲から最後の挨拶に別れをつげて多獅島港に向ふ岩松さん達の振る帽子がいつまでも見ゆる、愛犬のポインターは浪の除ける小さい岩の上に共にいつまでも見送つてゐる

『もうこれからが多獅島大築港の圏内だ』綠濃の水、島荒涼いブイ白帆、汽船、陸、漁場と多獅島までは續の様な風光優雅な入江、右に白く見ゆる堤防は不二農場の防波堤で大多獅島の後に突き出てゐるのが約五十萬圓の工費で漸くこの程竣功した小多獅島の突堤、途中瞬がけの作業船は滿鐵浚渫船で多獅島の右舷のボーリング船、大多獅島の右方に盛に煙を吐いてゐるのが大連からはるばるこの測量班を乗せて來た官用船の相馬丸である

『今日はあつちの方をやつてゐますね』山崎さんはさういつて助手にハンドルを廻させると相馬丸は正面になつた

『おい彌だ彌だ』

『ベンダムを下せベンダムを』綠川丸は相馬丸の左舷の横腹にピッタリ寄り添つた

『相馬さんを訪問してみませう』近藤さんに促されて相馬丸のキャビンを訪れると青寫眞地圖を擴げてせつせと執務して居た主任技師の相馬さんと助手の杉山さんはその手を休めて

『やあ、いらつしやい』と快く迎へてくれた

『踏査の方は大分進みましたか』と訊ねると杉山さんは

『もう五分通り濟みました次は加次島から水運島の方が殘つてゐます』と地圖の上に視線を送りながら答へる

『この附近は岩盤までどの位ありますか』

『まあ普通の潮時で二十五六米ですね、どうもあのボーリングではそれより以上はかゝられないから』

『今度の計畫は大ぶ大規模な相で、大多獅島から加次島、水運島クルミ島を引いた線以内の水深調査ですね』

『築港するしないは別問題で私達の測量で直ちに決定するといふ譯ではありません、まあ參考のためにその邊一帶の測量をやるまでなんです』と今度は相馬さんがひきとつて話される

『補石總議は何でも一萬噸級の船の入港を基準として、すつかり築港計畫やり直しをされた相ですが、然しさうなれば、一萬噸級の船を入港せしめるとして水深はどれ位あればいゝのです』

『船底から三尺以上の餘裕を見て岩盤まで掘ふとすれば十七尺でまあ卅尺以上ですね』

『現在こゝの水深ではいかがでせう』

『以上ありますからね』

『今度の計畫では、獅子島から眞直ぐ大多獅島にそれから水道の流れに添ふて加次島から水運島まで岸壁を築造されるとか、また、岸壁でなくて大ブリッヂにされるとかいふ話ですが——』

『さうですね、なるべく自然の水流に逆らはぬ様にすれば無理がいきませんからね築港するならその方がいゝでせうね』一寸たよりない

『築港費は大ぶかゝるでせうね新しい計畫の方は』

『さうですね——』と首をかしげる

『測量に當られた結果どうでせう、良港になるでせうか』

『工費さへかければどんなところでも良港は造れますからね、この點の宣川灣の方にも一寸港灣に適する處がありますがね、しかし鴨綠江に近い處ではこゝより外に好適地はありませんね』

『丹羽博士一行の實地調査と測量終了で築港が決定し昭和製鋼所設置もすぐ決定する様に安新兩地住民は信じておりますよ』

『さうでせうね』で先づ肝心な點はすつかり外れて終ふが、實地上の問題とあればさう軌ように研究もされずあとは綜合的判斷による外はないと話はその邊から切揚げて今度は相馬さんと近藤さんの鴨綠江本流の水路についての學問的研究に移つた、若い杉山さんが寫眞機を持つて一緒に甲板に出てみると、船は何時の間にか走つてゐた、綠川丸は前方にパイロットの役目を務め、山崎さんは輔島丸號時船長に早變りしてゐる、もう大多獅島も小多獅島の突堤もすぎて斗流浦の岬から本流に入つてゐる

『今月中には測量を終りますか』

『月末には終ります、今日はこゝへ來て初めての安東入りです』なるほど、一同の中には安東が初めてのものが多いらしくしきりに河の關いこと洲の多いこと風景のいいことなど觀賞しあつてゐる

東關給水所に着いたのは午後一時その時俄突く様な夕立で二時間ばかり船中で雨宿りして漸く三日目には歸新した、桟橋には松尾さんが出迎へてゐた

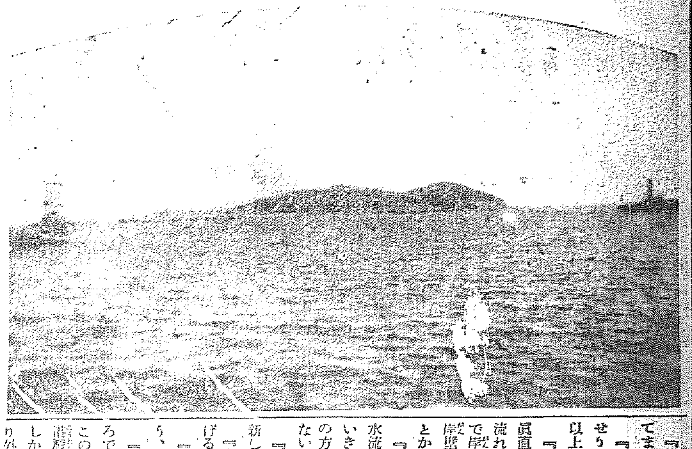
×　×

ここに漸く鴨綠江の水路と燈臺を一巡りしそして問題の焦點多獅島築港の扉を叩いて歸つて來たのであるそして知り得たるものはすでに記して來た通り

西水道の淺くなりつゝあることは多獅島港をして良港としての水路に變化なく水深深い東水道生命を保持せしめ得ること

多獅島築港とともに東水道側の浚渫の任務は更に重大化されることであると共に測量開設の挺子であると

多獅島港は昭和製鋼所設置の條件である權威者丹羽博士一行が何と相るかそれは全國を擧げて注目してゐる處の今後せられんとしてゐる矢先でなければならぬ——寫眞は作業中の測量班（終）



慶尚北道

飛行場が出來れば無電局も設置か

飛行場が出來ねば分らぬ　鈴木郵便局長談

大邱飛行場設置期成會は生れ、いよく實行運動に入つた譯であるが大邱に飛行場が出來れば當然無電も考慮されることはいふまでもなく飛行場設置運動に伴つて無電局設置も漸次表面化し各方面に關係するやうになつてゐる、鈴木局長の意向は最初無電局は飛行の難所秋風嶺に設置する計畫であつた、大邱に飛行場が出來れば秋風嶺より大邱に無電が必要である、此の問題を鑿して鈴木郵便局長を訪へば語る

秋風嶺に無電局を設置することは數年の關係上實現してゐない東京大邱間の航空路中最も飛行の難所とされてゐる處だけ氣象の通報その他に是非秋風嶺には必要だが、専門家の話では秋風嶺では近すぎるから大田と秋風嶺との中間が適當であるといつてゐる然し大邱に飛行場が出來れば無線無電は設置せねばならぬだらうが飛行場が出來てからのことになつて見れば分らぬ兩山に飛行場も無電も出來たばかりだから何ともいへぬ（大邱）

四年度決算

慶尚北道昭和四年度決算は歲入豫算總額三百七十九萬四千八百二十三圓に比し歲入は三十一萬三千百二十八圓九十一錢を減少し歲出は九千百九十九圓一錢を減少し結局二十三萬六千三十圓十錢を昭和五年度に繰越したが、歲入方面へは一般財界不況の影響を蒙り地方税で特別申請税、漁業税、市場税、不動產取得稅を除く外は悉く減收となり財產收入、雜收入、補助金等何れも激減となり歲出方面では政府の財政緊縮方針に基づき歲出豫算の約四分減を斷行し、次でその後歲入減を來たし總額二十七萬余圓を節減しなければ地方の經理が不可能となり更に節約を行ひ所行豫算に變更を加へ人件費、物件費、事業の中止、繰延べで漸く歲入出の權衡を合せた（大邱）

料理屋値下げ

日本料理は安くなる

大邱料理屋組合の値下げについては大邱署の警告によつて前後三回組合會議を開いて協議したが大邱署の言ふ如く飲食店並に料理店としての估券にも關するからと一たんは泣ぎを入れたが大邱署の態度が强硬なのでいよく飲食店並に値下げすることとし代表者は二十六日大邱署に左の値下案を示し諒解を求めたがビール、サイダー、日本料理などウント安くなつたが西洋料理のみが從來と大差ない

從來七十錢であつたビールが五十五錢に四十錢から三十五錢であつたサイダーが二十五錢以上三十錢（但し種類による）日本酒以上四十錢日本料理の部一品三十錢以上二圓七品附一圓十錢五十錢以上二圓七品附二圓十錢以上二圓八十錢九品附二圓七十錢以上三圓六十錢洋食は一品二十五錢三十錢三十五錢四十錢五十錢の五種五品料理一圓八品料理一圓五十錢會席料理五品一圓十品二圓

繭價協定

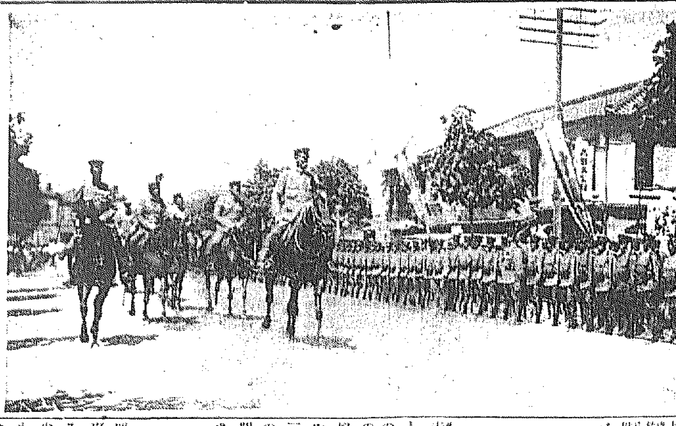
九月に入つてから決定

本年春蠶の繭價は本年の新安値を現出し養蠶家をして失望せしめた春蠶はともかく其の後道當局の斡旋よろしきを得養蠶家の經濟によつて秋蠶は豫想以上の掃立を見、九月中旬早くも出廻りを見んとしてゐる、慶北道と大邱三製系との共販の繭價協定は今の繭特產系の狀況明であり時期も幾分早いので九月に入つてからなされるであらう（大邱）

秋繭は良好

共販は九月中旬

慶北本年の秋蠶は稍良果の天候に惠まれ發育の伸長良好に推移してゐるので繭は上出來で出廻りも多少早く現に掃立全部を終つた永川、聞慶地方は九月十四五日には早くも共同販賣を見るに至るであらう（大邱）



室第二十師團長初度巡視

新任室第二十師團長は初度巡視として二十二日午後一時五十分大邱驛着列車で着邱驛前に整列せる步兵第八十聯隊の閲兵をなし憲兵隊に入り道廳その他を訪ひ旅館に入つた二十七日は午前八時から大邱聯隊の查閲をなした、午後二時發大田に向つた（大邱）＝寫眞は驛前で大邱聯隊查閲中の師團長

國產愛用奬勵デー

慶尚北道では九月二十四日を本府の指令によつて國產愛用奬勵デーとし會議所と連絡して店頭裝飾およびに活動寫眞、學校兒童講話、講演、ポスター、パンフレット、ビラ等を利用して道產奬勵が主體となり大々的に宣傳をする筈で目下具體案を攻究中である（大邱）

不義の兒殺し

去る十九日午前八時頃永川郡琴湖面梧山洞下に灰色の布に包んだ男兒の死體が漂流したのを發見所轄署に屆け出たものがあるので檢屍した結果十數時間を經過した嬰兒死體と判明犯人捜査に努めたが右は同郡琴湖面風亭洞寡婦崔能順（三）が同里李再春と通じ不義の胤を宿したもので去る十八日分娩すると同時に壓殺し琴湖川に水葬に附したものと判明二十四日逮捕した（大邱）

泥棒の大盡遊び

二十五日夜七時頃大邱市場町飲食店で勞働者風の男二人が妓生を連れ込み大盡遊びをしてゐるのを大邱署員が怪しいと睨み調問の結果安東郡北後面生れ金慶伊（三）と義山水品町生れ金邦信（三）といふ何れも前科者で七月二十日以來大邱に入り込み職業的に窃盜を働きその日も明治町一丁目金某方の留守宅を襲ひ現金十八圓と衣類等の他をぬすんでの散財中と知れた（大邱）

慶尚南道

醫師會の態度反つて藪蛇

實費診療病院設置の計畫が進めらる

釜山府民から期待されてゐた藥價値下げについて醫師會が既報の如く一般患者に對する藥價診療費の値下げには觸れず貧困者および生活に窮迫せる者に對してのみ藥價その他を輕減或は免除する方針を執ることに内定した爲め各方面には醫師會の態度を非難する聲が起り次第に高まりつゝあるが非難の中心點は同會にて取決めた貧困者および生活に窮迫せる者の標準は那邊にありかつ誰が認定するか頗る曖昧なる點であり中產階級に屬する俸給生活者および小資本商人、勞働者の最大多數者に對しては何等の考慮を拂はず簡小手術その他特殊の處置に對する診療醫藥價は各醫院によつて甚だしき相違がある等の均衡を失した事實は枚擧に遑なき程にて醫師が是等の事實を糊塗して極少數者の範圍に限られる患家にのみ藥價の輕減或は免除の名を擧げて醫師會長が時代に適合した方針であると放言するが如きは社會を瞞着化さんとするが如き手段であるといはれ一部には早くも醫師會の現狀打破くも時代の動きに適應した實費診療病院設置の計畫が進められてゐることは注目に値する現象である（釜山）

四議員辭職と補充

釜山商業會議所議員牛尾、西村、渡邊、千頭の四氏は既報の如く二十三日辭表を提出したがこれが補充について聞くところによれば會議所の定款には議員總數の三分の一以上缺員を見た場合は補缺選擧を行ふことになつてゐるが三分の一以下では必ずしも補缺選擧を行はなければならぬといふことはないのであるから今のところ何等議に上つてゐないとのことである

全羅北道

赤松會頭訴へらる

辭職した重田書記から　兩派葛藤の餘沫？

群山商業會議所では會頭選擧問題にからまりて内部的に紛糾を起し最近にいたりては牛尾氏外三評議員よりの提出にかゝる建議案の通過に止より延いて右四評議員の辭任となり將來どこまで紛糾に紛糾を重ねるやはかり知れざる折柄七月三十一日附を以て商業會議所を辭職したる主席書記重田定氏がこの會議所内部の或る問題を摘發し（眞僞は不明）赤松會頭、野呂書記長を相手取り全州地方法院檢事局に告訴狀を提出したが右事件はしものが二十六日北村支廳檢事より群山支廳に廻附されたり赤松會頭、野呂書記長は佐藤議員を從へて商業會議所に出頭して告訴人重田氏の辯明これを檢事し帳簿および僞證の押收して引揚げ更に二十五日も同じく赤松會頭および野呂書記長の外大澤副會頭、松井副會頭を參考人としても召喚し取調ふところがあつた右につき會議所理事者は語る

思いもつかぬ怪文書を流布する者がありて取調べたのもあるので何とも知らぬものはしては何等一點の疚しいとはない問題の手によつて取調べらるゝことは却つて事實が能く判明して好い、むしろ此方から望むところである、しかしながら若々は此の場合余り多くを語るを欲しない

因みに告訴人重田定氏は以前牛尾正一氏を社長とする群山無盡會社にあり今回の告訴は自發的に出したものゝ如くであるが赤松、牛尾兩派の葛藤に關聯し裏面に煽動者ありとも噂されてゐる（群山）

密陽面議補欠選擧

驛前有權者大部分棄權

密陽面議は水道の敷設問題に絡まつて面協議會員が內部の二派に分裂し結局反對派をもつて占める驛前選出の五議員が一齊に連袂辭表を叩きつけるまでに紛糾しこれに對し道當局は辭表を認めると共に二十五日補缺選擧を斷行する事となり注目されつゝあつたが豫定の如く二十五日午前九時より午後三時までの間面事務所にて施行した結果有權者三四六名のうち一九一名の投票者にて河樹植、岡本福吉、光友吉藏、李仁秦文氏と決定したが驛前有權者四十四名中僅か二、三の投票者があつたのみにて殆んど全部棄權して投票せずこれが爲めに補缺當選の議員八名は全部土文里と密陽邑内の選出となつた結果今後の面政は從來よりも一層險惡な狀勢となり驛前地元民と邑内側との反感は愈烈となり溝渠を深くするに至りはせぬかと憂慮されて來た（釜山）

鎭海面長候補者推薦

【鎭海特電】鎭海面協議會長は海泉校組合員選擧の爲め二十六日午後七時から吉村郡守面議員學校組合員等全部參集の上第一候補者に石田國助氏第二候補者に藤谷次郎氏を滿場一致推薦し交渉方を吉村郡守に一任九時散會した

全羅南道

實業聯合會提出議案

全南實業聯合會は九月十九、二十日の兩日光州で開催する事となり道内各地商工會議所實業會では夫々提出議案の銓議中であるが木浦實業會所では二十五日午後三時から議員會を開き左の如き提出案を決定した（木浦）

一、木浦に米穀取引所設置方要望の件

一、工業奬勵のため道に工業專門技術官を設ける事を要望の件

細叺大倉庫新築

九月一日から細叺販賣方法が改正となるので羅州では現在の販賣所では出品物の取扱が出來ないとなるので郡當局はこれを羅州邑内に内定して居たのを商工協會羅州支部が聞知し重大問題として直に協議をなし目下大道として大活動中であるが羅州市民で倉庫敷地を提供して羅州の中心地に變更するを要望したが郡當局としても出來得る限り市民の希望に添ふ方針である（羅州）

商工會協議

光州商工會有志は二十五日光日社樓上に會合し總會期日および全南實業聯合會議案の件を協議したがその總會期日も二十九日午後八時會場は本町二丁目東雲食堂と決定したなほ總會當日は議員十二名の總選擧を行ひ同時に定款に基づき特別議員二名をも推薦する筈であると（光州）

山林會總會

全南山林會第十回總會は九月十三日午前十時より靈光郡佛光寺において開催し同日林業功勞者表彰式を擧行する同十四日は午後一時より參會者一同郡西面の砂防工事地を觀察の筈（光州）

ハーモニカ試演會

木浦小學校卒業生の同好者で組織したリラ、ハーモニカ、ソサイティーは廿五日夜第一回試演會を木小校講堂で開催したが音樂會にふさわしい若い美しい聽衆で滿され大盛會に終つたが音樂會の催しの少

平安南道

二德隧道開通す

平元線鐵道敷設鐵工事新倉長林間の二德隧道は昨年夏頃から工事に着手してゐたが本月中旬堅開鑿を終り目下線路敷設中であるが開通は明年十月頃となる筈である（平壤）

山家育ちの警官を召集

文化の風にあてる爲め

平南道警察部では山間地に永年勤務し汽船、電車、飛行機等をみたことのなき警官を平壤へ召集して社會見學をなさしめ文化の風を滿喫せしめて新らしい頭の持主の警官に仕立てかねんとそれら警官を調査中であつたが、五年以上平南に勤務したことのなきもの十八名二年以上平壤へきたことのなき者卅一名もあること判明したので今月末頃先づその中から卅二名を選び平壤へ召集することになつた（平壤）

ちの疾　眼科　西村醫院　京城練兵町停留場

合財袋

◇……平壤中學校の武道選手は二十七日午前十一時館南浦著發列車に少憩の上午後一時から鎭南浦高女校で南浦警察署員商工學校生徒及その他一般府內選手と對抗試合をなす

◇……平壤慶上里龍水地下の岩石取捌工場で廿四日午後三時頃無煙炭でダイナマイトに點火して岩石を爆破したゝめ附近に作業してゐた笠林里池俊澤（四九）同金正信（三二）の頭上へ岩石が落下し兩名は瀕死の重傷を負つたので附近の病院へ擔ぎ込み手當中であるが兩名共生命危篤

◇……平南价川郡下は農作物の成熟期に入り猪、狸等の野獸が毎夜の如く數十頭蔓群をなし農作物を荒すので郡民は二十五、六の兩日聯合と協力して大々的の野獸狩を行つた

◇……平壤目抜き大通り本町丁の

◇……子屋商店へ二十二日午前二時から二十三日までの間に屋根傳ひに侵入し洋服その他商品價格二百餘圓を竊取逃走した

◇……鎭南浦府内漢頭里支那人王方に十三日午後九時半頃強盜押入り現金十錢を强奪逃走

咸鏡北道

鋼工船笠戸丸

魚群の密集地帶に向ふ

所謂鋼工船の沈没事件で清津入港中の鋼工船笠戸丸は二十四日午後六時出帆したが同船は清津の遭難現場を迂廻して遭難者救難船に弔意を表したのち更に北行して過般發見した魚群の密集地帯において大々的に漁撈を開始する筈である（清津）

清津公會堂

建設に決定

多年の懸案たりし清津府公會堂建設問題は二十日の府協議會で追加豫算として提案満場一致可決確定した、場所は敷島町の商陳館の跡で建坪百二十八坪、建設費は一萬七千圓、階下には會議室、圖書室、陳列室等あり階上には百十二坪二百四十四人收容の大廣間を設け演劇、映寫も設備される、本年中には建設竣成し來年正月の總會からは使用される筈（清津）

[illegible]屋旅館

梅澤一等卒殉職

ガスタンクが爆發し

會寧工兵隊第十九大隊第二中隊梅澤一等卒は二十日午前四時頃操台外演習場において演習中ガスタンクが爆發し顔面に重傷を負ひ同日會寧衞戍病院に入院加療中であつたが二十一日午後八時頃死亡二十二日午後六時三十分會寧寺において同隊將卒多數參列の上いとしめやかに告別式を行つた（會寧）

會寧署土用稽古

會寧警察署では廿三日午前八時から同署演武場で土用稽古武道納會を擧行十一時三十分終了當日の優勝者は次の通りである（會寧）

▲柔道の部　一等金京旭、二等佐竹勇、三等西岡康將

▲劍道の部　一等安田弘、二等慶勝二、三等佐々木佐八

工兵大隊歸營

會寧工兵第十九大隊は目下永綏郡外江堡演習場へ出張演習中であるが二十八日歸營（會寧）

自動車事故

廿一日午後六時廿五分會寧停車場通遊谷鐵工所附近道路上において根本誠三郎（三）の運轉にかゝる自轉車通過中朝鮮人の子供が路上にあるのでこれをさけんとし却つて眞瓜賣り婦女二名に乗りかけ傷を負はしたので直ちに道立醫院にかつぎこみ治療したが何れも幸ひ輕傷で大事とならず相方示談となり無事に済んだ（會寧）

地方集會

◇農務課長晚餐會　忠清南道農務課長高橋智氏は新任挨拶の爲め二十六日來田各方面を歷訪したが官民有志は自由軒に招待し歡迎晚餐會を催した（大田）

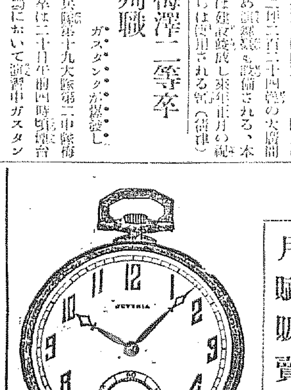
地方人事

▲小西本社大邱支局長　出社中の處二十六日歸任
▲荒木全州支局長　同上
▲松坂咸興支局長　二十七日同上

祝全鮮野球爭霸戰

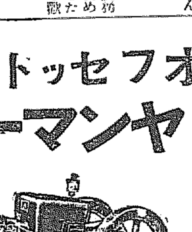
西島（トリシマ）
ポンプ
株式會社
西島製作所
京城出張所
京城府蛤洞八六番地
電話本局一八三一

京城本町二丁目
鷹取眼鏡店
メタル徽章部
電話本局二六〇〇番


月賦販賣開始
時計貴金屬卸商
京城府壽町四〇
寺田商會
電話本局四〇一五番
二九七〇番

テント
京城府南大門通五丁目驛前
中西テント商會
電話本局二八四八番
振替口座京城一二〇七六番

中折!!!
國產品と
舶來品各種
京城本町二丁目
巴帽子店
電話本局一七四二番

オフセット型
ヤンマー

ヤンマー石油發動機發賣元
京城驛前
山岡發動機
京城支店
電話長本局一〇〇三番
振替口座京城一一五二五番

京城通信

富田儀作翁の訃

京城　一記者

富田儀作翁は――富田氏は朝鮮において更に『翁』としての存在のみではなかつた。されど記者は『翁』たる富田氏を知るのみ。しかして氏の光輝け『翁』となつて興盛なるものがあつた――遂に逝去した。初め病ありと聞きやがて篤しと聞き遂に危まると聞き、しかもなほ一縷の望みを萬死にかけたが今朝猿然として大往生を遂げたと聞いて、記者は無限の感慨に耽りつゝある。

×

翁は朝鮮にありて何でもやつた。園藝をやつた。水利をやつた。製陶をやつた。鑛山をやつた。山林土地をやつた。その他何でもやつた。やらぬことはないといつてよきまで色々やつた。しかしながらそれは翁が八紘一宇であつた爲めではない。千三ツ屋であつた爲めでもない。また必ずしも何でも屋といふべきでもないのである。翁は決してこれらを私利のためにやつたのではないのだ。朝鮮に於る産業の開拓者としての地位を自ら買つて出たのだ。

このことは翁がみづから宣傳したのではない。萬人が等しく認むるところに係る。看板にいつはりないのでない。初めより看板を掲げたのでないが彩陣の妙諦その奏効知らぬものなかりしといふのだ。

×

翁はしばしば公益のために私財を擲つた。擲ち方があまりに鮮かなので周囲を感倒せしめた。同時に四方を驚嘆せしめた。かくて翁は數度の恩賞にあづかつてゐる。恩賞は翁を大にしない。されど大なりし翁を表彰する力は恩賞が持つてゐた。記者と翁とは淡い交渉を持ち續けたに過ぎぬ。近くは珍蔵の眼にて有力なる忠言の幾つか聞きたるが最後だが、翁の訃に接して記者の胸臆にはくさぐさの想ひ出がよみがへる。噫（八、二七）

滿洲

馬賊の跳梁甚し　ハルビン市外を中心に

最近ハルビン市外地を中心に馬賊の跳梁いよいよ激しく、連日拉致されてゐる去る十八日には市外顧郷屯に二十名の馬賊が襲撃し支那人備栄を人質として八千元の人質料を強要してゐる。これと前後して、正陽河附近の支那富豪も十數名の馬賊に拉致され人質料、大枚十五萬元を要求され、家人はこの人質料支拂ひ能力なきため、賊團と背値で數回交渉の結果、人質料が折合はず、しばらく成行を見てゐたところ、賊團は拉致した富豪要求の右耳を落してこれを家人に送り、若し要求に應じなければ、また右耳を落して殺害す、さらに應じなかつた場合は、豫定の如く生命を奪ふと脅迫し家人が蒼くなつてゐたところ、人質となつた盛はこのほど右耳を落された上、賊眼を盗んで、自宅へにげ歸つてきた。支那軍當局（第十八旅）および支那警察では流石に捨て置けぬのを機會に賊團の徹底的掃蕩を計り、軍兵、保衛團合の討伐隊を差向け、文鎭等を目標として警戒を嚴にし、かつ神出鬼沒の有樣なので、軍兵の討伐もなかく思ふやうに進まない。この賊團は八月初旬、日本人四名を捕へて一日間人質にしたこともあつたが、逮捕された邪人は國際警察の店員と露西亜領事館の館員で、無抵抗でゐるうち、馬賊仲間にも知れ渡つた親日本人の義侠により難なく救ひ出されたといふエピソードもある（ハルビン）

馬賊の復讐　安圖縣城へ襲撃の噂

安圖縣地方に蟠居して目下盛んに阿片採取を指揮してゐる馬賊團の頭目一順、上山好、金山、北來、祭山等は最近馬賊討伐を名として出動する陸軍隊が馬賊團で使役し居る人夫を殺傷した上山勝隆軍において阿片の採取をなしつゝあるのに憤慨し近く各頭目部下を糾合、約三百名を以て安圖縣城を襲撃するため準備をしてその準備力内部中と傳へられるが右の情報を受けた安圖縣當局は各地に出動中の軍隊を漸次縣城近くに引揚げ

馬賊富豪を襲ふ

本月十九日午後十時頃四道溝の支那人富豪張瑞芳に支那陸軍類似の服裝と長銃を携帯せる四人組の馬賊は主人を人質として拉去せんとしたが、張は逸早く裏口から脱出間島地公安分局に屆け出たので時を移さず巡警部長以下十五名がかけつけたが賊團もさるものすでに何れへか姿をくらました後であつた（間島）

共産黨一派掃蕩

本月三日東團道溝、二道溝、長仁江、漁郎村方面に蟠居した共産黨一派捕縛の爲め出動中であつた局子街第二營第八連團連長の指揮する七十五名はこの程當初の目的を達成したので一先づ頭道溝に引揚げ支那街各機關に分宿中であるが常分の間同地に滞在する筈だと（間島）

守備隊營舎建築

豫て新築と內定してゐた營口守備隊營舎は二十二日大連滿鐵本社で入札の結果金八千四百圓余で大連寺井組に落札した延建坪は百七十三坪同隊の擁兵營は長官十七米場所は現消防隊前の廣場で十一月中旬竣工の豫定である（營口）

京畿道

平澤文廟奉安祭　孝子節婦等表彰さる

平澤郡西門鄕校首府里にある平澤文廟は過般來地方有志の斡旋により修繕中であつたが今回竣工し二十五日文廟明倫堂において振威郡守、儒林等を始め地方有志百余名参列の上奉安祭を執行し右終了後同講上において振威郡總校財産管理者郡守李源甫氏から孝子節婦として振威郡松炭面芝山里高敬殷（明治十年八月七日生）振威郡西面高陽里朴興南（明治二十一年二月二十二日生）振威郡西面[illegible]（明治二十七年一月十一日生）の三名を表彰した（平澤）

阿片四貫目　稅關で發見

二十五日午後六時半頃仁川稅關貨物取扱所からの不正貨物到着の電話により仁川署では俄に緊張し小坂司法部長外三名が現場に急行、取調べたところ强包みにした生阿片四貫四百匁（價格約二千圓）もあり元山から仁川驛前○○運送店に送られたもので咸南山郡長平

面列席郡河村原表の所感と物別し同夜十時五十分京城驛發列車で咸興に赴かんとする所を京城驛で逮捕し擬軍取調べを進めてゐる（仁川）

永登浦鄉軍總會

永登浦在郷軍人分會總會は二十四日新吉里射撃場で射撃會を催した終了後野宴を張り午後五時散會した射撃成績は左の如し（永登浦）

▲正會員　一等三十五點刀根雅雄、二等三二點手賀常九郎、三等二八點久保小石德四▲五等二四點小倉重清 ▲來賓　一等二九點松村默次、二等二四點孫昌鎭、三等二二點名井直亮、四等一六點大塚芳夫五等同中川以良

平澤小學校長更迭

平澤尋常高等小學校長は今回中川平澤郡理事同郡校公立普通學校長に榮轉漣川郡郡理普校長に出發したが驛頭には約二百名餘の見送人は涙で別れた新任校長として水野一夫氏は往十里公立普通學校より二十六日着任した（平澤）

少女の溺死

仁川松峴里七九趙東寬長女趙小順（一〇）は廿六日午後六時友人三人と新花水里海岸で遊泳中溺死を遂げた（仁川）

忠清南道

南鮮庭球大會　申込は今廿八日限

既報の通り本社大田支局主催の第十六回優勝旗爭奪南鮮庭球大會は舊三十一日舉行される同大會は例年多く朝鮮内優勝が通じられて居る殷吉の歴史あるだけに年々參加者が多く本年はすでに天安、清州、公州、群山、錦山、沃川等二十餘組の申込あり大田庭球協會、機關驛等とともすでに三十餘組を突破してゐる何れも必勝を期し右に腕りついても栄ある優勝旗を獲得すべく猛烈な練習が續けられて居る申込は今二十八日限りである（大田）

分讓館出したが新灘津府諸部落民の優勝旗は一萬二、三千人に達し新灘津各層の臓はひを呈した（大田）

馬九坪學組議員選擧

論山郡馬九坪學校組合議員選擧は廿六日午前八時から小學校で投票開始有權者六十一名の內棄權者一名六十票過半で正午開票の結果左の如く當選した（論山）

四六票 原康經　四三票 横川傳三　四三票 櫻林竹一　四〇票 奴田原種蔵　三七票 堀野丈一

新灘津納涼大會　千餘名の參加で賑ふ

鐵道局友會大田支部の局員家族慰安に大田市民慰安新灘津納涼大會は二十六日決行した一行は午後七時廿分大田發臨時列車に便乘し同四十五分新灘津驛着入目撰際申告に下車後慣れの錦江河岸に足を運ぶや納涼の空高く歡迎の煙火や新灘津有志寄贈の煙火數十發は續ずさまに打ち揚げられ或は錦江流道の貿易、消費、活劇等諸勝誤に吸來を博し更に當夜の呼び物たる八百の宣傳流しの匪備に拍手は風の如く向岸の小山にこだまして錦江の天地は宛ら火の海と化し一行は砂上に思ふ存分涼をさまして十時十

早稲の出穂　六北以上出揃ふ

慶尚三年間旱害で殊に本年は水害で一時農家は泣き面に蜂であつたが道は一邦、錦江沿岸の被害で大體において豐作と認められすでに二百十日の厄日も切迫の昨今早稲は何れも六步通り以上出揃ひ非常の出來榮えであるが厄日が無難なれば約二割以上の增收を豫想されて居る（江景）

大田面國調準備

大田面國勢調査委員四十名および補助員八名はすでにその人選を了へ八月三十日を以て調査員の任命を行ふ豫定であるが調査員訓練會は九月上旬において第一回を九月中下旬において第二回を各二日間宛開催して申告方法の指導につき徹底を期せしむる筈（大田）

咸鏡南道

國調宣傳歌　當選者發表

咸南道では國勢調査の趣旨を一般に宣傳普及せしむる目的の下に懸賞を以て道內一般から國調宣傳歌を募集したが應募總数二百卅余を越ゆる盛況で審査員協會の上嚴重審査の結果、二等入賞者は左の如く決定した（咸興）

◇唱歌の部

一等　元山尋常高等小學校　官島傳九郎

一、國勢調査の名のもとに　行ふ戸毎の調には　正しく殘さず誤らず　書いて納めん同胞よ

二、調査の任にあるなきも　共に勵みて調べなば　國勢いよく明らけく　政治の基は定まらん

三、調べ上げたる國勢の　實を基に治めなば　我が國運はいよく　輝き出でん同胞よ

◇都々逸の部

一等　甲山郡惠山　大塚小四郎　國勢調査に漏れない樣に名札出しましよ新帶

二等　咸興面雲興里　中村　定守　國の礎定める調査を溝きませうありの儘

咸興面事務所增築

咸興の府制施行は本年十月一日からといよく確實性を帶びて來たので咸興面では若干敷坪の事務室を增築することゝなり目下設計中であるが新たに增築する事務室を財務係室に充て現事務所階下を內務庶務係室とし階上を土木係室に充當する意向らしい（咸興）

城川橋架設

咸南新興驛と邑內を連絡する城川江に架してあつた橋梁は本春流失その後假橋を以て交通してゐたが過般の水害で又もや流失を見たので邑內との交通は渡船によつて行はれ頗る不便であつたが今回道から二千圓の補助を受けて架設することゝなつた（咸興）

陸軍機來る

平壌飛行聯隊陸軍機四機は廿四日午前九時銀翼を連ねて咸興の上空に現はれ咸興の上空を旋回飛行の後三機は江原道平康に向ひ四號飛行機は咸興七四聯隊練兵場に着陸七四聯隊の地上部隊との連絡演習をなし一時間程にして平康へ向つたが常これはこれが演習で練兵場附近は殺到した（咸興）

咸興弓道部例會

咸興劍道部弓道部では廿四日咸興高女校弓場において弓道例會を開催したが參會者廿余名に達し盛況を呈した的當日の入賞者は左の如くである（咸興）

▲一等谷口▲二等鈴木▲三等田島▲四等加藤▲五等岡部

平安北道

山人蔘　今年は値段が安く買手も少い

平北名物の山人蔘は目下採取季節で來月初めから出廻りを見るが、今年は値段が安く昨年の三分の一位だといふので例年昨今江界方面にこれが買出しに來る支那人らはこの足を踏み殆んど買ひに來るものがない始末だとのことである（新義州）

鴨綠江增水　流筏漸く通る

鴨綠江上流は久しく降雨がなかつたため平水より六十サンチも減水を見てをりその爲流筏もプロペラ船の航行も不能となつてゐたところ二十四日から降雨があり二十サンチの增水を見るに至り漸く流筏もプロペラ船も通ふやうになつた（新義州）

馬賊國境侵入計畫

馬賊北平部下の小頭目梁がや慈城郡内に侵入せんと企てつゝあるとの報頻繁に傳へられる折柄九山部下の小頭目も二十余名を率ひ慈城郡湖下洞に侵入すべく準備を頸つてゐるとの情報あり更に北平一味の別派五十余名は去る十七日鮮安勝の自馬道に集合不良親鮮人と気脈を通じ慈城郡土城方面に侵入せんと我勢威を內査してゐるとのことである（新義州）

江原道

郡守會議

江原道郡守會議は來る二十五日午前八時三十分より道會議室において開會、李知事の訓示あり、ついて懇事項を指示した後直ちに左記各件に就き打合せに移り午後は一時から『水害救濟狀況並その善後策』の報告があつて閉會した（春川）

一、國勢調査事務に關する件（知事官房）

二、罹災民救護に關する件（地方課）

三、地方民の負擔輕減に關する件（同）

四、地方公共團體財政整理に關する件（同）

五、小額生業資金貸付事業に關する件（同）

六、選擧事務の取扱に關する件（同）

土用稽古納會

鐵原俱樂部の土用稽古納會は去る廿三日午後一時から同警演武場において開催した、劍士は平康、金化、金城各警察署および地方有志の連中を交へて約百余名に達し、來賓として郡守以下面内の判事外地方有志多數來觀の下に紅白試合あり面各署長から優勝者にそれぞれ賞品を授與して盛會裡であつた（鐵原）

▲劍道の部一等岡田（鐵原）二等鶴林（金城）三等甲山（金城）四等平澤（京田）五等[illegible] ▲柔道の部一等金永大（鐵原）二等二井谷（同）四等李大洪（同）五等大月（同）

黃海道

鐵道用地買收委員決定

海州延白間および海州引込線停車場用地買收委員は期成會長から左の人々任命され廿七日午後三時面事務所において第一回の集會をなして種々協議した（海州）

池田一、雅波剛一、萬代龍助、上村熊一、垣内澤藏、吳世錫、朴性由、辛永錫、韓永璜、金賢大

沙里院の火事

二十六日午前二時沙里院宮本町の一空家より火を發し直ちに消防隊は驅けつけ消火に努めたるも生憎ポンプに故障を生じ十分の機能を發揮する能はず見る間に隣家の喜橋利八氏方に延燒したが同氏方もこの日家人全部旅行不在中にて不幸な兩家とも一物も余さず燒失した損害約六千圓原因取調べ中である（沙里院）

小學校講堂移築

海州小學校講堂は校舎が改築されたため、講堂との距離があまりに遠くそかに不便なので今回いよく校舍東側に移築の事に決し、近く入札に附する筈である（海州）

豫防注射

每年流行の腸チフス豫防のため海州面では廿五日海州公會堂において一般面民に對して豫防注射を實施した（海州）

水利組合の素描（12）

―黃海道の巻（その九）

金子點の遺業（上）

さて物語りは本論に立返る。朝鮮第一の大平野たる載寧平野を貫流する載寧江の下流を逆撓んで往時二大澤があつた。東なるを[illegible]と稱し、西なるを[illegible]と稱した。共に二百八十余年前地方の豪族金子點の造營になるものである。その構造が經國濟民にあつたか、或はこれによつて生ずる收入を以て他の大きな野望を充さんための手段とするにあつたかそれは明かでないその蒙利地區は合せて九千町步に垂んとし、朝鮮の昔時における最大にしてかつ最も[illegible]な水利事業と認められるもので近年土地改良事業の勃興に伴ひ著しく世人の注目を惹くに至つたのである。

しかしながら惜むらくは金子點が後年李朝の嚴譴を誣つて九族と共に誅せられたので記錄は殆ね泯滅し僅說にすら殘つてゐるところが少い。のみならず同じく西鮮により彼に先立つて李朝の社稷を窺ひ事現はれて誅戮された平安兵使李适の史實と混同紛糾して傳へられる部分が多いので確實な考證を缺いでゐる。今その道聽塗說を綜合して、最も眞に近きものとして判斷されるところのものは大體左の通りである

金子點は元金自點と稱し平安道に生れた。大兵肥滿で一里を歩行するのに六足の草鞋を要したといふから脛前のやうな毛脛をニユツト出して歩くときは恰好の仁王さまみたいだつたに違ひない。その上に膂力健啖であつたといふから大飯を食ふので寺の坊さんのやうに頗る不經濟に出來てゐたものらしい。一見したところ混頓にして茫洋たる風があつたが、その腹肚のなかは智策縱横、[illegible]な策士で[illegible]みたいに一筋繩では行かぬ男だつたさうである。最初安州兵使に任ぜられ、後進んで平安監司に昇つたが戰術を能くしてゐたので屢々邊境に外寇を防いで功があつた。その後次第に累進して副元帥に昇つた。

これより先き滿洲には愛親覺羅氏が勃興して國を建て清と號したが勢ひ頗る盛んで明の邊境を侵すこと頗るしきりであつた。當時の朝鮮は明の屬國の如き狀態にあり李朝は明に對して臣禮をとつてゐたから明危しと見るやその要求に應じて清を牽制すべく出兵した。しかるに朝鮮軍は標悍なる清の太祖の鐵騎に一たまりもなく屈し罷れて仕舞つた。即ち戰河の畔の戰でさんざんな目にあはされて敗走したのみか却つて清の來寇を被り都城は陷り朝鮮王は面縛して清に降るといふ醜態の結果となつた。時に李朝十六世仁祖王の時である。時

次いで清の太宗立つにおよんで朝鮮がまたぐ心服してゐないのを責め仁祖の十四年太宗自ら六師を率ひて再び來寇した。この報傳はるや朝鮮は上下をあげて愛戰し、仁祖王は全國に令して兵を募り義兵をあげて都元帥に任じ鎭に赴かしめた。金自點は黃海道の正方山城を居城としてゐた。正方山城は今の沙里院の北三里隔たる所に石塁を繞らして黃海平野を西方一望のもとに俯瞰し京城街道の咽喉を扼してゐる。大命を奉じた金自點はこの大軍を東方の山間峽谷に隠ひ要害の山城に立籠つて防戰これ努めたが、事志と異り、洪洋として寄せる大海の波濤の如き清の大軍に壓せられて味方は四分五裂ついに敗續して王都をさして走つた。この敗戰により仁祖王は南漢山城に籠り、守備頗る努めたが力弱くて清軍に降り何等城下の盟は鐵斷に築かないことをはじめとして苛酷極まる清の要求を悉く容れて辛うじて終熄を保つを得た。このひどい目に會はされてから後といふものは仁祖王は一層金自點を信頼してしまひ晩年彼を宰相にあげて萬一に備ふると共に宮としてひそかに城池を修めた。かくて金自點は王の寵遇に乘じ、後宮の趙氏とひそかにどんな目つきしたか分らないが、とに角く寵親を通じてしまつた。そして、外側には自分の腹心ばかりを以て任じひたすら自家の勢力扶植をはかるに至つた。これよりさき金自點は時に正方山城に登り、[illegible]の勝を探り、仰いでは蒼穹に宙空の志を畫き、俯しては脚下に迂々連なる十五萬町步の大沃野を瞰臨し、渺渺たる載寧江をひたして流れさる載寧江のはて、大陸の彼方に風雲をおもひて胸をおどらせたこと幾度であつたか、當時載寧江の西岸一帶は泥土深く堆積して湖をなし蘆葦茫々として蛙鳴ひ水禽群る荒蕪地帶であつた。金自點はこれを見てふと心に考へる所があつた。若しこれを開拓して揚水灌漑の便を與へたならば忽にして萬頃の美田を得ることが出來るのであると。時、仁祖の二十一年夏頃、月明の一夜僚を從へ美人を擁し龍頭明月の船を江上に浮かべて長夜の宴を張つた。妙なる管絃の音に綾羅をまとうた美人の艶な舞衣は風をうけて天上に遊ぶの思あらしめた。かくて、夜を徹して宴は續けられたのである

黎明におよび金自點は前日の夕方豫め江底に沈めておいた繩を引上げその底に沈澱してゐた泥の厚さを計つた。群臣は彼の心をはかりかねてそのなすところに從ふのであつた、彼は密かにこれを基礎として推算し水利工事の輪廓を樹てたのであつたいくばくもなく群臣を集め辭を正して曰く『自分は夢を見た。その夢のなかには一人の神仙が現れ、自分に向つて宣ふやうにはあの載寧江の蘆洲を開拓すれば萬頃の美田を與へやう、防水築堤工事の規矩は神馬の足跡があるから、これに從ふべしとのことであつた。自分はこの神宣に從つて水を瞬じ芦の代りに稻を植、雁や鷺の代りに人畜の住むところとしやう』とかく群臣は彼の冒瀆の威にひれ伏して聲もなく畏つて

印刷界の尖端を行く
最新オフセツト印刷
圖案とあらゆる印刷
京城府太平通二丁目一番地
東洋オフセツト印刷株式會社
電話本局長二一四〇番・二六二四番

本年新發賣の 完全燃燒

マルミヤ ストーブ
事務所・學校・店舗・工場用に最適品
體裁よき家庭實用的
ミヤコ・ストーブ
特許宮崎式ペーチカ
ストーブ製造發賣元
宮崎組本店
龍山驛前（電話龍山八四二番）
地方特約店募集

祝全鮮野球爭覇戰

保險は
明治生命
京城支店　黄金町二丁目
電話長本局九番 本局四九八番

京の京染 京ぞめ京屋
白生地類各種取揃へて居ります。
京染御紋服の御誂に衣裳のお手入は京屋へ御用命を願ひます。
各會旗優勝旗は京都の本場仕上でお調へします
龍山三角地
京屋呉服京染店
電話龍山七五二番・振替京城八一二一番

三成泰 合資會社
專賣特許 接着劑
接着劑應用無縫底革 洋靴
機械製 新流行木型
金剛山名物 折疊枕
京城府黄金町一丁目一四三
電話本局三三二二番
支店 仁川・平壌

胃腸病と婦人病に
肺病と肥滿法に
日英米獨佛專賣特許　醫學博士二千餘名實効證明
ラヂウム溫灸器
◇實費治療と溫灸器貸出
◇溫灸療法說明書無代進呈
京城朝鮮新宮表參道
ラヂウム溫灸院
東京理學療院 滿鮮發賣元
特約店募集

健康と長壽に
松葉精粉
壽の素
大瓶一個 一圓五十錢
京城府南大門通一丁目九九
日東化學研究所創製

池田の甘栗
思はぬ、お土産
時ならぬ、珍味
特殊の冷藏裝置により引續いて新鮮美味の甘栗を發賣して居ります
京城驛前
池田商會
電話本局七五九番

含鐵溫泉（午前七時より午後十二時迄）
公衆浴場、家族浴場
お子樣方の遊び場も設けてあります
鑛泉旅館
梧柳莊
京仁線梧柳洞驛
電話永登浦六二番

美は輝く
正しい心 美しい化粧

婦人精神文化講座 眞實の敎
文學博士 醫學博士 富士川游

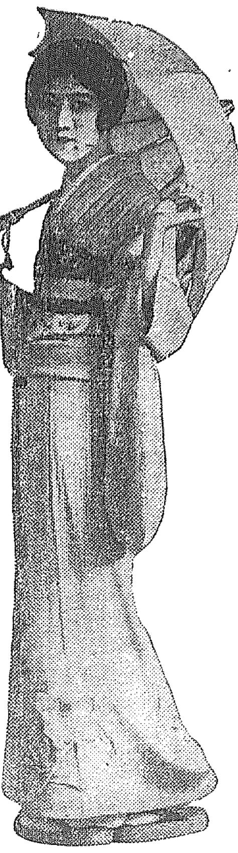
生命なき生活

我々人間の生活は昔から今まで長い間、多くの經驗を積み、努力をかさねて現在に進んだのでありまして、それには我々人間の思考といふものが多く加はつて居ることは言ふまでもないのであります。固より我々の思考が進んで來なければ我々の生活が進歩することもないのでありますから、思考が段々と進むといふことは決して惡いことではありませぬが、ただその思考のために我々の生活が自然を失ふといふことが問題であります。心の奧底から自然に湧き出たものであればそれは必ず平穩に運ばれて行くものでありませうが、我々の思考といふものは自己のために都合のよいやうに考へるのでありますから、思考が進めばそれはますます自然を失ふやうになるものであります。そこで外面から見て立派に思はれるところの生活がその内容に於て生命がないやうになるのでありませう。

子供の生活

人間の中でも思考することの尠い子供の樣子を見るとその生活は眞に無邪氣であるとかう言はねばならぬのであります。泣きたければ泣き、笑ひたければ笑ふ、誰にも遠慮しないで自分の欲するがままに動くのでありますから、これを天眞爛漫であるともいはれませう。そこで昔からして子供といふものは佛に近いが段々智慧が進むに從つて佛から遠ざかるものであるといふやうなことが言はれるのであります。が、しかしながらこれは大人から見てのことで子供自身から言へば全く夢中で生活して居るのでありますから無邪氣であるか無邪氣でないか。さういふことは子供自身にはわかつたことではありますまい。子供はさういふことを意識してさうして無邪氣な生活をして居るのではない筈であります。それ故に大人がさういふ生活をしてもそれを無邪氣であるとして濟ますことは出來ませぬ。必ずそれは道德の考へが發達して居ないものとして咎めねばならぬものであります。人は人との間に道德の法則が行はれてそれで我々が生活をいたして行くといふことがわからぬのであると言はねばなりませぬ。

科学は語る



海水浴の夏……日焼けの夏
日焼けを防ぐにはどうすればよいか
クラブ美身クリーム、クラブつぼみ クラブ白粉に就て三内博士の面白い實驗

白熱した夏の陽の下…海は輝き波は躍ります。爽快な海水浴の季節が參りました。しかしながら、波に嬉戲する美しい人々が毎も心がけねばならないのは大切な皮膚の日焼け海水焼けの手當です。

この皮膚の日焼け海水焼けは海水浴のために荒された皮膚に劇しい日光中の紫外光線を浴びるから生じるので、この紫外光線にあたると皮膚の下にある色素顆粒が殖ゑて、いはゆる日焼け海水焼けになるのであります。そこで、この日焼け海水焼けを防ぐには海水浴の前にもまた海水浴を終つた後にも、必ず品質優良なクラブ美身クリームをお用ひになるのが一番有效でしかも容易な方法です。

最近三内醫學博士が内外産クリーム十數種に就いてその日焼け止めとしての效力をスペクトル寫眞撮影の方法によつて比較研究を試みた結果によると完全に紫外光線を吸收遮斷するもの、つまり日焼け止めとして眞に有效なものは外國品には僅か一種しかなく日本品としては特にクラブ美身クリームが斷然優越せる成績を示すことが證明されたのであります。

博士は次にクラブ美身クリームが實際皮膚に應用された場合の日焼け止めとしての效果を實驗するために十數名の男女につきその前膊（腕）の屈側皮膚面に約一平方糎の廣さに供試クリームを塗布し、人工太陽燈を用ひて一定條件の下に強大な紫外光線を照射しその後引續き十數日に亘り皮膚面に起る變化を詳細に比較研究した結果、クラブ美身クリームを用ひた場合には第一圖のやうな好成績を得たのであります。尚は同樣の實驗をクラブつぼみ又はクラブ白粉を用ひた場合にも應用して等しく有效であることを併せて證明されたのでありました。

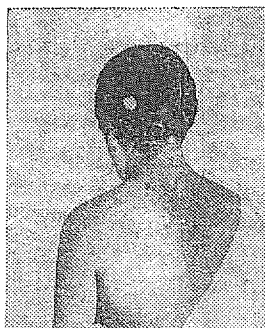
そこで博士は更に、クラブ美身クリームの日焼け海水焼け止めとしての效果を實驗するために盛夏八月中旬快晴の日の正午から午後五時までの間、海水浴場で十七歳から二十三歳までの婦人十數名の背の一部分に一定量のクラブ美身クリームを塗つて一定條件の下に約十日間海水浴をさせたり、船の上で背を日光に直射させたりしたところが、クラブ美身クリーム（又はクラブつぼみ）を塗つた部分は、第二圖の示すやうに少しも變化がなく完全に日焼け海水焼けを防ぐことが出來たのであります。

× × ×

これ等の實驗成績によつてクラブ美身クリーム、クラブつぼみ、クラブ白粉等は濃化粧、淡化粧の何れにお用ひになつても眞夏の太陽直射光線は勿論、人工太陽燈のやうな強大な紫外光線に對してもよく皮膚の日焼けを豫防する效力を持つてゐることが重ねて證明されたのであります。

第一圖——肉型の黑い部分は人工太陽燈（紫外光線）の照射に依つて色素沈着卽ち日焼けしたもの、中央の圓く白い部分はクラブ美身クリーム又はクラブつぼみ（クラブ粉白粉併用）を塗つて日焼けを防止し得たもの（下の表はその實驗成績）

供試品並に塗布の方法		實驗後の皮膚の狀態
クラブ美身クリーム	濃化粧	變化（日焼け）なし
	淡化粧	變化（日焼け）なし
	濃化粧（クラブ粉白粉併用）	變化（日焼け）なし
	淡化粧（クラブ粉白粉併用）	變化（日焼け）なし
クラブつぼみ	濃化粧（クラブ粉白粉併用）	變化（日焼け）なし
	淡化粧（クラブ粉白粉併用）	變化（日焼け）なし
對照	クラブ美身クリーム、クラブつぼみ等を塗布せざる部分の皮膚は（變化）日焼け著しきを認む	



第二圖——左肩から背へかけての白い部分はクラブ美身クリーム又はクラブつぼみを塗つて海水浴に依る日焼け海水焼けを防止し得たもの（左の表はその實驗成績）

供試品並に塗布の方法	實驗後の皮膚の狀態
クラブ美身クリームを濃化粧程度に塗布せる部分	變化（日焼け）なし
クラブつぼみを濃化粧程度に塗布せる部分	變化（日焼け）なし
對照	クラブ美身クリーム又はクラブつぼみ等を塗布せざる部分の背の皮膚は變化著しく卽ち強度に日焼けせり

輝く化粧美
美と健康上……特に優れたクラブ白粉
夏のお化粧に最も大切な優良白粉の御選擇に就て

暑さが愈々劇しくなつて參ります。日ヤケする夏、お化粧くづれのし易い夏…夏はとりわけ白粉の御選擇が大切でございます。殊に汗の多い方にとつて、夏はお化粧の一番むつかしい時でありませう。皮膚は絶えず分泌される汗のためにアレて居ります。それでなくても劇しい太陽の光線や海水浴等が美しい皮膚を損ひ勝ちであります。

かうした皮膚の障碍の多い時期には、特に品質優良なクラブ白粉のお化粧によつて、大切な皮膚を保護すると共に高尚な美と氣品を添へることをお心掛けにならねばなりません。それは新時代の御婦人としての美的教養を示すものでございます。

クラブ白粉はクラブ本店の優良な内外人技師が協力研究の下に完成した最上の白粉で分子最も纖細でノリ、ノビ共に申分がなく、品位ある眞の化粧美を發揮すると共に、進んで皮膚に榮養を與へ、太陽の紫外光線から來る日ヤケを防ぎ更にニキビ、汗疹等の皮膚障碍を豫防する獨特の美粧作用を持つて居りますからクラブ白粉ならば誰方でも安心して美しいお化粧が出來るのであります。最近化粧法の著しい進步に應じて從來の白色の外に肌色、淡桃色、水色等各種の色白粉も創製され素晴らしい人氣を集めて居ります。

涼しい薄着の浴衣に、すつきりとしたクラブ白粉の高尚なお化粧が水際立つた美しさ上品さを添へる裝飾となりました。

日ヤケお化粧くづれを忘れて、夏を樂しく美しくお過ごしになるために、クラブ白粉の御愛用を切に切にお薦め申上度いと存します。

絶對に無鉛で最も安全なクラブ白粉

夏のお化粧に就いて美粧衞生上特に御注意なさらねばならないことは含鉛白粉の御使用による恐ろしい鉛中毒の害であります。若し誤つて含鉛白粉をお用ひになつたならば汗のために溶解された白粉中の鉛分が體内に吸收せられ、恐ろしい鉛中毒を起すと共に、お子樣方も亦、鉛中毒による所謂腦膜炎に罹られるやうな虞れがあります。卽ち大正十二年に京都帝國大學醫學部小兒科教室平井博士によつて發見され、忽ち學界の承認するところとなり、やがて重大な社會問題として取扱はれるやうになつた彼の「乳幼兒の所謂腦膜炎が母親乃至乳母其他乳幼兒の周圍にある人々の使用する含鉛白粉或は乳兒に普く用ひられる天瓜粉、汗知らず等の中衞生的不良品たる含鉛品其他の使用に基く鉛中毒によるものである」といふ事實は人道上からも實に重大問題であると申さねばなりません。それでありますから、平素御使用になる白粉等は必ず品質の優良な絶對無鉛のクラブ白粉をお用ひになるのが最も安全であります。

クラブ白粉本店では夙くより絶對無鉛の優良な白粉を製造し嚴密なる試驗檢査を施した後皆樣の御使用に供して居りますから、クラブ白粉ならばその何れをお用ひになつても絶對に無鉛で最も安全であります。

クラブ白粉は内務省大阪衞生試驗所並に大阪市立衞生試驗所長藤原九十郎博士によつて衞生上害否の檢定の結果絶對に鉛分を含有せず、且つ其他の有害と認むべき物質を檢出せざるを以てクラブ白粉を化粧用として常に使用するも衞生上安全なりとの實證を得たのであります。

更に最近醫學博士三内建治氏が、一般市場に販賣されてゐる各種の化粧品（主として白粉）の衞生的試驗（特に鉛の含否）に就いて過去十三年間に亘り全國各地の官公立其他の大學並に衞生試驗所等の發表された成績を調査研究の結果、クラブ白粉は常に無鉛であることを報告されてゐるのであります。卽ち全國各地の官公立其他の大學及び衞生試驗所等の諸學者十六氏が前後十二回に亘る嚴密なる衞生的試驗成績報告のすべてにおいてクラブ白粉はその各種類共常に無鉛であり、從つて絶對に安全であることが重ねて明確に立證されたのであります。

卽ち御婦人方が純良無鉛のクラブ白粉を常にお用ひになれば鉛中毒の虞れがないことは勿論お子樣方も亦彼の恐るべき所謂腦膜炎（鉛中毒に因る）に罹られるやうなことが絶對にないのであります。

新時代の要求する美と健康の全き調和…榮ある化粧美の表現は、優良なクラブ白粉の御愛用によつてのみ可能でございます。

クラブ化粧品本店は
常に良品を廉價に生産提供

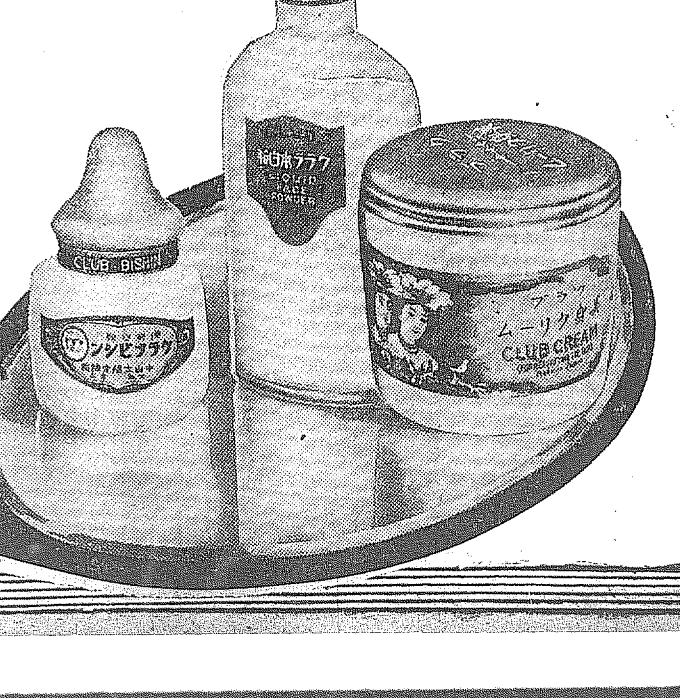
東洋第一のクラブ化粧品は十數年以來率先産業の合理化による能率增進を實施し合理的なる大量生産を行ひ更に品質の改善と分量の增加に努め且つ販賣上最も公正なる正價を確保し優良品の廉價提供を實行しつつあります。今後も尚ほ科學的管理の定則により生産、販賣、消費三部一體の合理化を圖り我國現下の産業革新時代に善處し以て國家の繁榮、社會の福祉を增進する事に努むる覺悟であります。

日ヤケ止に一番よい
クラブ美身クリーム

夏の外出に
スポーツに
そして壯快な海水浴に

日焼止として偉大な效果を發揮するクラブ白粉クラブ美身クリームのお化粧が斷然人氣の中心となつてゐます

清新な自然の白さ美しさを增す便利白粉
クラブビシン



品位あるお化粧は
クラブ白粉

殺氣漲る大接戰裡に 新義州遂に押切る

二回裏の一點に運命を決し 一—零、慶熙涙を呑む

何れが勝つ？

けふの決勝戰に臨む遞信（上）と、オール新義州

鬪ひ進んで大會特有の人氣は高潮した、各地代表は何れも傷つき、殘るは忠清代表大田鐵道と中央の强剛慶熙ティーム、國境の雄オール新義州と復興の意氣漲る中央の俊剛慶熙の四ティーム、これが準決勝戰は廿七日訓練院原頭で雌雄を決したが、忠清代表武運拙なく遂に消滅を見た、かくて殘るは慶熙とオール新義州の一戰である、夜來の雨も止んでけふは朝來降りみ降らずみ曇天なれば懸からず絶好の野球日和である。前日の好試合を見のがしたファンは、心殘りなくこの待入れた大試合を見んと續々グラウンドに押寄せ、來るわくまたゝく間に中央双翼のスタンドを埋めつくして仕舞つた、新義州一塁側に陣取れば前日の好ゲームで人氣が昂まり聲援する、慶熙は京中一千の應援團に守られて三塁側に入り、必勝を期す、大會第一の好試合だけに非常な人氣を煽り、戰前すでに場内は殺氣に滿ちてゐた

慶熙（先）	000000000	0
新義	01000000	1—0

◇準決勝戰第二試合—中央代表慶熙倶樂部對國境代表オール新義州戰は午後四時十分から開始された慶熙先攻、審判安田（球）西村、杉浦（壘）三氏

◇一回（慶熙）岩城遊飛、大熊投手、關一塁ゴロと簡單▲（新義州）今西三塁によい當りを見せたが一塁にアウト中川左翼飛球、鈴木三塁土屋グローブを彈く安打に出たが（代走今西）二盗して刺され双方先づ波瀾なし（南軍芳）

◇二回（慶熙）一死後兒山右翼線近くに直安打し土屋三振の時二盗したが、井上一塁にハウルを捕られて止む▲（新義州）小口二—一後一塁前送にテキサスし三好型の如く犠牲バントで送り**新義州最初の好機に見舞はれ**小野の遊撃ゴロ一寸ハンブルしたがよく一塁に刺しその間小口三進したるも無爲に終るかと思はれたが**曾木二壘右に安打して小口勇躍生還滿場拍手**金井投手ゴロ**されど新義州先づ一點を先取して意氣大いに昂る**（南軍芳）

◇三回（慶熙）小川四球竹屋三振後二盗成つたが岩城左翼飛球小州の遊撃右の深いゴロよく一塁に投げて止む▲（新義州）高田二—一三後四球で出曾木西型の如く犠牲バントで送り、又々や好機到來かと思はれたが、中川二邪飛球、志津の中堅大飛球も野手に名守なさしめて終る、

試合は三回まで一對零慶熙や、押され氣味なれど反撥の氣鋭も見え試合が白熱化して行くのでファンは唯々好ゲームに醉ふ（南軍芳）

◇四回（慶熙）一死後鈴木四球を得たが兒山の投手ゴロに封殺され、兒山は二盗に倒る▲（新義州）二死後小野遊撃ゴロ慶投に生きたが曾木三邪直球（南軍芳）

◇五回（慶熙）＝＝志津退き小口投手に諸石右翼に入る＝＝土屋左翼飛球、井上一塁ゴロ後小川右翼を打に出たが曾屋遊撃ゴロ新義州の志津投手退きその間廿分タイムを宣告したので、待ち焦れたファンはエキサイトし中央兩翼スタンドからは一球毎に喚聲起り互に氣勢あがる▲（新義州）一死後高田の三壘強襲安打があつたが二盜に死んで止む（南軍芳）

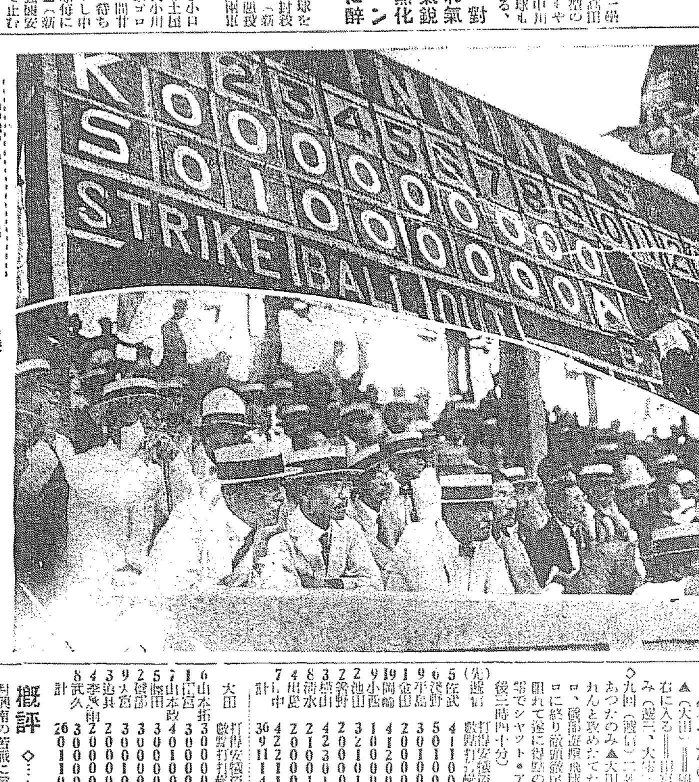
◇六回（慶熙）岩城左飛、大熊中飛、關左飛へ何れも飛球を上げし退く、**慶熙焦つて打てど新義州の守備堅く容易に乘ずる隙を與へない**▲（新義州）一方新義州は中川二—三後四球を選び新義州陣又もや色めいたが、諸石のバント投手の前に轉げ中川二塁に封殺、小口の二塁ゴロも諸石を二塁に封殺、三好の遊撃背後の難飛球も岩城遊撃手の美技に阻まる（南軍芳）

◇七回 ラッキー・セブン押され氣味の慶熙黙はざるべからず（慶熙）鈴木二—三後四球を得て出塁、兒山型の如く犠牲バントしてこれを送り**漸くにしてチャンスが來た、打者土屋の遊撃ゴロで鈴木三進、本壘を狙つたが井上期待されたが第一球のボールを投手に打つて遂に得點の機を逸す**▲（新義州）小野遊撃ゴロ、曾木空振りの三振、金一塁ゴロ（南軍芳）

◇八回 餘す所二回双方よく打てども好守に阻まれて容易に得點を許さない、**新義州貴重の一點をリードしたまゝ、ゲームが進みファンの熱狂その極に達す**（慶熙）小川三振、竹屋投手ゴロと振はす無爲かと思はれたが、岩城スローボールを左翼線近くに安打し、投手のモーションを巧みに二盗、慶熙團の熱狂を呼んだ、**果して大熊よく左翼前に安打したので勇躍本壘を衝いたが左翼からの好投で本壘寸前に挾まれ本三間に挾殺されて最後の好機を逃した慶熙の陣營寂として聲なし**▲（新義州）二死後中川の四球あつたのみ（南軍芳）

◇九回 かくて一對零新義州優勢のまゝラストイニングに入り慶熙應援團の聲援を受けつゝ三番關ボックスに入つた（慶熙）**關一—一後の一擊、二壘左を拔く安打に出てフワンを唸らし最後を凝視されたが**鈴木投手に打あげ、兒山の遊撃ゴロ關を二壘に封殺しすでに二死、だが兒山よく二盜し土屋二ストライクの後ストレートの四球で續き最後まで期待されたが井上に代つたピンチヒッター**濱選球二—三迄行つたが最後の一球低い球を空振し萬事休し**た

熱戰を見る



上に接戰を物語る全新義州對慶熙倶樂部の記錄、下はネット裏に陣取つて戰況を凝視する有賀殖銀頭取、同新井事務

慶熙對新義州戰（二十七日午後六時十分）

慶熙（先）	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	捕殺	失策	殘壘
6岩城	4	0	1	0	1	0	6	5	2	1	0
5大熊	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
9關	4	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
7鈴木	2	0	0	0	0	1	2	1	0	0	1
2兒山	3	0	1	1	2	0	0	3	2	0	2
1土屋	3	0	0	0	0	1	1	0	6	0	1
3井上	3	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0
[illegible]	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
4小川	2	0	1	0	1	1	1	2	3	0	1
8竹居	3	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0
計	29	0	5	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	24	13	[illegible]	[illegible]

新義州	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	捕殺	失策	殘壘
5今西	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
3中川	2	0	0	0	0	0	2	10	0	0	1
1志津	2	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0
9諸石	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
91小口	3	1	1	0	0	1	0	1	2	0	1
2三好	2	0	0	1	0	0	0	6	1	0	0
6小野	3	0	0	0	0	0	0	4	4	0	1
4曾木	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
7金	3	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0
8高田	2	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1
計	25	1	4	2	0	3	3	27	10	0	5

備考　試合時間一時間四十分

概評 ◇……ファンの豫想は適中した、全く試合ゝ息づまるやうな白熱戰で、最後まで如何なる變化を生ずるか逆睹容易に許せなかつたが、新義州に勝運見舞ひ、二回裏の貴重な一點で決せられた

◇……新義州の勝利は安打に出たるものである

◇……これに反して慶熙は對大邱戰の面影なく、既に萎縮し、志津投手の球を打あぐみ、代つた小口投手の球をも凡打してゐた

◇……慶熙一流のガンバリもけふは新義州の好守に阻まれて功を奏せず無念の涙をのんだ

◇……熱と意氣を誇る慶熙の陣營に、生氣のなかつたのが敗れた最大の原因であらう

◇……新義州は全軍一致よくチャンスを摑み、よく守り、遂に慶熙に乘ずるの隙を與へなかつたその意圖は大いに買ふべし

◇……攻守共に揃つたオール新義州と遞信の對戰はこの一戰で大いに興味を惹いて來た‖米倉生‖

遞信悠々と勝つ 9—0大田慘敗す

夕刊つゞき

◇七回（遞信）金田、岡崎遊撃ゴロ、淺野三振▲（大田）走者を出さず（南軍芳）

◇八回（遞信）橫山遊撃越安打、清水三壘ゴロ失に續きダブル、スチールを敢行、出島の右翼飛球後田中の三壘ゴロ野選となつて橫山生還、佐武の遊擊ゴロ殺後に清水、田中續いて還り淺野遊擊直球、金田二壘ゴロに漸く攻擊を終つたが**遞信は無人の境を行くが如くこの回なほも三點を加へ勝敗全く定つたの觀がある**▲（大田）‖岡崎退いて小西右に入る‖田宮四球に出たのみ（遞信、大勝）

◇九回（遞信）二死後橫山の安打あつたのみ▲（大田）[illegible]攻めてたが磯部遊擊飛球、大宮三ロに終り敵前線遞信の好守に阻れて遂に得點の機會なく九對零でシヤット・アウト（閉戰午後三時四十分）

（先）遞信	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	捕殺	失策	殘壘
5佐武	4	1	1	0	0	2	1	0	0	0	1
6淺野	5	0	1	0	0	0	0	2	2	0	1
9平島	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
1金田	2	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
19岡崎	4	1	2	0	0	0	0	1	2	0	0
9小西	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2池田	3	2	1	0	1	0	0	5	0	0	0
2鈴野	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0
3鶴山	4	2	3	0	1	1	1	11	0	0	2
8清水	2	1	0	0	1	0	2	1	0	0	1
4出島	2	0	0	0	0	0	2	2	1	0	1
7田中	4	2	2	1	1	0	0	1	0	0	1
計	36	9	11	1	4	4	6	27	10	0	7

大田	打數	得點	安打	犠打	盗壘	三振	四死	刺殺	捕殺	失策	殘壘
6山本指	3	0	0	0	0	0	1	5	4	1	1
1江西	3	0	0	0	0	1	1	0	5	0	1
7山本政	4	0	1	0	0	1	0	2	0	0	1
5隈田	3	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1
2磯部	3	0	0	0	0	1	1	5	1	0	1
9大宮	3	0	0	1	0	1	[illegible]	2	0	0	0
3追具	2	0	0	0	0	0	1	10	1	0	0
4李甫	2	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1
8武久	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
計	26	0	1	0	0	6	6	27	13	3	0

概評 ◇……遞信は昨日の對興南の苦戰に懲りてか最初から投手岡崎をプレートに送りベスト・メンバーを揃へて堂々の陣を張り、五回迄九點をリードするに及び投手を金田に代へて優勝戰に備へたのは適宜の處置であつた

◇……遞信の大勝はスコーアの示すが如くまさに順當—遞信の本安打十一本に對し僅か安打一本といふ貧弱な打擊力では到底勝味はない……新興大田の翻運を期待して止まぬ

◇……遞信はこの日、攻守ともにスタンドを魅し鮮かなところをみせて優勝戰での活躍を期して待たう（霜星生）

段違の試合

大會顧問 高橋慶太郎

大田は岡崎の球を山本（政）が一度ヒットせしのみチャンスは二回目岡崎の四球に二つに外擲陣となりて最早し吾くも後藤かずしてしと失ひ、五回金田代てより後に三番振を續けて全く其の球をヒットすること十本、殆ど每回安打と敵失を利して悠々と點を入れ、八回目に敵を誤罹せしめて三點を入れ九對零と慘々齎つた、段違の試合としてこのスコーアの差は順當である。

けふの決勝戰

遞信局—全新義州

審判將積氏（球）竹内氏（壘）長曾我部氏（壘）

午後四時から—京城球場

本社主催

慶熙善戰及ばず

大會顧問 高橋慶太郎

新義州、志津投手のアンダー・スローの浮球は眞に慶熙を翻弄し四回を終るまで點を許さず新義州は二回目に土屋の球を二つ安打して一點をアーンド・ランし、しかも戰は漸く佳境に入らんとする時、突如として志津投手はライン・アップより除かれ小口代る。土屋の好投は一點をリードされたまゝ更に點を加へしめず慶熙は七回に鈴木四球を得たるも後援なく、八回二死後岩城、大熊續いて痛快の意氣を以て左翼に安打したるも岩城ホーム前に刺殺して機を失し、最後の總攻擊に關安打して出て土屋四球を擇びたるも後援なく復興の慶熙は涙を呑む、慶熙の二壘手小川の好捕好投大いに味方の守備を光あらしめた

第四日目雜觀

◇ 何分大田は投手力薄弱にして守備に缺陷があり締りなく徒に遞信によつて守備が乘じられてあるやうに思はれた、遞信の乘ぜられたのも無理は無いその打擊として振はず前術の新興軍としては大いに今後の練習努力を望む

◇ 朝來雨がしよぼしよぼしたので、客足を案じるファンが多かつたが、それでも、ドドドッと押寄せた觀衆が、雨具片手に押しかけて、またゝくまにスタンドを埋める。さすがはスポーツファンだけに、モーションが早いといふわけである

◇ 遞信の池田君、ひまさへあると、左翼をにらんでぎりボックスに立つては、左にばかりボールを飛ばす。よくみると、きのふ池田君の左翼欄越本壘打の時ボールの出た跡へ目じるしの標識が立つてゐるのだ。『惑る程、もう一度、あそこへ打ちたいのだな』とは察しのいゝファン嘩。

◇ 遞信の岡崎投手けふは攻守共に晩る成績がよく、さかんにボールを出してゐるが、ニツコと笑ふとすぐこんどはストライクできめてゆく。その度にファンが喜んで拍手するのはいゝが中には『國定忠次』とどなる人がある、なんのことかと、よくよく考へてみると國定忠次はニツコと笑へば人が斬るのだそうだ

◇ 九回の表一勝負越して必死になつた慶熙は關の安打に初まつていきり立つたが、鈴木の捕手上のフライ、兒山の遊擊ゴロで、氣勢を殺がれ、滿場また喝采手ばして嵐の狂ふ樣な有樣、しかもつゞく土屋二—三の後四球を得て場内はますく殺氣立ち選手も觀衆も泣き笑ひしてをり、ピンチヒッター濱ラストボールを空振すれば滿場遂に總立ちで勝つも泣き、敗るゝも泣き、觀衆また寂然として聲なくは立ちやらずといふ悲壯極まるシーンを現出した

彗星の如き全新義州と 堅實無比の遞信軍

けふいよいよ覇業を決する 爭覇戰最後の日來る

榮光の緑旆を爭ふ最後の日が來た。戰鼓あがり、戎衣土に塗れて半島百萬のファンを思ふまゝにエキサイトしてこゝに四日。五日目の廿八日は、午後四時から遂に**半島球界の王者の地位を爭ふ總決算の日である。**この榮冠あるグラウンドに起つもの、一は國境代表オール新義州、他はこれ中央の精鋭遞信局軍である。優勝候補のナムバーワン平鐵を完全に擊破し過去四度も緑旆を抱いた覇者の若殿原慶熙倶樂部を一敗地に塗れしめて、**忽然として大會のスターチームとなつたオール新義州は**金殿をかつて赫々たる緑の大旆を一擧にして國境の空に翻かせんと必死のまなじりを決してゐるに對して遞信局はまた幾度か王者の地位に近づきながら果さず**雌伏多年、この日こそは宿志を果さんと秘策をねつてこの**新鋭新義州を邀擊せんとしてゐるから、この日の京城運動場は、觀衆をして熱狂せしむるシーソーゲームを演ずることは豫想するに難くない。しかも、そのゆくへを卜することは球神と雖も豫斷を許されないもので、雲を呼び火花を散らす大鬪爭こそは、ファンとして見逃せぬものであらねばならぬ、新義州遂に新鋭の威力の前に緑旆を抱いて歸るか、遞信果して多年の宿志を遂げて王者の地位につくか。球技の粋をつくすこの一戰の最後の日が來たのである

線路に大石を置いて 列車顛覆を圖る

計畫的な犯行と睨んで 大邱署活動を開始

【大邱特電】廿六日午後六時大邱驛着四七列車が府外新川鐵橋附近に差し掛つた際、線路に一尺角大の石を載せてあるのを機關士が發見急停車したがおよばずあはやといふ間に乘り上げブレーキ、機關部を大破した。急報に接した大邱署では計畫的に列車の顛覆を企てたものと睨み、犯人捜査に着手したが、いまだ逮捕に至らず

飛行機から投出され墜落

下志津飛行學校で 惡氣流のために

【下志津電報】二十七日午前十一時七分下志津飛行學校で豬田一等卒操縦同校の高品米一曹長を同乘飛行中高品曹長は飛行機から突然投げ出され墜落し生命危篤、原因は惡氣流のためであると

病死と判定

豫科生でないらしい 月尾島の怪死體

【仁川特電】廿六日午後七時月尾島山中の叢むらから發見された城大豫科生の正服を着た廿三才の朝鮮人らしい青年の怪死體については廿七日午前十一時から、長谷川檢事と醫において安仁川署司法主任その他立會、西野人道醫師執刀のもとに解剖に附し午後六時終了したが、死後二週間を經過し、腐爛なる死因は不明なるも外傷も認めず全然他殺の疑ひなく病死のため病死したらしいものと認定されたなほ急遽來仁した時任城大豫科助教授は豫科生二名と共に來仁して同校の學生なりや寫眞と照り合せて首實見をしたが顔面は暗褐色を呈してはれあがり何者とも判明せぬが冬服を着てゐる事と時計その他學生の所持すべきものを盜つてゐないことから探知して不良者が城大豫科の制服を着てゐたものと思はれる

京城名物 文化まんぢう 大和軒

親子四人 瓦斯心中

子供二人死亡

【名古屋電報】名古屋市中區御器所町五四、會社員宮永雄次（三〇）は自宅奥十疊の間を密閉し瓦斯を充たして親子四人心中を圖つてゐるのを廿七日午前七時親戚の者が發見大騒ぎとなり附近の醫師を招き應急手當を施したが長女キン（五）長男弘隆（三）は死亡雄次と妻ツネ（二七）は生命危篤である、原因は生活不安の結果らしい

邦人唯一の經營 高等支那料理 中山莊へ 京城明治町浪花館横 電話本局一四三三番

獨飛行艇 紐育へ到着

【ニューヨーク廿六日發電】北大西洋橫斷コース橫斷の獨逸青年飛行家フォン・グロナウ大尉外三名搭乘の飛行艇は本日午後最後の目的地たる當地に着いた

無電利用の 新手の犯罪

無電機を据え相場をぬすむ

【安東縣電報】安東署では廿六日橫本某外二名を引致拘留して極秘裡に取調べ中であるが、右は過般來無線電信機を据ゑ付けて大連、上海の錢鈔相場の無電を盜み、銀相場に利用してゐた處を安東署に探知檢擧されたもので、大連その他に連絡者ある模樣で更に引續き捜査中であるが、當地における最も新手のそして精巧な事件として注目されてゐる

兇暴極まる 强盜團判決

主犯は十五年

【釜山發】釜山を中心として昨年二月以來兇暴なる强盜團を組織し荒し廻つた支那人の九人組ピストル强盜團の首魁陸興山、鄭中禮以下九名にかゝる公判は二十六日午前十時より釜山地方法院にて[illegible]判事係、陪席判事、[illegible]檢事立會、[illegible]辯護士出廷にて開廷され、約二時間半に亘つて事實の訊べあり、次いで[illegible]檢事は兇惡なる强盜團として[illegible]の犯行を敢てした事實について峻烈なる論告をなし、主犯陸興山十五年、鄭中禮[illegible]、外何れも十二年、王德斌十年、呂孫洪八年、王道生七年、曹玉山六年の懲役を求刑し被告辯護人の辯論があつて結審判決言渡しは來る九月二日に決定

忠南名物 リンゴカステラ 大田 中田堂

航空映畫

近く野外映寫

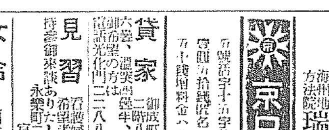
內鮮滿連絡飛行を行つてゐる日本空輸京城支所では航空思想普及のために、同社の航空路を撮影せる活動寫眞や『航空發達史』『飛行家ラリー』『海と空』などの映畫を府民に公開する事となり、二十六日午後七時半から社會館で試寫會を開き好評を得たので近く奬忠壇公園をはじめ各所で野外活動寫眞大會を開催し、一般に公開することとなつた

どんな神經痛でも
[illegible]
日本に一法庄村のガン
[illegible]
大阪驛前（北區小松原町）
いぬねこや本店
庄村茂信
振替大阪八一八六番 電話北五三〇八番

古錢銘鑑
どこのお宅にでも必ずあるもので、すぐ中には數十圓以上に賣れる物があります
[illegible]

金儲けの
古金兩替
米明天保文久寛永
大阪市天王寺區東平野町三丁目二十番地
銀貨社本店

實用新案 地球印折疊椅子
製造 販賣 賃貸

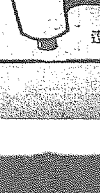


大阪市西淀川區大仁本町三丁目二一二
日本曲木工業合資會社
電話土佐堀三〇七一番

四大難病の解決
てんかん 癲癇 中風 脊髓 癩病
[illegible]
無代進呈
大阪市天王寺西門前
製造本舖 セフランス藥舖
大阪 ハムロ藥廠

月やく
特殊流經外用藥
[illegible]
大阪 天王寺西門北ノ辻
天王藥療院

表装
軸物 額面 屏風 其他調製
彩



電話本局二二九七番
京城若草町
水原彩光堂

ばい毒 りん病專門
京城本町
和田醫院

生徒募集
京城府本町二丁目二番地
シンガー裁縫刺繡學院

特別案内

熊本
[illegible]

産婆
[illegible]

醫師
[illegible]

恩給
[illegible]

金融
[illegible]

書生
[illegible]

女給
入用本人來談
[illegible]

見習
[illegible]

貸家
[illegible]

京日案內

昭和五年八月拾八日
海州地方法院
瑞興支廳

不動産競賣公告
[illegible]

株券紛失公告
[illegible]
京城穀物信託株式會社

戀愛黒點 (159)

挿畫　嶺田　弘

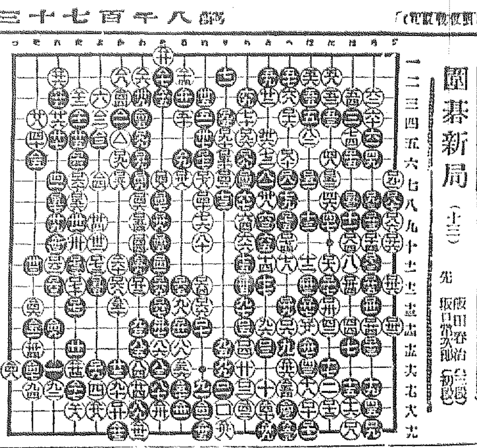
尾行される森（二）

綿子の父は不快らしい顔色で聞いてゐたが、森が叱るので頭を柔らげて御前の靴ひをのべた。森は
『どうかお驚きになりませんやうに……實は綿子さんが……』
と綿子の失踪の顛末を話した。
綿子の父は顔色を變へてしまつた。
『それは……困つたなア。どうもあいつは……一體綿子お前も……』
と不快さを綿子に向けたが、後は何も云へなかつた。
『……色々有難う。では早速病院の方へ御報告もお待ち兼ねでせう』
森は玄關に出た。
そして待たせて置いた自動車にのつて病院へ向つた。ふと後ろになつて行く街を見るために振り返ると、すぐ後ろにオートバイが走つて居るのに氣づいた。
……尾行だ！
と思ふと不安が胸を充した。
病院の玄關で自動車をのり捨てゝ、立ちならぶ職員の間を通りながら、ふり返ると、オートバイから片足を地につけてとまつてゐる人を見た。
……やつぱりさうだ……
森は職員一同に挨拶をのべながらも、尾行のことが心をかき亂してゐた。
院長と二人きりになつた。
『まア無事で歸朝したのだから、今度は結婚し給へ。大分僕もたのまれて居るので、大體はきめて居つたが……大友さんの娘さんにきまつて居るのかね』
森はハツとした。それを綿子と思つたのだ。

『ステーションからすぐに直行したので、看護婦などは大分興奮して居るよ』
初めて話が綿子だつたのが分つて、森は一層狼狽した。
『いや、そんな事はありません、一寸訳がありまして』
『さうか。とにかく早く結婚し給へよ。僕も讃るからね』
森は病院の中を一巡してその日はきめてあつた宿屋に引きあげた。宿屋迄もやつぱり尾行されたのを森は知らなければならなかつた。
……洋行前に一言自分の心を打ちあけて置けばよかつた……
いつ迄たつても徒らにいらいらするばかりだつた。
夜になつても外出する氣にならなかつた。院長の私宅を訪ねなくてはならぬと思ひながらも、尾行の事を思ふと氣が折れてしまつた。
綿子の父が訪ねて來た。
『先樣はどうも……』
といひ出して、客は氣折れのした顔で
『……どうしたらばいゝものか、トント考へがつかなくて、先生の御智慧を拜借に出ました』
といつた。森にもどうしたらばいゝのか全く分らなかつた。
『實は、私盛尾行されましてね、此町で』
『それは／＼何とも申譯ありません』
客はためいき交らすばかりで歸つて行つた。
何ともいへず不愉快だつた。東京ならばともあれ、自分が奉職する町の中迄も、尾行されてゐるのを知るのは、森にとつては實にいやだつた。
……綿子のためなのだ……
と綿子をかるく恨む。
……何故彼女はあんな女になつてしまつたのだらう……

圍碁新局（十三）

先　飯田春治（三段）　坂口常次郎（初段）



ぬ十八　わ四　れ十四　へ九　る十七
ち十八　そ十三　か十三　へ十七　た十六
へ十八　そ十六　そ十四　た十七　わ十一
か三　つ十六　た十六　る十六　か十一

讀者らん

最近龍山驛▲の喚問せらるゝを見るに一人として無事帰宅を許さるゝものがない、司直の烱眼眞に國民の信頼に値する、乾坤一如、水は瓶にあり雲は水にあり浮き雲は天にひろがつて雨光を遮らんとするさらさすることおびたゞしい。秋霜あまねく山野におよんで快闊の季を迎へんことを切望にたへず（秋虫）▲判任官以上の資格を有する官吏にして罷、諭、尺八の如き種類のものを退職後内職をやつてゐる者京城府内に多數を認む官吏又は會社員にして内職を有する如き生活の現分社會に保護出來る者は身元を調査の上ドシ／＼摘發して今日退途に迷ひ居る同胞の救濟が最も必要であるまいかこれ等內職者は延いては既成職業者の生活を脅威する者でこれ第二重職業者には二重の職業を離しても愁るべし、彼等の反省を促す（一局員）▲廿四日よりの野球實況放送の、アナウンサ様感謝します私の様にグラウンドに行けないものは貴方の御親切な説明をきいて喜んでをります（貧しきファン）▲先月私は商業銀行預金通帳を落しましたが、御拾得下さいました洪在彦様および御親切あふるゝ明治町交番所の御仲官に厚く御禮申し上げます（高畑生）▲どなたか第三高等學校の寮歌『紅燃ゆる丘の花』と樂譜を御承知の方はお知らせ下さい（忠南、瑞山、浮石、吉田生）▲最近の巡査看守試驗問題集をお讃下さい（受驗生）▲久保照子様御手紙を拾ひました確かに保管いたしておりますから御受取に御出でくださいませ（演江通十一番地山十製糸京城出張所内生駒いくゑ）▲府内でフランス語を教授下さる方はないでせうか（フレンチ）▲廿五歳の內地女で學校に務めておりました者で御座いますが、今後自活の道を立てたく何處か適當な仕事に御使ひ下さる所はありませんでせうか（相談の女）▲誰方か夫婦者か女の方で當年二歳になる男子を養育して下さる方はありませんでしやうか出來得れば南山町旭町方面の方で（困る生）

今日の新刊

（拜務局圖書課調）
和文部▲京城のラヂオ（第二五八號）近藤哲太郎▲山葡萄（九月號）茶谷秀正▲編省往來（第二號）岡田一▲濱田虎熊▲人道（第九號）▲DKニュース（第二號）川崎伸二▲修養時報（八月號）宮本容義▲鮮滿菓子新報（第百十五號）萩原忠吉
鮮文部　朝鮮（八月號）朝鮮總督府▲最近朝鮮雜集　宋完植▲御學指南（九月號）郭安連

出版界

▼現代（九月）新秋讀物號。太平洋上の三角関係（池崎忠孝）知識階級の就職難（田中貢）米國印象記（山室軍平）人格と法則（鈴木澤）現代放語（下村海南）時の問題（元來蒼川）世界時事解説（町田梓樓）禪話を語る（五氏）時の人（三篇）私が文壇に出るまで（円卓）ユーモアのある話（六篇）經濟外交文相紛失事件（三上於菟吉）唐人お吉（前田普果）其の他　東京市本郷區駒込坂下町大日本雄辯會講談社　五十錢▼支那人の歓樂生活（後藤朝太郎）▼日本人・支那人・西洋人（秋元俊吉）▼文明批判（創刊）大阪市住吉區田邊東之町四ノ一四その社五錢▼日本青年新聞（五號）東京市四谷區鶯ケ丘日本青年館三錢▼斉正時報（六四號）東京市麹町區飯田河岸一七その社五錢▼刀劍と歴史（八月）東京府澁谷町若本一羽澤文庫五十錢

東亞倶樂部

廿八日より三日間入り替り　前例の大盛料金十錢均一
松竹キネマ　菊池寛氏原作通俗小説　婦女界連載
監督　久保義郎
戀愛結婚制度
主演　岡田時彦　外オールスターキャスト
男の心は何を求めるか？女の心は何を求めるか？
メトロ・ゴールドウイン・メーヤー特作
原作エドワード・セヂウイツク
主演ウイリアム・ヘーンズ氏
滑れ　ケリー
助演　サリー・オニール孃　カール・デン氏

朝日座

本町五丁目　電話本局三六八番
八月廿八日替り狂言
市川團太郎大一座
一番目　伊賀越道中双六
二番目　一の谷双葉軍記
大切　日蓮上人一代記
時代喜劇　勘太と久太

喜樂館

午後六時半開幕
見果てぬ夢　十二卷
落花飛炎録　十卷

大正館

微笑む人生　十卷
冬木心中　十卷

中央館

黒駒勝藏　全八卷
春雨草紙　全七卷

耳鼻咽喉科診察　午前九時至十二時　午後二時至六時
京城府黄金町（電本六四二）醫學博士　阪井　清

資本金　壹千五百萬圓
株式會社　十八銀行京城支店
京城府黄金町二丁目　電話本局（二〇二九）
同　新龍山支店　京城漢江通り
同　龍山支店　京城府元町二丁目　電話龍山一八番

投網　優良と低廉
四分目　二尋　十二圓
五分目　二尋半　十三圓
霞網三間　三圓
其他絹糸製各種
釣具
京城永樂町二丁目　漁具問屋　吉備商會　電話本局二一四番　振替京城四三二八番

天幕雨覆日覆製造販賣
中西テント商會
京城驛前　電話本局二六八番

雷先號六神丸
胃腸心臓下痢熱

辰馬汽船仁川出帆
朝日組回漕部　仁川代理店

朝の洗面　夕の入浴
一日と雖も　手離されない
◎ミツワ石鹸
僅かな樣でも毎日の事です
石鹸は　絶對にむだの無い
優秀◎ミツワ石鹸　をお使ひ下さい
◇品質が益々良く成つた上に　合理化の成功さ
◇大量生産の結果は　徹底的のお廉さに成りました
眞箇の涼しさは
使用後に
石鹸分を殘さぬ
優秀◎ミツワ石鹸から
徒らに香ひ高く、濫りに泡立つ事實にのみ惑はされて石鹸を選むは、顔の保健の誤解です。其泡芳香は固より過度なるべく、泡立たる最も適度なる時に研究せられた物で無くては成りません。
◎ミツワ石鹸本舗　東京　丸見屋商店

尼ケ崎汽船仁川出帆
協同海運株式會社
仁川汽船株式會社
高杉回漕部
大阪商船仁川出帆　仁川支店
森信汽船株式會社
朝鮮郵船
嶋谷汽船仁川出帆
定期出帆　朝鮮郵船
咸北丸